

# 伊那市高齢者イーナプラン

## 高齢者福祉計画

### 第9期介護保険事業計画

2024年（令和6年）度～2026年（令和8年）度

## 資料編

# 目 次

(ページ)

## 資料編

1	第8期介護保険事業計画・高齢者福祉計画評価表	1
2	高齢者実態調査	22
	(1) 調査の概要	22
	(2) 調査結果	23
	ア 元気高齢者	23
	イ 居宅認定者	49
3	認知症と寝たきり高齢者	76
4	各種サービスの利用実績の推移	77
	居宅サービス	77
	地域密着型サービス	78
	施設サービス	79
	介護予防サービス	79
	介護予防・日常生活支援サービス（総合事業）	80
5	介護保険事業決算状況（R6～R8）	81
6	介護保険料算定資料	84
7	伊那市高齢者施策推進協議会	86
	委員名簿	86
	伊那市高齢者施策推進協議会協議事項経緯	87
8	市内事業所一覧	88

# 1 第8期介護保険事業計画・高齢者福祉計画 評価表

\* この評価は、2021年（令和3年）度から2023年（令和5年）度を計画期間として策定した伊那市高齢者イーナプランの事業について、市が行っている行政評価等を参考に下記判定基準に基づいて評価したものです。

- A・・・計画の80%以上達成（達成・概ね達成）
- B・・・計画の50%以上80%未満（一部達成・課題あり）
- C・・・計画の50%未満（課題あり・要改善）

No	計画書ページ	事業名	事業計画の内容	判定	評価	次期計画での取組	第9期計画に対する項目（目標）
1 日常生活支援と支援体制の整備							
1	11、12、13	(1) 地域包括支援センターの機能強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度に新しい福祉まちづくりセンターに福祉相談課が移転します。伊那市社会福祉協議会（以下社協とする）との連携を一層強化し、福祉の拠点として、さらに地域包括ケアシステムの深化を図ります。</li> <li>・地域包括ケアシステムの深化に向けた、地域包括支援センターの活動を強化するため、適正な職種を配置するなど、運営体制の強化について検討を行います。</li> <li>・高齢者のみならず、生活上の困難を抱える障害者や子どもなどが、住み慣れた地域でできる限り暮らし続けることができるよう、総合的に相談を受け止め、関係機関へのつなぐ役割を果たすことができるよう職員の研修、関係機関との連携強化を図ります。</li> <li>・相談窓口を市民にわかりやすくするため、市報等においても相談窓口の周知を行います。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターの機能強化のため、社会福祉士の正規職員増員を図り、隣接している社協との連携を強化し、高齢者や複合的課題をもつ家庭等への支援のための体制強化を行いました。また、主任介護支援専門員をセンター内で養成し、必須職員の確保に努めています。</li> <li>・高齢者のみでなく、障害者や15歳以上のひきこもりの方の相談窓口を開設し、総合的包括的な支援体制を整備しました。</li> <li>・高齢者いきいき通信、伊那市市報、ケーブルテレビ等において、介護保険制度、地域包括支援センター業務等に関して広報啓発活動を行いました。</li> </ul>	拡充	日常生活支援と支援体制の整備
2	14	(2) 地域包括支援センターの業務 ア 総合相談・支援業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後複雑化する相談がますます増えていくことが予想されますが、関係各課、関係機関等との連携を密にし、高齢者のみにとどまらず、世帯全体の支援につながる総合相談窓口として、相談を受け止め、必要な機関につなげるよう支援を行います。</li> <li>・伊那市役所内の庁内連携を強化し、「断らない包括的な支援体制」を構築について検討を行い、重層的支援体制整備に努めます。</li> <li>・相談内容によっては、保健師や社会福祉士等が訪問し、必要なサービス利用や関係機関の紹介等の支援を行ってまいります。</li> <li>・身近な場所での相談所「イーナ介護なんでも相談所」を市民に啓発するとともに、相談所との連携を図り、困ったことへの対応を適正に行います。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度総合相談件数5,594件（見込6,000件）</li> <li>・老老介護、権利擁護、生活困窮、ひきこもり等と複雑且つ、多様化する相談が増加傾向の中で、関係各課、関係機関等と連携を取りながら対応している。関係者との連携を密に図りながら問題解決を導き出すことに努めました。</li> <li>・必要に応じて社会福祉士、保健師等が訪問し関係機関へ引継ぎ、必要なサービスに繋がりました。</li> <li>・市内協力介護保険事業所「イーナ介護なんでも相談所」また、「認知症見守りネットワーク協力事業所」として連携し各種相談に対応しています。</li> <li>・令和5年度の自殺対策推進協議会においてH29年～R3年までの自殺者を分析したところ、伊那市の特徴として、前年度と比較して65歳以上の高齢者の自殺者が多かったです。</li> </ul>	継続	日常生活支援と支援体制の整備

No	計画書 ページ	事業名	事業計画の内容	判定	評価	次期計画 での取組	第9期計画に対する 項目（目標）
3	15	(2) 地域包括支援センターの業務 イ 権利擁護業務 (ア) 高齢者虐待対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待の通報があった際には、社会福祉士と保健師等がチームを組んで迅速に対応するとともに、複合的な問題があるケースについては、関係各課や関係機関と緊密に連携しながら対応をしていきます。</li> <li>・伊那市権利擁護ネットワーク連絡協議会を通じて各関係機関との連携の継続、充実を図るとともに、困難事例や専門的な意見が必要なケースに対しては、専門機関からアドバイスや意見をいただき、対応を進めていきます。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間約20件の高齢者虐待の相談があり、社会福祉士、保健師等がチームで対応をしています。</li> <li>・虐待や複合的な問題等に対して伊那市権利擁護ネットワークを通して、関係機関と連携、協力をしていただき対応しています。今後も連携して対応を進めていきます。</li> </ul>	継続	日常生活支援と支援体制の整備
4	15	(2) 地域包括支援センターの業務 イ 権利擁護業務 (イ) 消費者被害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が悪質商法や特殊詐欺の被害に遭わないようにするため、伊那市消費生活センターと連携し、高齢者に接する機会が多いケアマネジャーや介護サービス事業者等に対する研修を実施するとともに、チラシを配布する等の普及啓発活動や被害防止対策に継続して取り組みます。</li> </ul>	A	伊那市消費生活センターの全体の相談は、370件前後ですが、そのうちの約4割が高齢者の相談です。主に伊那市消費生活センターが対応していますが、連携し、対応をしています。	維持	日常生活支援と支援体制の整備
5	15	(2) 地域包括支援センターの業務 イ 権利擁護業務 (ウ) 成年後見制度利用支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度の利用が必要な高齢者に対して、引き続き相談・支援を行います。身寄りがいない、又は虐待に遭っているなどのケースでは、市長申立てをしていきます。</li> <li>・高齢者虐待と同様に伊那市権利擁護ネットワークを通して、各関係機関と連携していきます。</li> <li>・成年後見制度申立て時の後見人候補者の選定については、伊那市権利擁護ネットワーク個別検討部会の開催や専門職の意見をいただく体制を整え、適切な候補者の選定を行っていきます。</li> <li>・伊那市と上伊那成年後見センターが、地域連携ネットワークの中核機関として役割を分担しながら利用促進を進めていきます。</li> <li>・上伊那成年後見センターと連携し、成年後見制度の普及啓発を行うとともに、市民後見人等の制度の担い手養成を継続します。</li> <li>・成年後見制度利用支援事業では、後見人報酬を助成していますが、後見人受任の専門職に意見をもらい、利用しやすい事業を考えていきます。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度の市長申立は、年間約11件しています。申立て前の段階で後見人候補者の選定では、上伊那成年後見センターに依頼するケース以外は伊那市権利擁護ネットワーク連絡協議会個別検討部会を開催して適切な候補者の選定を行っています。今後も成年後見制度の必要な高齢者に関係機関と連携して支援していきます。</li> <li>・R4年度に成年後見制度利用促進基本計画のためのニーズ調査を行いました。成年後見制度の利用を必要とする方の実態や要望等を把握することができました。伊那市地域福祉計画に成年後見制度利用促進基本計画が盛り込まれていまずので計画に反映していきます。</li> </ul>	維持	日常生活支援と支援体制の整備

No	計画書 ページ	事業名	事業計画の内容	判定	評価	次期計画 での取組	第9期計画に対する 項目（目標）
6	17	(2) 地域包括支援センターの業務 ウ 包括的継続的ケアマネジメント支援業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回、伊那市の指定居宅介護支援事業所を対象に「居宅介護支援事業所連絡会」を開催し、研修会等を通してケアマネジャーの資質向上に努めます。</li> <li>・地域包括ケアシステムの深化に向けた、「在宅医療・介護の連携の推進」「生活支援体制整備事業」や「権利擁護」など研修会への参加を促します。</li> <li>・ケアマネジャーへの個別のケアプラン作成の支援や困難事例への対応支援が適切に行えるよう、伊那市の指定居宅介護支援事業所の「主任介護支援専門員連絡会」及び研修会を定期的に開催し、スキルアップを図ります。</li> <li>・ケアマネジャーが介護保険制度によるサービスや伊那市独自サービス、社会資源などを適正にプランに位置付けられるように、市内主任ケアマネジャーを交えたケアプランの内容点検の充実を図ります。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○介護支援専門員連絡会議の開催</li> <li>R1年実績9回/年→R4実績8回/年</li> <li>○主任ケアマネジャー会</li> <li>R1年実績3回/年→R4実績4回/年</li> <li>○包括的・継続的ケアマネジメント支援事業</li> <li>R1年実績192件、R2年実績697件、R3年実績505件、R4年実績721件</li> </ul>	継続	日常生活支援と支援体制の整備
7	17	(2) 地域包括支援センターの業務 エ 指定介護予防支援業務、介護予防ケアマネジメント業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要支援1、2、総合事業対象者の高齢者にとって適切なサービスが受けられるよう、自立支援に向けた介護予防プランの作成、サービス担当者会議の実施、多職種協働等により、高齢者が必要とする支援を行います。</li> </ul>	A	<p>H29年度からは、自立支援に向けた新しい総合事業の介護予防ケアマネジメントにへ移行しました。</p> <p>実績値より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①実績R4介護予防支援計画作成件数447件/月（R4見込480件/月）A</li> <li>②実績：介護予防ケアマネジメント139件/月R4見込200件/月）B</li> </ul> <p>合計：586件/月（R4見込680件/月）A</p>	維持	日常生活支援と支援体制の整備
8	18	(2) 地域包括支援センターの業務 オ 介護相談員派遣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険施設等を介護相談員が継続的に訪問することで、問題の改善や介護サービスの質の向上を図ります。</li> <li>・介護相談員会を月1回開催し、情報交換を図るとともに、相談員の質の充実を図ります。</li> </ul>	C	<p>R4年度 施設訪問回数0（R4見込65施設） 被相談延人数0人（R4見込550人） 相談員0名（R4見込3人）</p> <p>R2年度～4年度までコロナ感染症拡大防止のため、施設訪問中止しました。</p> <p>R5度からコロナ感染症が5類型になったため、徐々に再開の予定です。</p>	維持	日常生活支援と支援体制の整備

No	計画書 ページ	事業名	事業計画の内容	判定	評価	次期計画 での取組	第9期計画に対する 項目（目標）
9	18	(2) 地域包括支援センターの業務 力 地域ケア会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の方が主体的に地域の目標達成、地域の課題解決をするために、地域包括支援センターと地域福祉コーディネーターが協働し、生活に密着した身近な地域での地域ケア会議を開催します。</li> <li>・個別課題の解決を図るための地域ケア会議を引き続き開催するとともに、地域における支援者のネットワークの構築や地域課題の発見につなげていきます。</li> <li>・「自立支援型地域ケア会議」を開催し、ケアマネジャーやサービス提供事業者の資質向上を目指し、地域に不足する社会資源や地域課題の発見や解決策の検討につなげていきます。</li> <li>・地域レベル地域ケア会議については、未開催の地区は開催できるよう支援を行い、高齢者が暮らしやすい地域となるために、住民がお互い支え合うことができる地域づくりを支援します。そのために会議内容に応じた参加者を招集し、医療関係者、介護支援専門員、ボランティア、民生委員等の関係機関とも連携を図ります。</li> <li>・伊那市らしい地域包括ケア体制を構築するため、各地域の課題を整理し、市全体の施策として協議する市レベルの地域ケア会議を開催します。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個別レベル地域ケア会議及び地域レベル地域ケア会議については開催を継続しており開催回数は増加しています。R4実績5回/年（R4見込数5回/年）</li> <li>○地域レベル地域ケア会議はR4年度に全地区（32地区）での開催を達成した。また、包括支援センター職員と社協の地域福祉CO（正式名称：生活支援CO）と協力して開催しています。</li> <li>○自立支援型地域ケア会議はR4年度実績5回/年、（R4見込数5回/年）実施しました。</li> </ul>	維持	日常生活支援と支援体制の整備
10	33	(2) 地域包括支援センターの業務 1 生活支援体制整備の充実 (1) ニーズと地域支援の把握・NWの構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉コーディネーター配置について、社協への委託を継続し、高齢者生活支援サービスの充実に向け、引き続き活動支援を行います。</li> <li>・第1層の「伊那市生活支援サービス調整協議体」が中心となり、介護保険事業所、多様な専門職、地域住民が地域の課題を共有し、新しい技術など活用して課題の解決に取り組めるよう、地域づくりを行う多機関と連携しながら生活支援体制を整備します。</li> <li>・就労的活動の場を提供できる民間企業・団体等と、就労的活動の取組を実施したい事業者等とをマッチングし、役割がある形での高齢者の社会参加等を促進するため、就労的活動支援コーディネーター（就労的活動支援員）の配置を検討します。</li> <li>・各地区や地域ごとに生活支援体制整備について考える第2層の「住民主体サービス調整協議体」は、地域レベル地域ケア会議での協議を経て設置し、参加メンバーについては地区役員、民生委員、医療機関、介護保険事業所、ボランティア団体などの参加を促し、生活支援サービスの整備について協議を行います。</li> </ul>	B	<p>第1層の「伊那市生活支援サービス調整協議体」では年2回の全体会の他、ワーキングチームを作り年3回程度の活動を行うことで、生活支援体制を整備しました。</p> <p>生活支援体制整備事業として「生活支援（地域福祉）コーディネーター」を社協に7名委託。地域課題の把握とともに、地域資源の抽出や課題解決のための活動等を行いました。</p>	拡充	日常生活支援と支援体制の整備

No	計画書 ページ	事業名	事業計画の内容	判定	評価	次期計画 での取組	第9期計画に対する 項目（目標）
	34	(2) 地域包括支援センターの業務 2 生活支援体制整備の充実 (2) 地域資源の掘り起こし・サービスの開発・多種多様な主体の参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活支援の担い手の育成支援として生活支援サポーターの養成を行い、修了者が身近な場所での支援ができるよう、適材適所へのマッチングや活動の立ち上げ支援を行います。</li> <li>住民が主体となって生活支援を実施している団体の発掘を行い、必要に応じて運営支援を行います。</li> </ul>	B	<p>○生活支援サポーターの養成（H29年度から社協に委託し、養成している） 修了者R1年実績16名、R2年度15名、R3年度12名、R4年度9名。 R4度までの実績120名だが、ボランティア等実施できる名簿登録者は84名。（名簿登録者割合） 名簿登録率は総合事業の通所型・訪問型事業主催の他に下記の住民主体の社協共済事業へ協力している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>きらきらちいきびと 37名</li> <li>まちの縁側 80名</li> <li>あったかご近所ネット 5地区</li> </ul>	継続	日常生活支援と支援体制の整備
11	20	(3)在宅生活支援 ア 要援護高齢者の把握と災害時等における支援体制の整備 総務係と地域福祉推進係	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者のプライバシーの保護に十分配慮しつつ、民生委員等の協力を得て保健福祉支援カードの整備を進め、必要とするサービスの実施につなげます。</li> <li>救急医療情報キット及び携帯用連絡先カードを必要な家庭に配布します。</li> <li>市地域防災計画及び市避難行動要支援者支援マニュアルに基づき、自治会、自主防災会、民生委員等、地域や関係機関と連携して、緊急時や災害時における要援護者（避難行動要支援者）の支援体制を確立します。</li> <li>地域見守りネットワーク事業による協定締結事業者を増やし、地域の見守り体制を整えます。</li> <li>地域の要援護者（避難行動要支援者）を把握し、日常の見守りにも活用できる災害時住民支えあいマップの作成と、定期的な更新を支援します。</li> <li>福祉避難所の協定締結施設がさらに増えるよう、関係施設と協議を進めるとともに、災害時に備えた訓練・準備を関係施設と連携して行います。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健福祉支援カード登録者 R4年度末 4,751人</li> <li>救急医療情報キット所有者数 R4年度末 4,751人</li> <li>携帯用連絡先カード所有者数 R4年度末 4,755人</li> <li>福祉避難所（高齢者対応）32か所</li> </ul>	継続	日常生活支援と支援体制の整備
12	22	(3)在宅生活支援 イ 介護慰労金支給事業 高齢者係	<ul style="list-style-type: none"> <li>当事業の実施により、介護者の労をねぎらうとともに、介護者の負担軽減につながるサービスの充実に努めます。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>支給対象が増加する中、年2回の支給を適正に行った。</li> </ul>	継続	日常生活支援と支援体制の整備

No	計画書 ページ	事業名	事業計画の内容	判定	評価	次期計画 での取組	第9期計画に対する 項目（目標）
13	22	(3)在宅生活支援 ウ 軽作業援助サービス費用助成券交付事業 (おたすけ券交付) 高齢者係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低所得高齢者世帯が軽作業の援助を受けられるよう、「おたすけ券」を交付します。</li> <li>・地域での助け合いで高齢者の在宅生活が続けられるよう、総合事業の訪問型サービスBの取組みと連携して、地域自治団体や地区・地域社協、地域の団体等に軽作業を請け負う事業者としての登録を呼びかけ、事業者の拡大を進めます。</li> <li>・サービスの利用につながるよう事業の周知を図ります。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者（地区社協等）の数は増加していないが、実績の増えた地域もある。</li> <li>・交付者数は横ばい傾向。</li> <li>・作業によってシルバー人材センターが請け負い切れないものもある。</li> <li>・ゴミ出しなど生活に密着した作業は特に地域で助け合える仕組みへの転換について検討が必要。</li> <li>・担い手となる地区社協に対して、事業の周知を行うとともに、請け負いやすくなる制度設計について協議する必要がある。</li> </ul>	継続	—
14	22	(3)在宅生活支援 エ 緊急宿泊事業 高齢者係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護者及び利用者の負担軽減のため、県補助を活用しながら引き続き事業を実施します。</li> <li>・多くの利用者が利用できるよう、実施事業者の拡大を進める。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍において一時的に実績は減少したが、R4年度から回復するとともに事業者による受け入れ体制は引き続き整えられている。</li> </ul>	継続	日常生活支援と支援体制の整備
15	23	(3)在宅生活支援 オ 高齢者日常生活用具貸与事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な限り介護保険の認定を受けずに在宅生活を送ることを支援するため、日常生活用具の貸与を行う。</li> <li>・貸出状況を見極めながら、定期的に在庫の整理及び機器の更新を行う。</li> <li>・サービスの利用につながるよう事業の周知を図る。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電動ベッド、ベッドサイドテーブル、立ち上がり補助手すりを新たに購入し、貸与を行った。</li> <li>・手動ベッドの需要低下から大量に整理を行った。時代の変化に対応した用具の提供が必要。</li> <li>・民間事業者による提供体制が整っているのので、市の在庫管理について合わせて検討する必要がある。</li> </ul>	廃止	日常生活支援と支援体制の整備
16	23	(3)在宅生活支援 カ 緊急通報装置導入事業 高齢者係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防署等関係機関と連携を図り、緊急通報体制を整える。</li> <li>・緊急連絡先となる親類・知人等がない高齢者の緊急連絡先について、事業者委託により確保する。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防署、委託先との連携を図り、緊急時の安否確認体制を確保した。</li> <li>・設置者の一斉点検をした結果、不要な世帯が多くあった。</li> <li>・NTTが一般向け事業を撤退しており、事業継続について検討の必要がある。</li> <li>・固定電話がない、NTT回線ではない家庭への対応が課題。</li> <li>・時代に即した先端技術を活用した新たなシステムの導入を検討する必要がある。</li> </ul>	継続	日常生活支援と支援体制の整備
17	24	(3)在宅生活支援 キ ショートステイ（在宅高齢者短期保護）事業 地域福祉係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時にも対応できるよう、施設と連携を図ります。</li> <li>・虐待からの保護などの対応が多くなっていることから、利用状況の推移を踏まえながら、入所できる施設の拡充を検討します。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設と連携を図り、真に利用を要する方への事業を実施した。</li> </ul>	継続	日常生活支援と支援体制の整備



No	計画書 ページ	事業名	事業計画の内容	判定	評価	次期計画 での取組	第9期計画に対する 項目（目標）
18	24	(3)在宅生活支援 ク 訪問理容・美容サービス利用料助成券交付 事業 高齢者係	・サービスの利用につながるよう事業の周知を図りながら、利用率を踏まえ事業内容の見直しを行う。	A	・利用者数と利用額は微増であった。 ・高齢者いきいき健康券等との統合により利用しやすい制度に改善した。	継続	日常生活支援と支援 体制の整備
19	25	(3)在宅生活支援 ケ 紙おむつ等購入券交付事業 高齢者係	・要介護者の身体的負担や経済的負担を軽減するため、内容等の検証を行いながら実施する。 ・サービスの利用につながるよう事業の周知を図る。	A	・R4年度から要支援以上で認定調査から必要と認められる方を対象拡大したことにより、利用者数及び利用額は、年々増加傾向。 ・暮らしいきいき応援券との重複部分があり、対象者の見直し等検討が必要。	継続	日常生活支援と支援 体制の整備
20	25	(3)在宅生活支援 コ 「食」の自立支援事業 高齢者係	・食の自立の観点から、調査・検討を実施し、民間事業者の協力を得て事業を行う。 ・サービスの利用につながるよう事業の周知を図る。	A	・年々利用者が増加している。 ・事業の目的を整理し、R5年度から対象者の基準を見直すとともに、定額助成方式とすることで食事の選択肢を拡大した。	継続	日常生活支援と支援 体制の整備
21	25	(3)在宅生活支援 サ 障害者控除対象者認定書及びおむつ代の医療費控除に係る確認書の発行 高齢者係	・税務課と連携を図りつつ、広報による周知を行います。	A	・税務課と連携し、広報を行い、適正に発行手続きを行った。	継続	日常生活支援と支援 体制の整備
22	26	(4)外出支援 ア 福祉タクシー等利用助成券交付事業 高齢者係	・要介護者の経済的負担を軽減し、通院等を支援するため、タクシー券を交付します。 ・サービスの利用につながるよう事業の周知を図りながら、利用率を踏まえ事業内容の見直しを行う。	A	・高齢者数及び免許返納者の増加から、移動支援の必要性が増した。 ・タクシー券の対象者を拡大したこともあり申請者数数は増加している。 ・交付枚数に対する利用率が低いことから、R5年度から定数交付から定額交付に変更するとともにいきいき健康券等と統合し利便性を向上した。	継続	日常生活支援と支援 体制の整備
23	27	(4)外出支援 イ 高齢者いきいき健康券交付事業 高齢者係	・利用状況の把握や利用者の声を聞くなど、内容の検証を行い、目的に沿った利用を促進します。	A	・利用率が上がるよう、利用しやすい事業内容を追加した。 ・ぐるっとタクシー、デジタルタクシーの運行が始まったことから、低所得者の追加交付は市街地からの距離案分から定額に変更した。 ・用途が重なっている複数券と統合し、利便性の向上を図った。	継続	—

No	計画書 ページ	事業名	事業計画の内容	判定	評価	次期計画 での取組	第9期計画に対する 項目（目標）
24	27	(4)外出支援 エ その他の外出支援 高齢者係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ぐるっとタクシー（ドアツードア乗合いタクシー）」の本格運行に伴い、関係課との連携を図りながら、より利用しやすい環境整備に努めます。</li> <li>・高齢ドライバーにおける交通事故防止の観点からも、関係課等と連携して移動の代替手段の確保に努めます。</li> <li>・地区社協の協力により、ボランティア移送事業を継続し、他の移送サービスとの調整を図りながら、高齢者の移動手段の確保に努めます。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内関係課及び関係機関との連携を進めていく。</li> </ul>	継続	日常生活支援と支援体制の整備
25	28	(5)高齢者の生きがいきづくり ア 高齢者の知恵袋事業 高齢者係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世代間交流活動は高齢者のみならず、地域全体の活性化の効果も期待されることから、より多くの取組みが実施されるよう、実施状況を検証し周知方法や事業内容の見直しを行います。</li> <li>・保育園、小中学校、公民館等の関係機関との連携により、高齢者がいきいきと活動していく場を創設し、世代間交流を図ります。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市生涯学習基本構想でも計画の中に盛り込まれている。関係課等と連携し、地域や団体等が行う事業の支援を行った。</li> <li>・コロナ禍において、交流事業が減少し実績も減少したが、対策の確立に準じて事業が再開され、実績も回復してきた。</li> </ul>	継続	日常生活支援と支援体制の整備
26	29	(5)高齢者の生きがいきづくり イ 高齢者クラブ活動助成事業 高齢者係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協と連携し、区長会や地区社協等に周知し、市内全域での組織化を目指すとともに、単位クラブ役員等の負担軽減を図るため、活動しやすい環境づくりのための支援を行います。</li> <li>・環境美化等、地域を豊かにする活動等に対する補助を継続し、組織強化を図るとともに、会員の介護予防や健康づくりを支援します。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協と連携し、市内全域での組織化を図るため、区長会、地区社協等への働きかけを行った。</li> <li>・会員の介護予防や健康づくりへの支援の充実を図った。</li> </ul>	継続	日常生活支援と支援体制の整備
27	29	(5) 高齢者の生きがいきづくり ウ 高齢者祝金等交付事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康長寿への意識向上につながるよう、引き続き祝金品の贈呈を行います。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊那市敬老祝金等交付要綱に基づき、贈呈を行った。</li> <li>・88歳未満認定者へのおたっしや祝品は、内容の充実を行い交換率の向上を図る。</li> </ul>	継続	日常生活支援と支援体制の整備
28	29	(5) 高齢者の生きがいきづくり エ 敬老会補助事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の生きがいきづくりや地域交流の促進を目的に、区等に住所を有する75歳以上の高齢者数に応じたの補助を継続しながら事業の検証を行い、今後望まれる支援対象（個人・地域・高齢者全体など）や、支援内容を検討する。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区等に住所を有する75歳以上の高齢者を対象とした。</li> <li>・R3年度に第三者における外部評価を行い、事業の継続について必要との評価を受け、事業の期限をR7年度まで延長した。</li> <li>・コロナ禍において集合形式の敬老会が減少し個別に記念品を贈呈する地域が増加し、対象として補助を行った。補助内容について引き続き検証が必要。</li> </ul>	継続	日常生活支援と支援体制の整備

No	計画書 ページ	事業名	事業計画の内容	判定	評価	次期計画 での取組	第9期計画に対する 項目（目標）
29	30	(5) 高齢者の生きがいがづくり オ シルバー人材センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の就業機会の拡大を図り、シルバー人材センターの自主財源が確保されるよう、支援します。</li> <li>・新規加入促進に向けた取組みに協力をします。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営費の助成を行うとともに、シルバー人材センターとの連携を図った。</li> <li>・会員募集について、チラシ配布等への協力を行った。</li> </ul>	継続	日常生活支援と支援体制の整備
30	30	(6) 高齢者福祉施設の運営 ア 美篤世代間交流施設（ほっとセンターみすず）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流の輪が広がるよう施設利用を促します。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の影響で利用者は減少した。</li> <li>・交流を行う利用が少ない。</li> </ul>	継続	日常生活支援と支援体制の整備
31	31	(6) 高齢者福祉施設の運営 イ 高遠町老人福祉センター・高遠町高齢者生きがいセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用状況等を見極め、今後の運営方法等を検討していく。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生きがいセンターは利用がない状態が続いている。</li> </ul>	継続	日常生活支援と支援体制の整備
32	31	(6) 高齢者福祉施設の運営 ウ まちづくり拠点施設（気の里ヘルスセンター 木の木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報等を通じて、施設利用を促進する。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R4年から長谷総合支所の仮事務所として使用している。</li> </ul>	継続	日常生活支援と支援体制の整備
33	31	(7) 介護予防の拠点となる施設の活用整備 ア 高齢者にやさしい集会施設改修事業 イ いきいき交流施設等の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の介護予防、健康増進及び生きがいがづくりの場の確保を支援するため、地域自治体が行う既存集会施設などの改修に対して補助金を交付します。</li> <li>・施設の管理・運営を行う地域自治体に対し、目的に沿った活用を促進します。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（ア）ほぼ全地区の要望に応えることができ、事業の目的を達成したことからR4年で事業を廃止した。</li> </ul>	廃止	日常生活支援と支援体制の整備

No	計画書 ページ	事業名	事業計画の内容	判定	評価	次期計画 での取組	第9期計画に対する 項目（目標）
2 介護予防・日常生活支援総合事業の充実							
34	35	(1) 介護予防・生活支援サービスの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防・日常生活支援総合事業サービスについては、国の制度改正にあわせて、総合事業を利用していた方が要介護認定を受けても、今まで利用していた介護予防・日常生活支援総合事業のサービスが利用できるような内容について見直しを行います。</li> <li>・介護予防・日常生活支援総合事業サービスの単価は国が目安を定めますが、各市町村の実情に合わせて決めることになっています。社会情勢に合わせ報酬単価の見直しを行います。</li> <li>・要支援者等の高齢者には、生活機能低下に対応した多様な支援が求められるため、元気な高齢者を含めた地域住民の力を活用し、多様な介護予防・生活支援サービスの充実を図ります。</li> <li>・地域住民が主体となって実施する、訪問型サービスB・D及び通所型サービスBの立ち上げ支援を地域福祉コーディネーターと協働し推進していきます。</li> <li>・介護予防・日常生活支援総合事業の理解について、市報やケーブルテレビ等で周知します。</li> <li>・通所型サービスC（短期集中教室）、通所型サービスA-2（認知症予防教室 ひまわり会）を実施します。</li> </ul>	A	<p>H29年度から始まった総合事業利用案内</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険事業所への訪問型・通所型サービスの現行相当と緩和型サービスの周知・介護報酬改定</li> <li>・訪問型サービスB・D、通所型サービスBは計画どおり登録団体ができている。</li> <li>・通所型サービスCは参加者が計画の約半数、通所型サービスA-2はほぼ計画どおりの参加者数となっている。</li> </ul>	継続	<p>介護予防・日常生活支援サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護報酬の見直し</li> </ul>
35	37	(2) 一般介護予防事業の充実 ア 介護予防把握事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢を区切って、介護認定を受けていない高齢者に対して基本チェックリストを実施し、筋力低下、閉じこもり、うつ傾向等の予想される高齢者を把握し、介護予防事業への参加へ繋げます。</li> <li>・「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業」を踏まえ健康推進課と連携しながら介護予防の必要な高齢者を把握します。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・65歳、70歳、75歳の3年代の方に郵送にて日常生活アンケート実施。R4年度回収率64.9%。筋力低下、閉じこもり、低栄養、口腔機能低下傾向の高齢者を把握し、介護予防事業への参加を働きかけた。</li> </ul>	継続	<p>介護予防・日常生活支援サービスの充実</p>

No	計画書 ページ	事業名	事業計画の内容	判定	評価	次期計画 での取組	第9期計画に対する 項目（目標）
36	38	(2) 一般介護予防事業の充実 イ 介護予防普及啓発事業 (ア) 脳いきいき教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3年度以降も、転倒・骨折予防、閉じこもり予防・認知症予防、口腔機能向上を目的として、身近な公民館、いきいき交流施設等で教室を開催します。</li> <li>・教室の参加者は後期高齢者が多く、オーラルフレイルの傾向があることから、より効果的な介護予防教室となるように参加者の年代に合わせた教室の内容を検討します。新規参加者の増加を図るため、周知の方法や教室の体制の見直しを行います。</li> <li>・支援が必要な高齢者の積極的な参加を促し、地域での活動維持につなげます。</li> <li>・男性が興味を引くような内容も考慮するとともに、男性の参加者の増加を図ります。</li> <li>・参加者が減少している地区について、社会福祉協議会の地域福祉コーディネーターと連携して教室が存続するための対策を検討します。また、教室の存続ができない場合には、地域や仲間との交流を維持できる方法を考えていきます。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R4年度脳いきいき教室110コース開催。実人員1,109人、延べ16,730人。目標実人員1,350人（達成率82.1%）</li> <li>・脳いきいき教室は身近な通いの場として機能している。</li> </ul>	継続	介護予防・日常生活支援サービスの充実
37	39	(2) 一般介護予防事業の充実 イ 介護予防普及啓発事業 (イ) 筋力アップ教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筋力アップ教室で行っている複合的な介護予防のプログラムは、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業」の低栄養防止・生活習慣病等の重症化予防の視点をもって実施していきます。</li> <li>・教室終了後は、新規の自主グループとして活動継続できるように支援していきます。</li> <li>・地域によっては、既存の自主グループを紹介し、地域での活動継続のための支援を行います。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R4年度は伊那市保健センターでの筋力アップ教室を1教室開催（実人数18名）、はせ健康教室を1教室開催（実人数5名）。</li> <li>・教室終了後は地域の自主グループの紹介等を実施。</li> </ul>	継続	介護予防・日常生活支援サービスの充実
38	40	(2) 一般介護予防事業の充実 イ 介護予防普及啓発事業 (ウ) い～な元気応援セミナー (65歳誕生日講座)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険制度の啓発に加え、生活習慣病予防・健康づくりを主眼に引き続き開催します。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>R4年度実績26.0%。達成率78.8%。令和元年以降新型コロナウイルスの影響で教室の中止や参加者が減少傾向が続いていたが、少しずつ参加者も増加傾向にある。</li> <li>・介護保険制度の理解を深めるとともに、これからの高齢期を元気で過ごすための意識啓発等の支援を行った。</li> </ul>	継続	介護予防・日常生活支援サービスの充実
39	41	(2) 一般介護予防事業の充実 イ 介護予防普及啓発事業 (エ) 病態別健康教室(シニア健康教室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業」の低栄養防止・生活習慣病等の重症化予防の視点をもって実施していきます。</li> <li>・教室終了後は、新規の自主グループとして活動継続できるように支援していきます。</li> <li>・地域によっては、既存の自主グループを紹介し、地域での活動継続のための支援を行います。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>R3年度から高齢者の保健事業と介護予防と一体的実施のポピュレーションアプローチとして実施。生活習慣病と軽度認知障害の関連や予防について講義と運動を実施。健康に関する知識を身に付けるとともに運動習慣を習得し、介護予防につながるよう支援した。</li> </ul>	継続	介護予防・日常生活支援サービスの充実

No	計画書 ページ	事業名	事業計画の内容	判定	評価	次期計画 での取組	第9期計画に対する 項目（目標）
40	41	(2) 一般介護予防事業の充実 イ 介護予防普及啓発事業 (エ) お出かけ講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民、地域社会福祉協議会等が中心となって行う地域の身近な介護予防啓発の場として、できる限り支援していきます。</li> <li>・依頼された講座の内容により、いきいきサポーター（介護予防推進員）等を講師として派遣しながら、地域での活動を支援していきます。</li> </ul>	A	依頼を受け、各専門職が地域に出向いた。（R4年度は6回） いきいきサポーターが4回講師として地域の活動に出向いた。	継続	介護予防・日常生活支援サービスの充実
41	42	(2) 一般介護予防事業の充実 イ 介護予防普及啓発事業 (カ) 広報啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険認定者に多い疾患としてあげられる脳血管疾患、認知症、骨折や筋骨格系疾患等の疾病理解と発症予防及び重症化予防対策として、次の事業を行います。</li> <li>* 介護予防・健康づくり講演会の開催</li> <li>* 生活習慣病予防のための病態別予防教室</li> <li>* 市報・有線放送・CATVなどでの一般啓発活動</li> <li>* 市ホームページ上での情報発信</li> <li>* お出かけ講座の開催</li> <li>* 医療機関、福祉関係機関、健康推進課等市関係部署との連携による啓発活動</li> <li>* 地域ネットワーク、地域での公民館活動、ボランティア活動との連携による啓発活動</li> </ul>	A	全ての事業を開催し、介護予防普及啓発につなげた。	継続	介護予防・日常生活支援サービスの充実
42	42	(2) 一般介護予防事業の充実 ウ 地域介護予防活動支援事業 (ア) いきいきサポーター養成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいきサポーターの養成講座の開催を継続し、地域での健康づくり・介護予防の担い手を増やして行きます。</li> <li>・地域での活動を行っているサポーターを支援するために、スキルアップ研修会を開催します。</li> <li>・地域で行っている活動の発表と、相互の交流を目的に、市全体のいきいきサポーターと教室生の交流発表会を行います。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいきサポーター養成講座を継続して開催し、R3年度は10名、R4年度は2名が講座を修了した。R5年度現在約90名が活動。</li> <li>・いきいきサポータースキルアップ講習会を開催し、地域での自主活動の支援を実施。</li> <li>・いきいきサポーターと教室生の交流会を高遠と伊那でそれぞれ開催。</li> </ul>	継続	介護予防・日常生活支援サービスの充実
43	43	(2) 一般介護予防事業の充実 ウ 地域介護予防活動支援事業 (イ) 地域自主グループ筋力アップ教室等の育成と支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域で住民による主体的な介護予防活動が継続できるよう、新規の立ち上げの支援と運動継続グループの育成・活動支援を行っています。</li> <li>・低体力の方の参加しやすい自主グループの育成を支援します。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の自主グループへの補助金の交付</li> <li>・参加者減少等により終了となった教室もあるが、新規に開始となった教室もある。</li> </ul>	拡充	介護予防・日常生活支援サービスの充実
44	44	(2) 一般介護予防事業の充実 ウ 地域介護予防活動支援事業 (ウ) イーナ介護予防ボランティアポイント事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症予防のため、ボランティアの受け入れやボランティアの活動内容が限定されている状況ではありますが、感染の状況等により間接的に行えるボランティア等を工夫しながら実施します。</li> </ul>	A	コロナ禍で受入れ機関の介護保険事業所でのボランティア活動が制限される中、自宅で行えるボランティア活動（新聞紙のゴミ袋作成など）を実施し登録者は令和4年度414人と増加した。	拡充	介護予防・日常生活支援サービスの充実

No	計画書 ページ	事業名	事業計画の内容	判定	評価	次期計画 での取組	第9期計画に対する 項目（目標）
45	44	(2) 一般介護予防事業の充実 エ 地域リハビリテーション活動支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議、住民主体の通いの場へのリハビリテーション専門職による助言を実施します。</li> <li>・「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業」を踏まえ、住民主体の通いの場へ理学療法士・栄養士・保健師・歯科衛生士等の専門職による助言や指導を行います。</li> <li>・健康運動指導士等、自主グループ活動指導者の連絡会を開催し、情報交換及び活動支援を行います。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理学療法士と保健師等の専門職により、地域自主グループ教室で健康講話と体力測定を行った。</li> <li>・自立支援型地域ケア会議を開催しリハ職が参画</li> <li>・自主グループ代表者会議の開催</li> </ul>	継続	介護予防・日常生活支援サービスの充実
46	44	(2) 一般介護予防事業の充実 オ 介護予防事業評価事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防事業が効果的・効率的に実施されているかを評価します。</li> <li>・事業の開始時と終了時に基本チェックリスト等アンケート、運動測定を行い評価します。</li> <li>・介護保険認定状況、認定率の比較や新規認定者の認定割合等からの評価を行います。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業参加者は体力測定は維持・改善した方が半数以上。</li> <li>・介護保険の認定率は国・県と比較して低い率で推移しています。</li> </ul>	継続	介護予防・日常生活支援サービスの充実
3 在宅医療と介護の連携の充実							
47	45	(1) 市民啓発、意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民にわかりやすく、医療と介護の現状について説明をする必要があり、引き続きケーブルテレビや市報等を利用して啓発を行います。</li> <li>・一般市民向けに、「自分ノート」を活用した人生会議の啓発を行います。</li> <li>・在宅医療・介護に関する内容や、各医療機関・介護保険事業所の役割等を紹介した市民向けパンフレット等を作成し、広く市民に周知を行います。</li> <li>・市内の医療機関とも連携し、在宅医療・介護について周知するために住民向け出前講座を行います。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケーブルテレビや市報を利用して、人生会議や在宅療養について啓発を実施した。</li> <li>・伊那市版エンディングノート「自分ノート」を作成し、令和2年度から令和4年度に約2000冊を配布した。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で、令和3～4年度は対面で行う出前講座の回数は減少した。</li> </ul>	維持	在宅医療と介護の連携充実
48	46	(2) 多職種連携による円滑な連携体制の構築 ア 多職種連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的に情報共有を行っているが、より多職種連携がとりやすい方法について、ICTの導入や、カンファレンスの時間の工夫などについて検討していきます。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度11月からICTを活用した情報共有ツールとして、いな電子@連絡帳が導入され、多職種の日常的な情報共有に活用されている。</li> <li>・令和3年度、令和4年度はオンラインにて在宅医療介護連携推進のための多職種研修会を開催した。</li> </ul>	維持	在宅医療と介護の連携充実

No	計画書 ページ	事業名	事業計画の内容	判定	評価	次期計画 での取組	第9期計画に対する 項目（目標）
49	46	イ 急変時の対応と看取りについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上伊那広域入退院時連携ルールを活用しながら本人の意向を大切に支援ができるような体制づくりを行います。</li> <li>・上伊那広域消防署、救急診療を行う病院において、緊急時に高齢者の状態がわかるような情報提供方法について検討を行います。</li> <li>・認知症高齢者が増加し、親子関係や親戚、地域での支援が希薄化する中、「身寄りのない人の入院及び医療に係る意思決定が困難な人への支援に関するガイドライン」に沿って権利擁護事業や認知症施策事業関係者とも協力し、関係機関や市民への啓発を行います。</li> <li>・緊急時の対応や病床数など伊那市のみでは解決できない課題もあるため、上伊那地域在宅医療・介護連携推進事業研究会に参加し、上伊那広域としての取組について検討を行います。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上伊那広域入退院時連携ルールの運用は関係職種に周知し、定着してきたが取り組む病院により対応にむらがある。</li> <li>・専門職に向け意思決定支援のための研修会を実施した。</li> <li>・上伊那地域在宅医療・介護連携推進事業研究会に参加し、上伊那郡内の状況を共有。専門職向け研修会を開催している。</li> </ul>	維持	在宅医療と介護の連携充実
50	47	ウ 在宅医のサポート体制の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問診療・往診を提供する医療機関の負担を軽減するための一つの取組として、訪問診療・往診を提供する医療機関と、居宅介護支援事業所・訪問看護ステーションとの連携体制について医師会等関係機関に説明し、ICTを活用した情報共有ツールの導入、活用等について検討を行います。</li> <li>・在宅医療と介護連携は、介護保険部門のみならず、健康づくり部門や地域医療を担当する部門との連携が必要であり、保健・福祉に関する地域課題を庁内の関係組織と共有し、協働して事業に取り組むことができるよう検討します。</li> <li>・災害時や感染症の流行時に、在宅で療養する高齢者が安心して暮らすことができるよう、庁内の保健福祉担当部署や防災担当部署等が連携できるよう検討をします。</li> <li>・目指す姿と取り組み事業を施策マップにまとめ、事業に取り組んでいきます。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度11月からICTを活用した情報共有ツールとして、いな電子@連絡帳が導入された。</li> <li>・伊那市在宅医療・介護連携推進協議会で、伊那市の在宅医療・介護連携推進事業について施策マップを作成し取り組んできた。協議会では市民啓発、ICTを活用した情報共有、実態調査、意思決定支援についてワーキンググループに分かれてそれぞれ活動を行ったが、在宅医のサポートにつながったかは確認できなかった。</li> <li>・災害時等のBCPや個別避難計画作成に向けて、保健福祉担当部署や防災担当部署等が連携できるよう検討を進めている。</li> </ul>	維持	在宅医療と介護の連携充実
51	47	(5) 医療・介護関係者の研修、情報共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊那市の在宅医療と介護に関わる関係機関による多職種連携推進のための研修会を継続し、お互いの役割に対する理解と連携を一層深めていきます。</li> <li>・多職種連携推進に必要な情報を共有するためのツールや体制づくり等について検討していきます。</li> </ul>	A	平成28年度、平成29年度、在宅医療介護の連携のための多職種研修会を開催した。	維持	在宅医療と介護の連携充実



No	計画書 ページ	事業名	事業計画の内容	判定	評価	次期計画 での取組	第9期計画に対する 項目（目標）
52	47	(6) 地域住民への普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療・介護の連携に関する内容や、各医療機関・介護事業所等の役割等を紹介した市民向けパンフレット等の作成を行い、広く市民に周知していきます。</li> <li>・市内の医療機関や近隣市町村とも連携し、在宅医療・介護について周知するための住民向け講演会等を開催します。</li> </ul>	A	平成28年度、平成29年度、在宅医療介護の連携のための多職種研修会を開催した。	維持	在宅医療と介護の連携充実
53	47	(7) 在宅医療・介護連携推進に関する関係市町村の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上伊那管内の市町村との連携を強化し、在宅医療介護連携に関する適切な体制づくりの推進に向け、引き続き協議を行います。</li> <li>・上伊那広域連合主催の「上伊那包括ケアシステム研究会」に参加し、関係市町村、関係機関との協働による事業の実施に努めます</li> </ul>	A	平成28年度、平成29年度、在宅医療介護の連携のための多職種研修会を開催した。	維持	在宅医療と介護の連携充実
4 認知症施策の推進 * 伊那市認知症施策推進協議会を兼ねる							
54	48	(1) 認知症高齢者及び家族等への支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「認知症地域支援推進員」を継続して配置し、「認知症初期集中支援チーム」との協働や認知症施策の推進、認知症の人やその家族に対する相談支援、関係機関との連携等を行います。</li> <li>・認知症の初期の段階での受診により、適切な治療につなげるため、医療機関と協力して専門医による「認知症医療相談」を継続実施します。</li> <li>・認知症を発症した方やその家族等が悩みを気軽に話せて相談しやすい場所として、また認知症当事者の方の居場所づくりのため「認知症おしゃべりカフェオレンジ」を継続開催します。参加者が参加しやすい会場や開催時間について検討します。</li> <li>・若年性認知症の人への支援や社会参加支援を、県の若年性認知症コーディネーター等とともに検討していきます。</li> <li>・認知症予防教室「ひまわり会」を継続開催することで、認知症初期の方及びその家族への支援を行います。</li> <li>・認知症予防に資する活動として、介護予防の取組みを行い、身近な場所で取り組めるよう体制づくりを行い、現在活動している介護予防事業をさらに充実していきます。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○認知症地域支援推進員（保健師等兼務）配置を毎年配置し、関係機関と連携しながら認知症施策について検討実施している。</li> <li>○「認知症医療相談」は、地域包括支援センターの浸透により相談体制が充実し、認知症初期集中チームとの連携が進んだことで、相談件数も減少したため当事業は令和4年度に終了とした。</li> <li>○認知症初期集中チーム対応者は年間10人程度、必要時にすぐ対応できるよう、迅速な連携体制構築が課題となっている。</li> <li>○一般市民対象に認知症学習会を年1回4コースで実施し、認知症の正しい理解を目指している。</li> <li>○認知症カフェオレンジは市内5か所で月1回ずつ開催し、新型コロナウイルス感染症感染拡大前は年間300人前後の参加があった。</li> <li>○若年性認知症の方への支援については十分検討できていない。実態調査の取組みを検討している。</li> <li>○ケアパス等を利用し、認知症初期の相談に対応できる体制整備について検討している。</li> <li>○介護予防事業として認知症予防教室「ひまわり会」を市内2会場、週1回開催している。</li> </ul>	維持	認知症施策の推進*

No	計画書 ページ	事業名	事業計画の内容	判定	評価	次期計画 での取組	第9期計画に対する 項目（目標）
55	50	(2)見守り体制の充実	<p>「認知症見守りネットワーク」について、市民への啓発を行うとともに、行方不明者捜索模擬訓練等に取り組み、「伊那市認知症見守りネットワーク」の充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の方が安全に外出できる取組として、外出先での事故を想定した保険や居場所がわかるGPS機能の導入などを検討していきます。</li> <li>・認知症サポーターキャラバンメイト（講師役）のスキルアップを図り、「認知症サポーター養成講座」を充実させ、小中学校や、金融機関等への働きかけを継続実施します。</li> <li>・認知症の方を支援する医療・介護等の関係機関が顔の見える関係づくりができるような取組を行います。</li> </ul> <p>・認知症に関心がある市民や認知症サポーター等が中心となり、認知症の人やその家族が交流できるような「チームオレンジ」の取組について実施できるよう関係機関と検討します。</p>	A	<p>○認知症見守りネットワーク登録者は年間20人前後で、警察署やケアマネから紹介され登録されるケースが増えている。併せて、登録者の外出先での事故を想定した個人賠償保険への加入を開始した。</p> <p>○認知症サポーター養成講座は年間10回前後開催しており、令和4年度までに7148人が受講した。小中学校や金融機関、保険会社等の受講もあった。</p> <p>○キャラバンメイトのスキルアップに関しては十分に取り組むことができなかった。</p> <p>○チームオレンジについては関係機関と検討を重ね、今後カフェオレンジを基盤としたチームオレンジの立ち上げを予定している。</p>	維持	認知症施策の推進
5 高齢者の住まいの安定的な確保							
56	51	(1)自宅で暮らす ア 高齢者にやさしい住宅改良促進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険の住宅改修の範囲を超えて住宅改修が必要な場合、理学療法士等が状況を確認し、効果的な住宅改修を支援する。</li> <li>・在宅生活を継続するための支援を充実し、事業の周知を図る。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望者も増加傾向であるが、多くの要望に対応し在宅生活の支援を進めることができた。</li> </ul>	継続	高齢者の住まいの 安定的な確保
57	51	(1)自宅で暮らす イ 市が運営する高齢者向け住まい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が暮らしやすい住まいを提供するため、既存の市営住宅のバリアフリー仕様の住宅への転換等を進めることについて検討する。</li> <li>・見守りや安否確認など、入居者の安全確保に努める。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者向け住宅には異常感知センサーによる通報監視体制を整備し、安心した暮らしを守っている。</li> <li>・シルバーハウジングは生活援助員が日中駐在し、入居者の見守りを行うとともに脳トレ防教室等を開催し、フレイルを防止している。</li> </ul>	継続	高齢者の住まいの 安定的な確保
58	52	(1)自宅で暮らす ウ 民間事業者が運営する高齢者向け住まい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の多様なニーズや個々の身体状況に応じた住まいが選択できるよう、サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームの概要について情報提供し、円滑な入居の促進を図ります。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関等との連携を図り、希望者に情報を提供するなど市として役割を果たしている。</li> </ul>	継続	高齢者の住まいの 安定的な確保

No	計画書 ページ	事業名	事業計画の内容	判定	評価	次期計画 での取組	第9期計画に対する 項目（目標）
59	52	(2)施設で暮らす ア 特別養護老人ホーム入所調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入所の必要性が高い人が早く入所できるよう、優先入所基準に基づき適正に入所申込手続きを進めます。</li> <li>・やむを得ない事情により要介護1及び要介護2の人の入所申込みを受け付ける際は、入所対象者に該当するか適正に判断します。また、民間施設への直接申込者の入所受付及び入所判定に際し、適正に関与します。</li> <li>・新たな小規模特別養護老人ホームの整備計画を計上します。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則要介護3以上の方が入所の対象となっている。</li> <li>・市内各施設職員などから構成される入所検討委員会により、適正な判断で入所決定がされている。</li> <li>・入所申込者、待機者が増加傾向にある。</li> <li>・順番が来た者への斡旋時に断るケースが多いため、申込みの取り下げや保留をしてもらい、真に必要な方のスムーズな入所に努めている。</li> <li>・小規模特養施設の整備に対して補助金を交付した。</li> </ul>	継続	高齢者の住まいの 安定的な確保
60	53	(2)施設で暮らす イ 老人福祉措置事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関等との連携を密にして、保護が必要な高齢者の措置入所を行います。</li> <li>・要介護度が高い入所者については、適切な介護を行うため特別養護老人ホームへの施設替えを調整し進めます。</li> <li>・精神障害者の社会的入院を解消し、地域生活への移行に当たり、在宅生活困難者については、養護老人ホームの活用について検討します。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護が必要な高齢者の措置入所を適正に行った。</li> </ul>	継続	高齢者の住まいの 安定的な確保
6 介護給付費等対象サービスの充実							
61	55	(1)居宅サービス ア 訪問サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅生活を支える基幹サービスとして位置づけ、できるだけ希望に沿ったサービスと供給量が確保できるよう事業所の拡充を進める。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望に沿った必要なサービスと供給量が確保できた。</li> </ul>	継続	介護給付費等対象 サービスの充実
62	55	(1)居宅サービス イ 通所サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅生活を支える基幹サービスとして位置づけ、宅幼老所などにより必要量を確保する。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望に沿った必要なサービスと供給量が確保できた。</li> </ul>	継続	介護給付費等対象 サービスの充実
63	55	(1)居宅サービス ウ 短期入所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域密着型特別養護老人ホームなど新規開設の状況を考慮しながら、短期入所生活介護事業所や老人保健施設などにより、必要量を確保します。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望に沿った必要なサービスと供給量が確保できた。</li> <li>・緊急利用には別の施策での対応もできている。</li> </ul>	継続	介護給付費等対象 サービスの充実
64	55	(1)居宅サービス エ 福祉用具・住宅改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅生活を支える柱のひとつとして、必要な用具の使用と住宅改修が行われるよう支援する。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の状況に沿った適正な助言等により、自立生活を支援することができた。</li> </ul>	継続	介護給付費等対象 サービスの充実
65	55	(1)居宅サービス オ 特定施設入所者生活介護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定施設入所者生活介護は、現行施設の利用を基本に利用者数を見込む。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要なサービスを提供することができた。</li> </ul>	継続	介護給付費等対象 サービスの充実

No	計画書 ページ	事業名	事業計画の内容	判定	評価	次期計画 での取組	第9期計画に対する 項目（目標）
66	56	(2)地域密着型サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症高齢者グループホーム、看護小規模多機能型居宅介護や小規模特別養護老人ホームの新規開設を支援し、在宅・施設サービスの充実を図る。</li> <li>・定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの利用拡充を図る。</li> <li>・新規開設の認知症高齢者グループホームや小規模多機能型居宅介護により、必要なサービス量を確保する。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模特別養護老人ホームの公募を行い、1施設を整備した。</li> </ul>	継続	介護給付費等対象サービスの充実
67	56	(3)介護予防サービス ア 介護予防訪問サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅生活を支える基幹サービスとして位置づけ、事業所の拡充により供給量を確保する。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望に沿ったサービスと供給量が確保できた。</li> </ul>	継続	介護給付費等対象サービスの充実
68	56	(3)介護予防サービス イ 介護予防通所サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅生活を支える基幹サービスとして位置づけ、宅幼老所などにより供給量を確保する。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望に沿ったサービスと供給量が確保できた。</li> </ul>	継続	介護給付費等対象サービスの充実
69	57	(3)介護予防サービス ウ 介護予防短期入所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期入所生活介護事業所や短期入所療養介護事業所により、必要量を確保する。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望に沿ったサービスと供給量が確保できた。</li> </ul>	継続	介護給付費等対象サービスの充実
70	58	(3)介護予防サービス エ 介護予防福祉用具・介護予防住宅改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅生活を支える柱のひとつとして、必要な用具の使用と住宅改修が行われるよう支援する。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の状況に沿った適正な助言等により、自立生活を支援することができた。</li> </ul>	継続	介護給付費等対象サービスの充実
71	58	(3)介護予防サービス オ 介護予防特定施設入所者生活介護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定施設入所者生活介護は、現行施設の利用を基本に利用者数を見込む。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要なサービスを提供することができた。</li> </ul>	継続	介護給付費等対象サービスの充実
72	58	(3)介護予防サービス カ 介護予防地域密着型サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅生活を支える基幹サービスとして位置づけ、事業所の拡充により供給量を確保する。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若干、年次計画より利用人数が減少しているが、必要なサービスを提供することができた。</li> </ul>	継続	介護給付費等対象サービスの充実
73	60	(4)施設サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上伊那圏域と調整し必要な施設整備と入所支援を行います。</li> <li>・2018年（平成30年）4月から、要介護者に対し、「長期療養のための医療」と「日常生活上の世話（介護）」を一体的に提供する介護医療院が創設されます。なお、現行の介護療養病床の経過措置期間については6年間です。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別養護老人ホームの入居待機者が増加した。</li> <li>・地域密着型特別養護老人ホーム29床を整備した。</li> <li>・次期計画において、上伊那圏内において調整を行いながら必要な入所支援を行う必要がある。</li> </ul>	継続	介護給付費等対象サービスの充実

No	計画書 ページ	事業名	事業計画の内容	判定	評価	次期計画 での取組	第9期計画に対する 項目（目標）
74	60	(5)介護保険サービス給付費	<ul style="list-style-type: none"> <li>各年度のサービス利用量を基に給付額を算定します。</li> <li>介護報酬の改定等介護保険制度改正による影響を反映します。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>認定者、利用者の増に伴い、公費負担も年々増加しているものの、計画額の範囲内に適正に収まっている。</li> </ul>	継続	介護給付費等対象サービスの充実
75	61	(6)低所得者対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>低所得者の介護保険サービス利用料の一部を助成し、必要なサービスが利用できるよう支援します。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>軽減が必要な人に対し、事業所と連携して負担の軽減を行った。</li> <li>グループホーム入居者の低所得者支援となる補助制度を実施した。</li> </ul>	継続	介護給付費等対象サービスの充実
76	63	(7)基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来の高齢者人口、介護保険認定者数を予測しながら、利用希望者の増加に対応する施設整備を推進します。</li> <li>事業所の配置について、日常生活圏域内のバランスを考慮し、利用者に最適なサービスが提供されるよう、圏域を考慮しながら整備を進めます。</li> <li>国・県の補助制度を活用して認知症の対応や中重度の要介護者に対する在宅でのケアの充実につながるよう、地域密着型サービス等の整備を進めます。</li> <li>地域別の高齢者人口、高齢化率等を考慮しながら、小学校区をひとつの目安として宅幼老所未整備地区への整備を推進します。（県補助金の活用）</li> </ul>	B	地域密着型特別養護老人ホーム1カ所29床	拡充	介護給付費等対象サービスの充実
77	66	(8)介護給付費等適正化事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>要介護認定調査員の研修を実施します。</li> </ul>	A	月1回開催した。	継続	介護給付費等対象サービスの充実
78	66	(8)介護給付費等適正化事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護認定委託調査の内容点検を行います。</li> </ul>	A	全調査の内容点検を行った。	継続	介護給付費等対象サービスの充実
79	66	(8)介護給付費等適正化事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>居宅介護サービス計画、介護予防サービス計画及び施設サービス計画の記載内容について、事業所からの提出を求め、結果の伝達及び指導並びに相談を行います。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス計画が適正に行われているかを毎月1回サービス計画のチェックを行い、結果の伝達及び指導を行った。</li> <li>運営指導において、内容の点検を行った。</li> </ul>	継続	介護給付費等対象サービスの充実
80	66	(8)介護給付費等適正化事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケアマネジャーが対象者にとって適切なケアプランを作成しているかを確認するため、市内の主任ケアマネジャーを交えてプランチェックを行い、介護給付適正化向上に努めます。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月1回サービス計画のチェックを行い、結果の伝達及び指導を行った。</li> </ul>	継続	介護給付費等対象サービスの充実

No	計画書 ページ	事業名	事業計画の内容	判定	評価	次期計画 での取組	第9期計画に対する 項目（目標）
81	66	(8)介護給付費等適正化事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>理学療法士が住宅改修について、身体状況の維持・改善につながるか、自立支援となるか、給付により最大限の効果が期待できるか等の視点でアドバイスをを行い、サービスの適正化を図ります。</li> </ul>	A	理学療法士による点検全数実施。	継続	介護給付費等対象サービスの充実
82	66	(8)介護給付費等適正化事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護給付費適正化システムを活用し、医療情報との突合や軽度福祉用具貸与の利用状況、縦覧点検帳票を活用した給付費の請求内容のチェックを実施し、適正化を図ります。</li> </ul>	A	介護給付費が適正に行われているか、請求内容等のチェックを行った。	継続	介護給付費等対象サービスの充実
83	66	(8)介護給付費等適正化事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域密着型サービス事業者の運営状況について、サービス提供の適正化、高齢者虐待防止、身体拘束禁止の視点から集団指導及び実地指導を行い、適正な運営を推進します。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団指導は新型コロナのため集合研修での開催ができなかった。</li> <li>運営指導をR3：7事業所、R4：13事業所、R5：18事業所行った。</li> </ul>	継続	介護給付費等対象サービスの充実
84	66	(9)介護人材の育成・確保事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>国や県等による介護人材確保に関する取組み・制度の周知及び活用促進を図ります。</li> <li>介護職員初任者を対象とした情報共有や意見交換に関する取組みを検討します。</li> <li>中学生向けのイベント（キャリアフェス）を通じ、若い世代に対して介護職の魅力を発信します。</li> <li>指定申請や実地指導時の提出書類の簡素化に向けた見直しを行い、事業所の負担軽減を図ります。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の介護サービス提供事業所において、介護職員の人員不足により、利用定員を制限してサービス提供を行う事業所があったり、資格を有する職員の確保に苦慮したりするなどの現状がある。</li> <li>新規雇用者に対する資格取得費の補助事業を創設した。</li> </ul>	継続	介護給付費等対象サービスの充実
85	67	(10)災害や感染症対策等の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域防災計画や新型インフルエンザ等対策行動計画等と整合を図りながら、災害時や感染症の流行期等においても安定的な介護保険サービスの提供が図られるよう高齢者やサービス事業者等に対する総合的な感染症対策・防災対策の周知に取り組みます。</li> <li>サービス事業者向けの非常災害対策計画及び事業継続計画（BCP）の策定に関する研修等を実施し、災害時の適切な避難及び利用者の安全確保に資する防災体制の構築を図ります。</li> <li>介護サービスが必要なひとり暮らし高齢者などの要配慮高齢者に対する支援等について、検討を進めます。</li> <li>保健所等の関係機関と連携を図りつつ、感染症対策に関するサービス事業者向け講習会等の開催を検討します。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所向けにBCP策定研修を実施しました。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の拡大による事業者支援を、国・県と連携して実施しました。</li> </ul>	継続	介護給付費等対象サービスの充実

No	計画書 ページ	事業名	事業計画の内容	判定	評価	次期計画 での取組	第9期計画に対する 項目（目標）
86	68	(11)第1号被保険者の保険料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国における介護報酬の改定等制度改正に伴う保険料の見直しを行います。</li> <li>・保険料の上昇を抑制するため、伊那市介護給付費準備基金からの繰入金を164,000,000万円見込みます。</li> <li>・低所得者の保険料負担を軽減するため、保険料賦課の多段階化を図り、基準額（保険料の基本となる額）に乗じる調整率を設定します。</li> <li>・第8期における介護保険料の基準額（保険料の基本となる額）は、第7期計画期間中の介護保険料と同額の月額5,480円（年額65,760円）に改定します。</li> </ul>	A	<p>介護保険料 基準額 月額5480円（年額65,760円）に改定。</p> <p>低所得者の保険料負担を軽減するため、所得段階の多段階化（10段階）を図り、調整率を設定。</p>	見直し	介護給付費等対象サービスの充実

### 1 2025・2040年を見据えたサービス基盤、人的基盤の整備

○2025・2040年を見据え、地域ごとの推計人口等から導かれる介護需要等を踏まえて計画を策定

### 2 地域共生社会の実現

○地域共生社会の実現に向けた考え方や取組について記載

### 3 介護予防・健康づくり施策の充実・推進（地域支援事業等の効果的な実施）

○一般介護予防事業の推進に関して「PDCAサイクル沿った推進」、「専門職の関与」、「他の事業との連携」について記載

○高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について記載

○自立支援、介護予防・重度化防止に向けた取り組みの例示として就労的活動等について記載

○総合事業の対象者や単価の弾力化を踏まえて計画を策定

○保険者機能強化推進交付金等を活用した施策の充実・推進について記載（一般会計による介護予防等に資する独自事業等について記載）

○在宅医療・介護連携の推進について、看取りや認知症への対応強化等の観点を踏まえて記載

○要介護（支援）者に対するリハビリテーションの目標については国で示す指標を参考に計画に記載

○PDCAサイクルに沿った推進にあたり、データの利活用を進めることやそのための環境整備について記載

### 4 有料老人ホームとサービス付き高齢者住宅に係る都道府県・市町村間の情報連携の強化

○住宅型有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の設置状況を記載

○整備に当たっては、有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の設置状況を勘案して計画を策定

### 5 認知症施策推進大綱を踏まえた認知症施策の推進

○認知症施策推進大綱に沿って、認知症の人ができる限り地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指すため、5つの柱に基づき記載（普及啓発の取組）

○教育等他の分野との連携に関する事項について記載

### 6 地域包括ケアシステムを支える介護人材確保及び業務効率化の取組の強化

○介護職員に加え、介護分野で働く専門職を含めた介護人材の確保の必要性について記載

○介護現場における業務仕分けやロボット・ICTの活用、元気高齢者の参入による業務改善など、介護現場革新の具体的な方策を記載

○総合事業等の担い手確保に関する取組の例示としてボランティアポイント制度等について記載

○要介護認定を行う体制の計画的な整備を行う重要性について記載

○文書負担軽減に向けた具体的な取組を記載

### 7 災害や感染症対策に係る体制整備

○近年の災害発生状況や、新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえ、これらへの備えの重要性について記載

## 2 高齢者実態調査

本計画を策定するための基礎資料として、在宅の要介護・要支援認定者及びその介護者全員と、認定を受けていない高齢者（元気高齢者）の中から年齢や性別要件を考慮して、抽出による実態調査を行いました。今回の調査では、元気高齢者の調査数を増やし、要支援・要介護認定を受ける前の実態把握を行いました。前回とほぼ同様の項目と介護予防や認知症等に関する設問となっています。調査の結果、回答内容別の割合は前回調査と概ね同様の傾向となりました。

介護される方、元気高齢者共に、施設や住まいの形態として住み慣れた地域や自宅近くで常時介護が受けられる、小規模で家庭的な雰囲気の施設を挙げる人の割合が高く、また、元気高齢者では前回調査に比べ大規模な施設を挙げる人の割合が減少しています。

介護される方の回答では、急な容態の変化等の緊急時の対応面で不安を抱える人が5割いる反面、施設入所を希望せず、できるだけ住み慣れた自宅での生活を希望している人が5割近くとなっています。また、元気高齢者が行政に望む高齢者施策として最も多いのが介護保険の在宅サービスであることから、バランスの良い施設整備と在宅サービスの一層の充実が必要と考えられます。

介護保険の認定原因となった疾病の中では、前回の調査同様に認知症の割合が他の要因と比較して高い傾向にあります。認定を受けていない人でも認知症という病気について知っていると答えている人が7割になっており、多くの人は認知症予防や認知症の介護の仕方等に関心を寄せています。しかし、認知症という言葉は知っていても、地域における認知症への取組等は十分とは言えません。今後も高齢者数の増加に伴い、認知症になる人も増加が予想されます。認知症対策は本人や家族だけではなく、地域を含めた大きな課題となっています。

### (1) 調査の概要

ア 調査基準日	2022年（令和4年）10月1日	
イ 対象者数	元気高齢者	1,150人
	居宅要介護・要支援認定者等	1,560人
ウ 回答数	元気高齢者	841人 (回収率73.1%)
	居宅要介護・要支援認定者等	983人 (回収率63.0%)



令和4年度  
高齢者生活・介護に関する実態調査等  
調査結果報告書

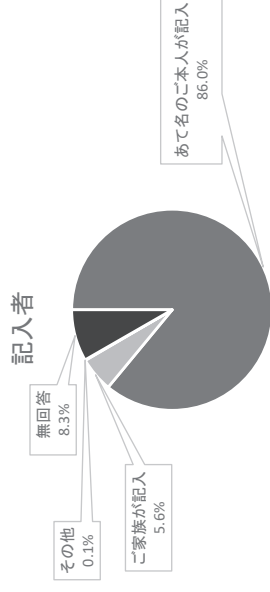
( I 元氣高齢者等実態調査 )

■ 調査対象者、回答者数、回答率

区分	対象者数	回答者数	回収率
	1,150	841	73.1%

■ 調査票記入者

	あて名のご本人が記入	ご家族が記入	その他	無回答
N=841	723	47	1	70
人数	86.0%	5.6%	0.1%	8.3%
構成比				

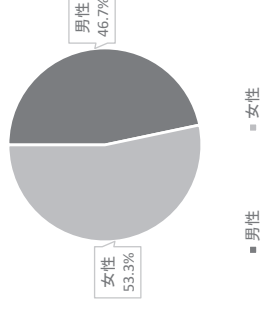


■ あて名のご本人が記入 ■ ご家族が記入 ■ その他 ■ 無回答

F1 性別

	男性	女性	無回答
N=841	393	448	
人数	46.7%	53.3%	
構成比			

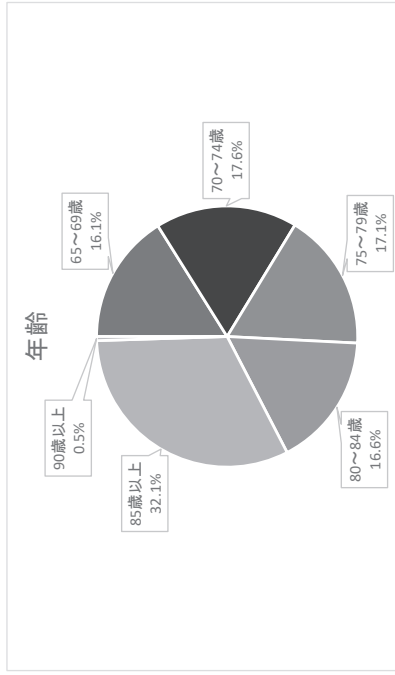
性別



■ 男性 ■ 女性

F 2 年齢

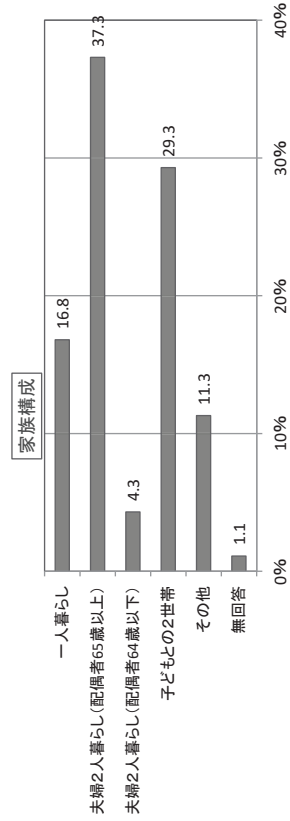
N=841	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	90歳以上
人数	188	233	178	130	78	3
構成比	16.1%	17.6%	17.1%	16.6%	32.1%	0.5%



本人や家族の生活等の状況について

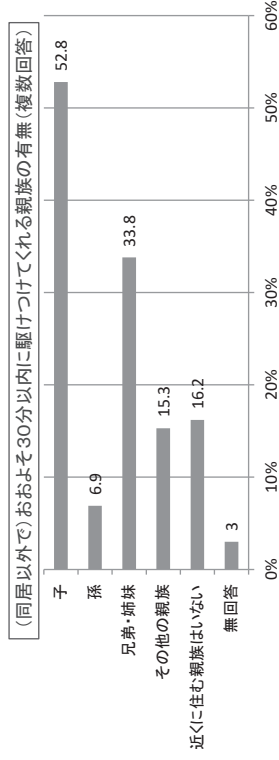
問1 家族構成

N=841	一人暮らし	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	子どもとの2世帯	その他	無回答
人数	141	314	36	246	95	9
割合	16.8%	37.3%	4.3%	29.3%	11.3%	1.1%



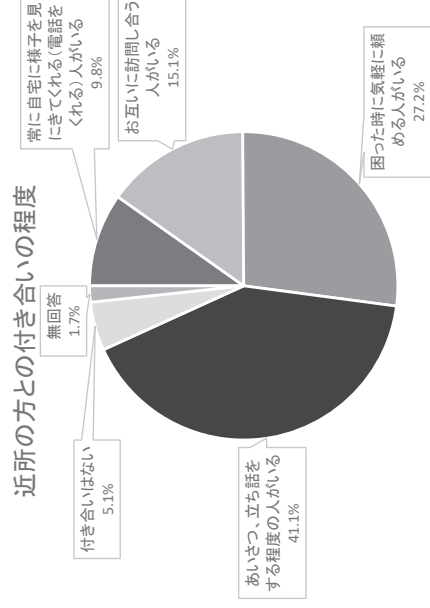
問2 急病や手助けが必要な時に30分以内で駆けつけてくれる親族の有無(複数回答)

N=841	子	孫	兄弟姉妹	その他の親族	近くに住む親族はいない	無回答
人数	444	58	284	129	136	25
割合	52.8%	6.9%	33.8%	15.3%	16.2%	3.0%



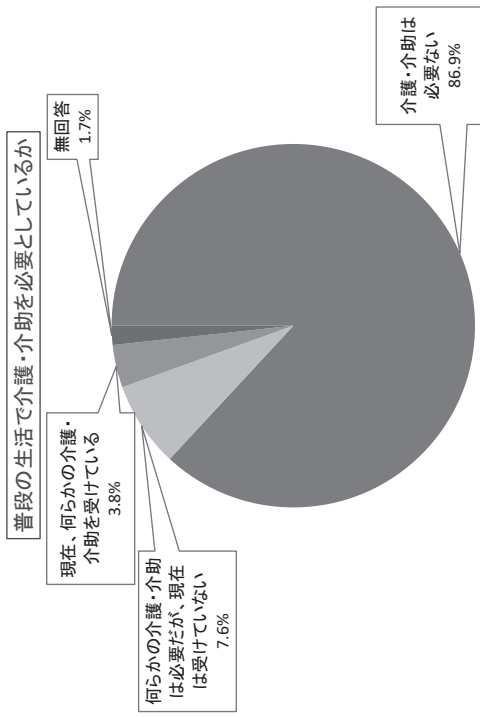
問3 近所の方との付き合いの程度

N=841	常に自宅の様子を見にきてくれる(電話をくれる)人がいる	お互いに訪問し合う人がいる	困ったときに気軽に頼める人がいる	あいさつ、立ち話をする程度の人がいる	付き合いはない	無回答
人数	82	127	229	346	43	14
割合	9.8%	15.1%	27.2%	41.1%	5.1%	1.7%



問 4 日常生活上の介護の必要性

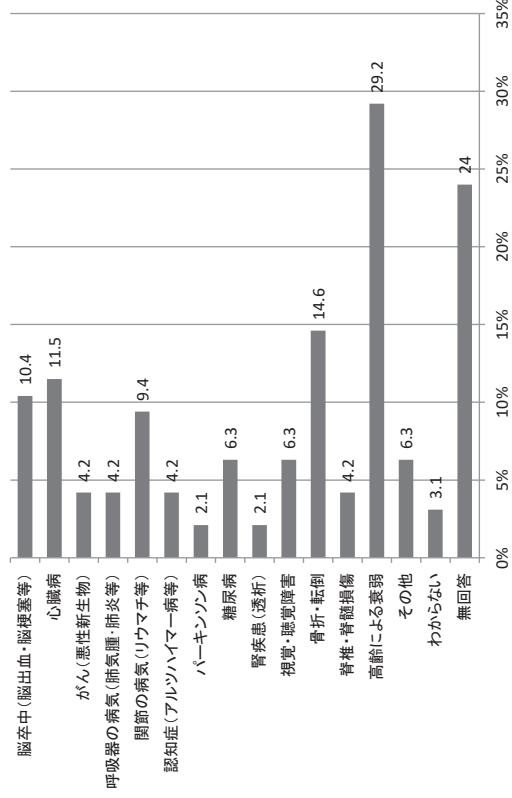
N=841		人数	割合
介護・介助は必要ない		731	86.9%
何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない		64	7.6%
現在、何らかの介護・介助を受けている（介護認定を受けていない） などの介護を受けている場合も含む		32	3.8%
無回答		14	1.7%



問 4-1 (介護が必要な方のみ) 介護・介助が必要になった主要原因 (複数回答)

N=96		人数	割合
脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)		10	10.4%
心臓病		11	11.5%
がん (悪性新生物)		4	4.2%
呼吸器の病気 (肺炎腫・肺炎等)		4	4.2%
関節の病気 (リウマチ等)		9	9.4%
認知症 (アルツハイマー病等)		4	4.2%
パーキンソン病		2	2.1%
糖尿病		6	6.3%
腎疾患 (透析)		2	2.1%
視覚・聴覚障害		6	6.3%
骨折・転倒		14	14.6%
脊椎・脊髄損傷		4	4.2%
高齢による衰弱		28	29.2%
その他		6	6.3%
わからない		3	3.1%
無回答		23	24.0%

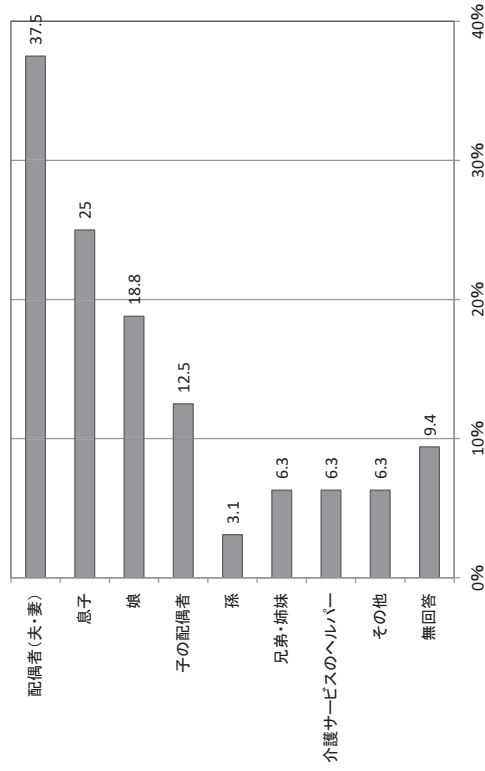
介護・介助が必要になった主要原因 (複数回答)



問4-2 (現在、介護を受けている方のみ) 主な介護・介助者

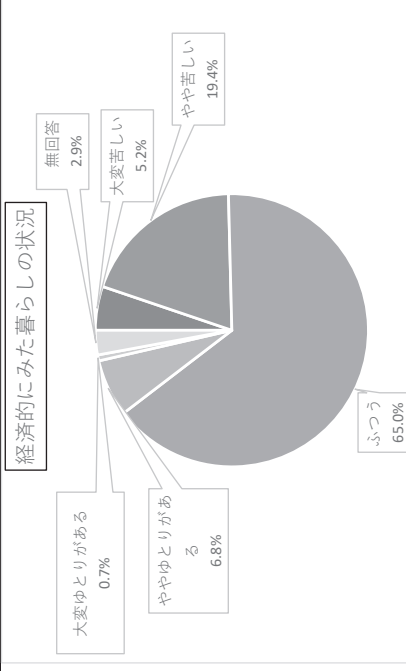
N=32	配偶者(夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫
人数	12	8	6	4	1
割合	37.5%	25.0%	18.8%	12.5%	3.1%
	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答	
	2	2	2	3	
	6.3%	6.3%	6.3%	9.4%	

主な介護・介助者



問5 経済的にみた現在の暮らしの状況

N=841	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
人数	44	163	547	57	6	24
割合	5.2%	19.4%	65.0%	6.8%	0.7%	2.9%



問6 住まいの状況

N=841	持家(一戸建て)	持家(集合住宅)	公営賃貸住宅	民営賃貸住宅(戸建て)	民営賃貸住宅(集合住宅)	借家
人数	777	3	11	9	19	8
割合	92.4%	0.4%	1.3%	1.1%	2.3%	1.0%

問7 高齢を理由に賃貸住宅等への入居を断られた経験の有無

N=841	断られたことがある	断られたことはない	入居を希望したことはない	無回答
人数	3	57	606	175
割合	0.4%	6.8%	72.1%	20.8%

問8 からだを動かすことについての状況

①階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか

N=841	できるし している	できるけど していない	できない	無回答
人数	524	147	130	40
割合	62.3%	17.5%	15.5%	4.8%

②椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

N=841	できるし している	できるけど していない	できない	無回答
人数	669	70	77	25
割合	79.5%	8.3%	9.2%	3.0%

③15分位続けて歩いていますか

N=841	できるし している	できるけど していない	できない	無回答
人数	629	126	54	32
割合	74.8%	15.0%	6.4%	3.8%

④過去1年間に転んだ経験がありますか

N=841	何度もある	1度ある	ない	無回答
人数	65	146	612	18
割合	7.7%	17.4%	72.8%	2.1%

⑤転倒に対する不安は大きいですか

N=841	とても不安	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	無回答
人数	85	293	243	194	26
割合	10.1%	34.8%	28.9%	23.1%	3.1%

⑥週に1回以上は外出していますか

N=841	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
人数	41	122	376	285	17
割合	4.9%	14.5%	44.7%	33.9%	2.0%

⑦昨年と比べて外出の機会が減っているか

N=841	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答
人数	25	188	277	330	21
割合	3.0%	22.4%	32.9%	39.2%	2.5%

⑧外出を控えているか

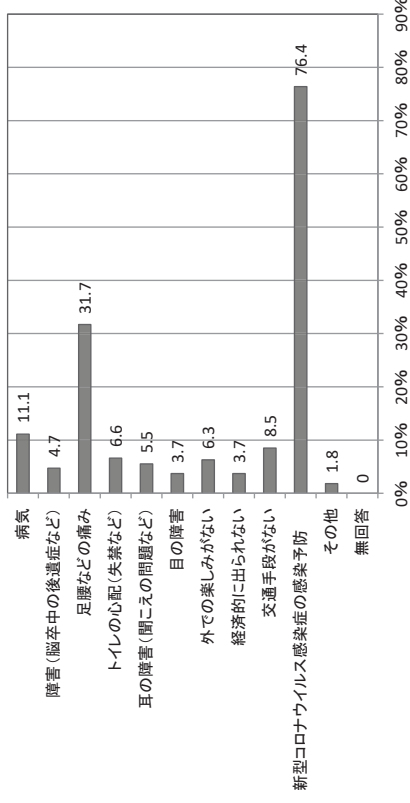
N=841	はい	いいえ	無回答
人数	25	188	277
割合	3.0%	22.4%	32.9%

問8⑧-1 外出を控えている理由

N=271	病気	障害(脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配(失禁など)	耳の障害(聞こえの問題など)
人数	30	0	86	18	15
割合	11.1%	4.7%	31.7%	6.6%	5.5%

目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	新型コロナウイルス感染症の感染予防	その他
10	17	10	23	207	5
3.7%	6.3%	3.7%	8.5%	76.4%	1.8%

(外出を控えている方のみ) 外出を控えている理由(複数回答)

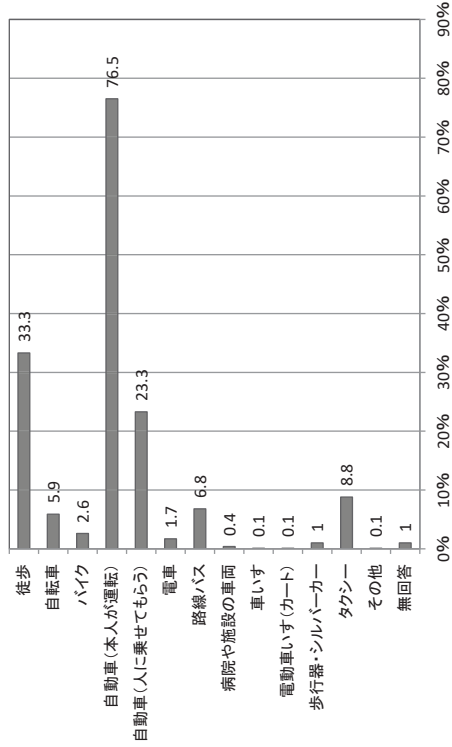


問9 外出する際の移動手段

N=841	徒歩	自転車	バイク	自動車(自分で運転)	自動車(人に乗せてもらう)	電車	路線バス
人数	280	50	22	643	196	14	57
割合	33.3%	5.9%	2.6%	76.5%	23.3%	1.7%	6.8%

病院や施設の車両	電動車いす(カート)	歩行器・シールパーカー	タクシー	その他	無回答
3	1	8	74	1	8
0.4%	0.1%	1.0%	8.8%	0.1%	1.0%

外出する際の移動手段(複数回答)



問10 食べることにについて

①肥満度※身長・体重からBMIを算出して計算

N=841	やせ (18.5未満)	標準 (18.5以上 25.0未満)	肥満 (25.0以上)	無回答
人数	77	563	180	21
割合	9.2%	66.9%	21.4%	2.5%

食べることにについての状況

N=841	はい	いいえ	無回答
②6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか			
人数	91	732	18
割合	10.9%	87.0%	2.1%
③半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか			
人数	160	668	13
割合	19.0%	79.4%	1.5%
④お茶や汁物等でむせることがありますか			
人数	184	639	18
割合	21.9%	76.0%	2.1%
⑤口の渇きが気になりますか			
人数	160	659	22
割合	19.0%	78.4%	2.6%
⑥歯磨き(人にやってももらう場合も含む)を毎日していますか			
人数	733	96	12
割合	87.2%	11.4%	1.4%

⑦歯の数と入れ歯の利用状況

N=841	自分の歯は20本以上かつ入れ歯を利用	自分の歯は20本以上、入れ歯を利用なし	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	自分の歯は19本以下、入れ歯を利用なし	無回答
人数	121	328	273	63	56
割合	14.4%	39.0%	32.5%	7.5%	6.7%

⑧噛み合わせはよいですか

N=841	はい	いいえ	無回答
人数	574	82	185
割合	68.3%	9.8%	22.0%

⑨毎日入れ歯の手入れをしていますか(⑦で「入れ歯を利用」と答えた方のみ)

N=394	はい	いいえ	無回答
人数	348	19	27
割合	88.3%	4.8%	6.9%

問9 外出する際の移動手段

問11 誰かと食事をもとにする機会の有無

N=841		週に何度かある		月に何度かある		年に何度かある		ほとんどない		無回答	
人数	346	47	157	172	96	23					
割合	41.1%	5.6%	18.7%	20.5%	11.4%	2.7%					

毎日の生活について

問12 物忘れについての状況

①物忘れが多いと感じますか

N=841		はい		いいえ		無回答	
人数	346	460	35				
割合	41.1%	54.7%	4.2%				

問13 毎日の生活についての状況

N=841		できるししている		できるだけしていない		できない		無回答	
人数	662	102	47						
割合	78.7%	12.1%	5.6%						

②自分で食品・日用品の買物をしていますか

N=841		はい		いいえ		無回答	
人数	8	84	27				
割合	84.2%	10.0%	3.2%				

③自分で食事の用意をしていますか

N=841		はい		いいえ		無回答	
人数	612	171	39				
割合	72.8%	20.3%	4.6%				

④自分で請求書の支払いをしていますか

N=841		はい		いいえ		無回答	
人数	732	73	17				
割合	87.0%	8.7%	2.0%				

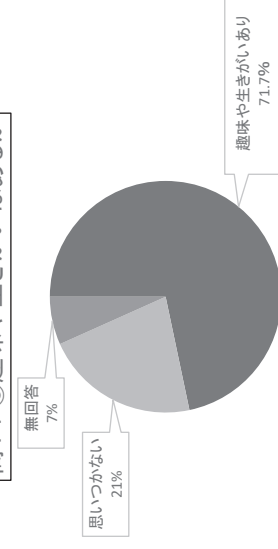
⑤預貯金の出し入れをしていますか

N=841		はい		いいえ		無回答	
人数	716	94	16				
割合	85.1%	11.2%	1.9%				

問14 書類の記入や相談、趣味などについての状況

N=841		はい		いいえ		無回答	
①年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか							
人数	769	55	17				
割合	91.4%	6.5%	2.0%				
②新聞を読んでいますか							
人数	735	96	10				
割合	87.4%	11.4%	1.2%				
③友人の家を訪ねていますか							
人数	485	326	30				
割合	57.7%	38.8%	3.6%				
④家族や友人の相談にのっていますか							
人数	703	120	18				
割合	83.6%	14.3%	2.1%				
⑤若い人に自分から話しかけることがありますか							
人数	646	172	23				
割合	76.8%	20.5%	2.7%				
⑥趣味や生きがいはあるか							
N=841 趣味や生きがいあり 思いつかない 71.7% 21.6% 6.7%							
人数	603	182	56				
割合	71.7%	21.6%	6.7%				

問14-⑥趣味や生きがいはあるか



問15 スマートフォンの利用状況

N=841		はい		いいえ		無回答	
スマートフォンを利用していますか							
人数	554	279	8				
割合	65.9%	33.2%	1.0%				
LINEなどのメッセージングアプリを利用していますか							
人数	417	134	3				
割合	75.3%	24.2%	0.5%				

地域での活動について

問17 住んでいる地域は安心して生活できる地域だと思うか

N=841	思う	思わない	無回答
人数	731	69	41
割合	86.9%	8.2%	4.9%

問18 何らかの地域の会やグループに参加していますか

N=841	参加している	参加していない	無回答
人数	422	392	27
割合	50.2%	46.6%	3.2%

問18-1 地域の会やグループへの参加頻度

N=422	週4回以上	週2回～3回	週1回	月1回～3回	年に1～1回	参加していない	無回答
人数	2	11	8	29	52	150	170
割合	0.5%	2.6%	1.9%	6.9%	12.3%	35.5%	40.3%

①ボランティアのグループ

人数	11	28	47	51	26	124	135
割合	2.6%	6.6%	11.1%	12.1%	6.2%	29.4%	32.0%

②運動やスポーツ関係のグループやクラブ

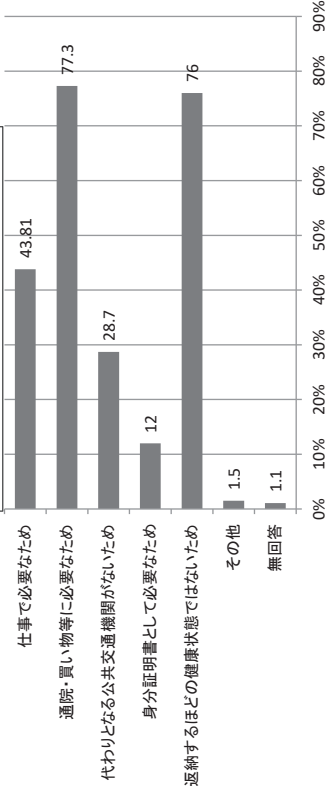
人数	4	19	26	88	39	118	128
割合	0.9%	4.5%	6.2%	20.9%	9.2%	28.0%	30.3%

③趣味関係のグループ

人数	0	3	5	39	25	198	157
割合	0.0%	0.7%	1.2%	9.2%	5.9%	45.7%	37.2%

④学習・教養サークル

自主返納を考えていない理由(複数回答)



問16 運転免許証の所持状況

N=841	所持しているが、運転はしていない	所持しているが、運転はしていない(自主返納済を含む)	無回答
人数	680	14	9
割合	80.9%	1.7%	1.1%

運転免許証の自主返納を考えていますか(所持していると答えた方のみ)

N=841	自主返納を考えている	自主返納は考えていない	分からない	無回答
人数	65	547	62	20
割合	91.4%	6.5%	2.0%	2.9%

自主返納を考えていない理由(複数回答)

N=109	人数	割合
仕事で必要なため	267	43.8%
通院・買い物等に必要のため	471	77.3%
代わりとなる公共交通機関がないため	175	28.7%
身分証明書として必要なため	73	12.0%
返納するほどの健康状態ではないため	463	76.0%
その他	9	1.5%
無回答	7	1.1%

問18-2 参加している地域の会やグループは歩いて行ける範囲にありますか

N=422	ある	ない	無回答
人数	265	110	47
割合	62.8%	26.1%	11.1%



問19 社会参加活動や仕事への参加頻度

N=841	週4回以上				週1回				月1回～3回				年に1～11回		参加していない		無回答	
	週4回以上	週2回～3回	週1回	月1回～3回	月1回～3回	月に1～11回	年に1～11回	参加していない	無回答									
<b>①見守りが必要な高齢者を支援する活動</b>																		
人数	11	5	7	15	21	536	246											
割合	1.3%	0.6%	0.8%	1.8%	2.5%	63.7%	29.3%											
<b>②介護が必要な高齢者を支援する活動</b>																		
人数	9	3	6	7	18	554	244											
割合	1.1%	0.4%	0.7%	0.8%	2.1%	65.9%	29.0%											
<b>③子どもを育てている親を支援する活動</b>																		
人数	7	2	4	8	12	550	258											
割合	0.8%	0.2%	0.5%	1.0%	1.4%	65.4%	30.7%											
<b>④地域の生活環境の改善(美化)活動</b>																		
人数	1	3	4	19	200	391	223											
割合	0.1%	0.4%	0.5%	2.3%	23.8%	46.5%	26.5%											
<b>⑤収入のある仕事</b>																		
人数	150	55	8	25	38	365	200											
割合	17.8%	6.5%	1.0%	3.0%	4.5%	43.4%	23.8%											

問20 いきいきした地域づくりへの参加者としての参加意向

N=841	是非参加したい		参加したくない		既に参加している		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
人数	36	4.3%	281	33.4%	77	9.2%	53	6.3%
割合	4.3%		33.4%		9.2%		6.3%	

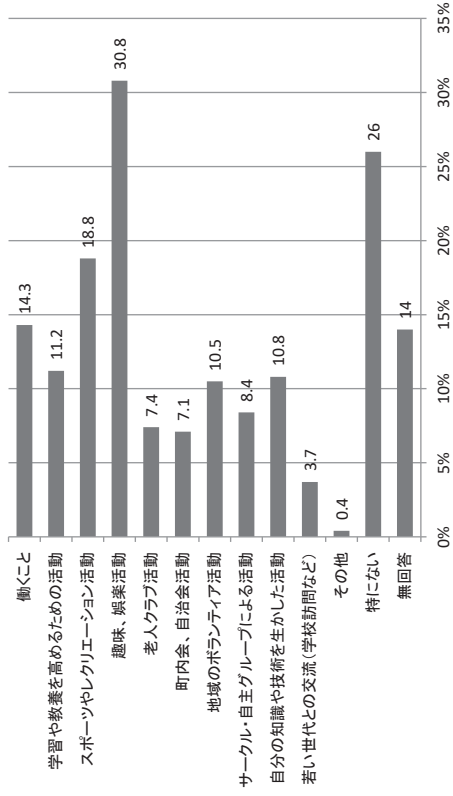
問21 いきいきした地域づくりへの企画・運営(お世話役)としての参加意向

N=841	是非参加したい		参加したくない		既に参加している		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
人数	16	1.9%	282	33.5%	38	4.5%	77	9.2%
割合	1.9%		33.5%		4.5%		9.2%	

問22 参加したい・参加できると思う活動(複数回答)

N=841		人数	割合
働くこと			
		120	14.3%
学習や教養を高めるための活動			
		94	11.2%
スポーツやレクリエーション活動			
		158	18.8%
趣味、娯楽活動			
		259	30.8%
老人クラブ活動			
		62	7.4%
町内会、自治会活動			
		60	7.1%
地域のボランティア活動			
		88	10.5%
サークル・自主グループによる活動			
		71	8.4%
自分の知識や技術を生かした活動			
		91	10.8%
若い世代との交流(学校訪問など)			
		31	3.7%
その他			
		3	0.4%
特になし			
		219	26.0%
無回答			
		118	14.0%

参加したい活動(複数回答)



助け合いについて

問23① 自分の心配事や愚痴を聞いてくれる人（複数回答）

N=841	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣の人
人数	478	194	355	298	144
割合	56.8%	23.1%	42.2%	35.4%	17.1%

友人	その他	いない	無回答
328	6	24	32
39.0%	0.7%	2.9%	3.8%

問23② 自分の心配事や愚痴を聞いてあげる人の有無（複数回答）

N=841	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣の人
人数	459	171	324	281	158
割合	54.6%	20.3%	38.5%	33.4%	18.8%

友人	その他	いない	無回答
325	8	38	54
38.6%	1.0%	8.0%	8.2%

問23③ 病気で数日間寝込んだ時に、自分の看病や世話をしてくれる人（複数回答）

N=841	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣の人
人数	514	232	269	141	18
割合	61.1%	27.6%	32.0%	16.8%	2.1%

友人	その他	いない	無回答
35	1	49	34
4.2%	0.1%	5.8%	4.0%

問23④ 病気で数日間寝込んだ時に、自分が看病や世話をしてあげる人（複数回答）

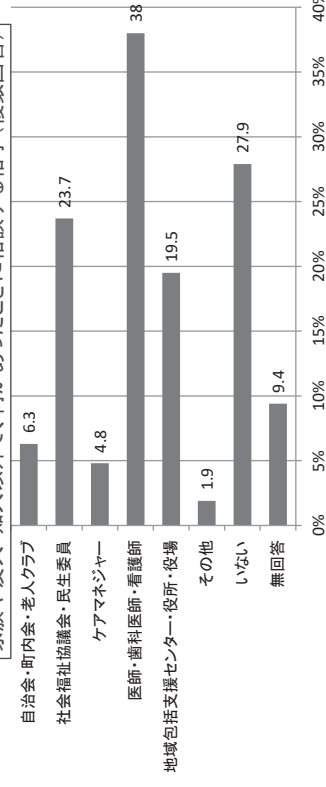
N=841	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣の人
人数	529	201	236	187	31
割合	62.9%	23.9%	28.1%	22.2%	3.7%

友人	その他	いない	無回答
34	1	67	69
4.0%	0.1%	8.0%	8.2%

問24 何かあったときの、家族や友人以外の相談相手（複数回答）

	人数	割合
自治会・町内会・老人クラブ	53	6.3%
社会福祉協議会・民生委員	199	23.7%
ケアマネジャー	40	4.8%
医師・歯科医師・看護師	320	38.0%
地域包括支援センター・役所・役場	164	19.5%
その他	16	1.9%
いない	235	27.9%
無回答	79	9.4%

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手（複数回答）



問25 友人・知人と会う頻度

	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
N=841					
人数	51	218	258	131	31
構成比	6.1%	25.9%	30.7%	15.6%	3.7%

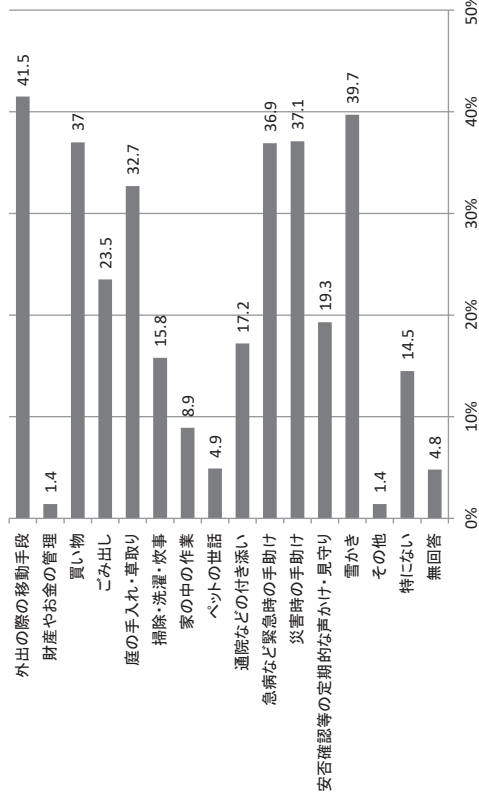
問26 よく会う友人・知人の関係 (複数回答)

	近所・同じ地域の友人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事時代の同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等での活動での友人	その他	無回答
N=841								
人数	434	69	144	267	273	30	20	73
構成比	51.6%	8.2%	17.1%	31.7%	32.5%	3.6%	2.4%	8.7%

問27 日常生活上の支援が必要になったとき、地域の人にしてほしい支援 (複数回答)

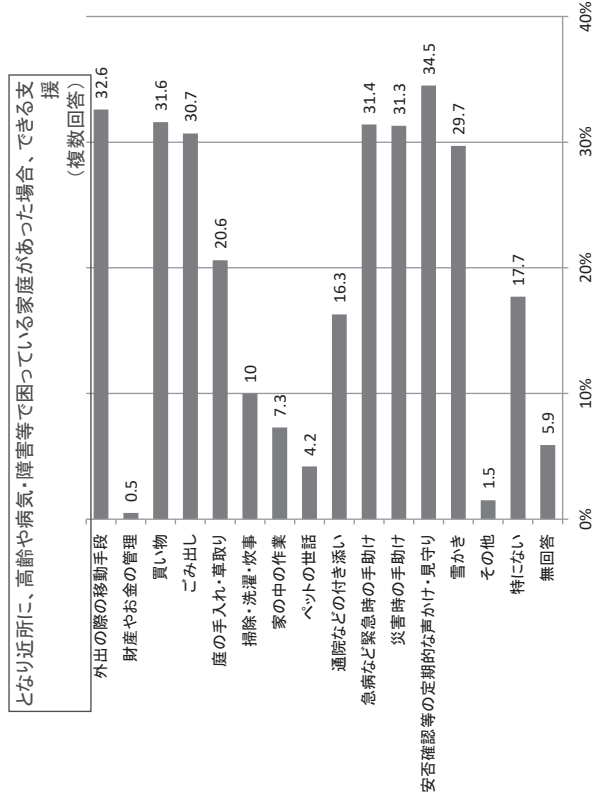
	人数	割合
N=841		
外出の際の移動手段	349	41.5%
財産やお金の管理	12	1.4%
買い物	311	37.0%
ごみ出し	198	23.5%
庭の手入れ・草取り	275	32.7%
掃除・洗濯・炊事	133	15.8%
家の中の作業 (家具の移動、電球の取替等)	75	8.9%
ペットの世話	41	4.9%
通院などの付き添い	145	17.2%
急病など緊急時の手助け	310	36.9%
災害時の手助け	312	37.1%
安否確認等の定期的な声かけ・見守り	162	19.3%
雪かき	334	39.7%
その他	12	1.4%
特にない	122	14.5%
無回答	40	4.8%

日常生活上の支援が必要となったとき、地域の人にしてほしい支援 (複数回答)



問28 となり近所や地域の人にてできる支援 (複数回答)

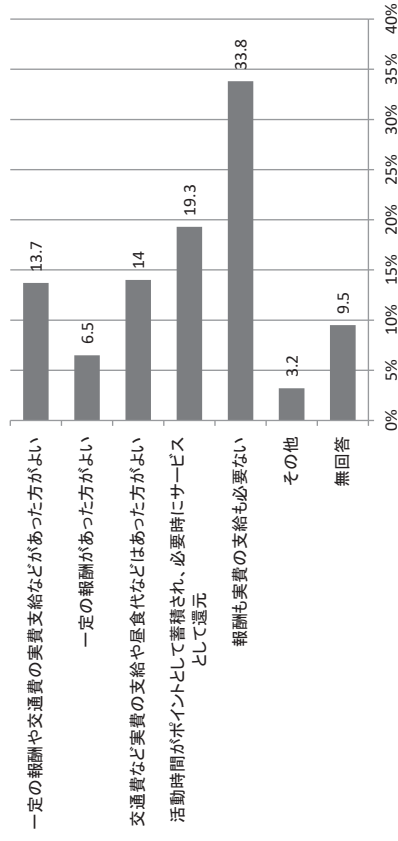
	人数	割合
N=841		
外出の際の移動手段	274	32.6%
財産やお金の管理	4	0.5%
買い物	266	31.6%
ごみ出し	258	30.7%
庭の手入れ・草取り	173	20.6%
掃除・洗濯・炊事	84	10.0%
家の作業 (家具の移動、電球の取替等)	61	7.3%
ペットの世話	35	4.2%
通院などの付き添い	137	16.3%
急病など緊急時の手助け	264	31.4%
災害時の手助け	263	31.3%
安否確認等の定期的な声かけ・見守り	290	34.5%
雪かき	250	29.7%
その他	13	1.5%
特にない	149	17.7%
無回答	50	5.9%



問29 支援を行う場合の報酬や費用 (実費) に対する考え方

	人数	割合
N=841		
一定の報酬や交通費の実費支給などがあった方がよい	115	13.7%
一定の報酬があった方がよい	55	6.5%
交通費など実費の支給や昼食代などはあった方がよい	118	14.0%
金銭的な報酬や実費の支給でなく、活動した時間がポイント等として蓄積され、自分が必要となったときにサービスとして還元されるのがよい	162	19.3%
報酬も実費の支給も必要ない	284	33.8%
その他	27	3.2%
無回答	80	9.5%

支援を行う場合、報酬や費用(実費)について



健康について

問30 健康状況

N=841		とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
人数	122	569	108	1	4	
割合	14.5%	67.7%	12.8%	1.2%	3.8%	

問31 幸福度

N=193		0点 (とても不幸)	1点	2点	3点	4点	5点	6点
人数	1	4	7	11	30	141	80	
割合	0.1%	0.5%	0.8%	1.3%	3.6%	16.8%	9.5%	

7点	8点	9点	10点 (とても幸せ)	無回答	平均
124	209	81	111	42	7.18
14.7%	24.9%	9.6%	13.2%	5.0%	

問32 1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすること

N=841		はい	いいえ	無回答
人数	270	537	34	
構成比	32.1%	63.9%	4.0%	

問33 1か月間、物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じ

N=841		はい	いいえ	無回答
人数	147	654	40	
構成比	17.5%	77.8%	4.8%	

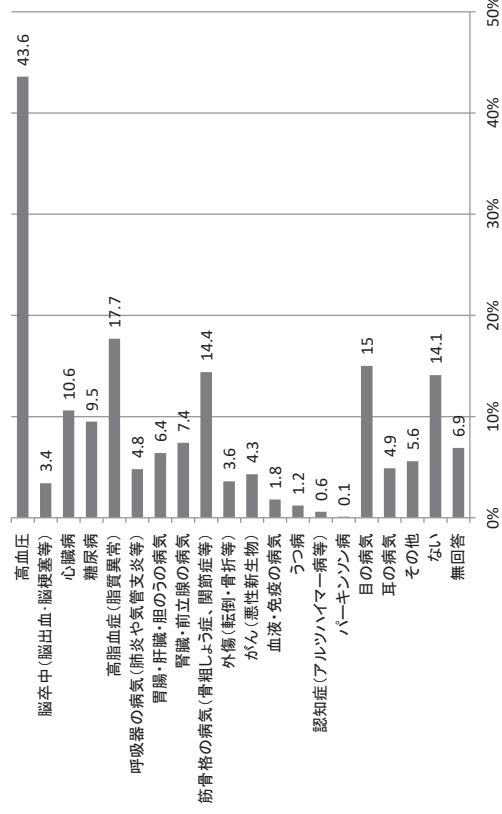
問34 喫煙状況

N=841		ほぼ毎日吸っている	時々吸っている	吸っていたがやめた	もともと吸っていない	無回答
人数	63	6	230	511	31	
構成比	7.5%	0.7%	27.3%	60.8%	3.7%	

問35 治療中や後遺症のある病気やけが（複数回答）

N=193		人数	割合
高血圧		367	43.6%
脳卒中（脳出血・脳梗塞等）		29	3.4%
心臓病		89	10.6%
糖尿病		80	9.5%
高脂血症（脂質異常）		149	17.7%
呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）		40	4.8%
胃腸・肝臓・胆のうの病気		54	6.4%
腎臓・前立腺の病気		62	7.4%
筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）		121	14.4%
外傷（転倒・骨折等）		30	3.6%
がん（悪性新生物）		36	4.3%
血液・免疫の病気		15	1.8%
うつ病		10	1.2%
認知症（アルツハイマー病等）		5	0.6%
パーキンソン病		1	0.1%
目の病気		126	15.0%
耳の病気		41	4.9%
その他		47	5.6%
ない		119	14.1%
無回答		58	6.9%

現在治療中、または後遺症のある病気（複数回答）



問38 「かかりつけ薬剤師・薬局」の有無

N=841	ある	ない	無回答
人数	589	222	30
割合	70.0%	26.4%	3.6%

問39 年1回以上の健康診断の受診状況

N=841	はい	いいえ	無回答
人数	653	151	37
割合	77.6%	18.0%	4.4%

問39-1 受けけない理由

N=151	定期受診しているため	必要性を感じないため	時間がないため	その他	無回答
人数	95	31	8	19	4
割合	62.9%	20.5%	5.3%	12.6%	2.6%

問36 かかりつけ医の有無

N=841	いる	いない	無回答
人数	719	103	19
割合	85.5%	12.2%	2.3%

問36-1 かかりつけ医の種類

N=719	病院	診療所	無回答
人数	175	526	18
割合	24.3%	73.2%	2.5%

問36-2 かかりつけ医の往診の有無

N=719	ある	ない	わからない	その他	無回答
人数	193	151	343	2	30
割合	26.8%	21.0%	47.7%	0.3%	4.2%

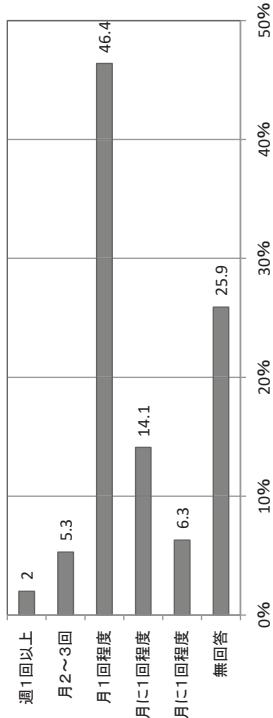
問37 通院又は訪問診療（往診）の有無（複数回答）

N=841	通院している	訪問診療を受けている	いいえ	無回答
人数	701	5	116	23
割合	83.4%	0.6%	13.8%	2.7%

問37-1 通院又は訪問診療（往診）の有無（複数回答）

N=702	週1回以上	月2～3回	月1回程度	2か月に1回程度	3か月に1回程度	無回答
人数	14	37	326	99	44	182
割合	2.0%	5.3%	46.4%	14.1%	6.3%	25.9%

通院・訪問診療（往診）の頻度



問37-2 通院に介助（付き添い）の必要性の有無

N=701	はい	いいえ	無回答
人数	67	610	24
割合	9.6%	87.0%	3.4%

問40 年に1回以上の歯科検診・歯科医院の受診状況

N=841	はい	いいえ	無回答
人数	528	272	41
割合	62.8%	32.3%	4.9%

問40-1 受けない理由

N=272	歯科医院に嫌悪感がある	体力的な問題がある	距離が遠い	経済的に難しい	時間がない
	人数	29	10	13	15
割合	10.7%	3.7%	4.8%	5.5%	17.3%
その他	76	6	車がない、入庫車 (追加運転)	無回答	55
			必要がないから (追加運転)	37	
割合	27.9%	2.2%	13.6%	20.2%	

問41 「かかりつけ歯科医」の有無

N=841	いる	いない	無回答
人数	691	112	38
割合	82.2%	13.3%	4.5%

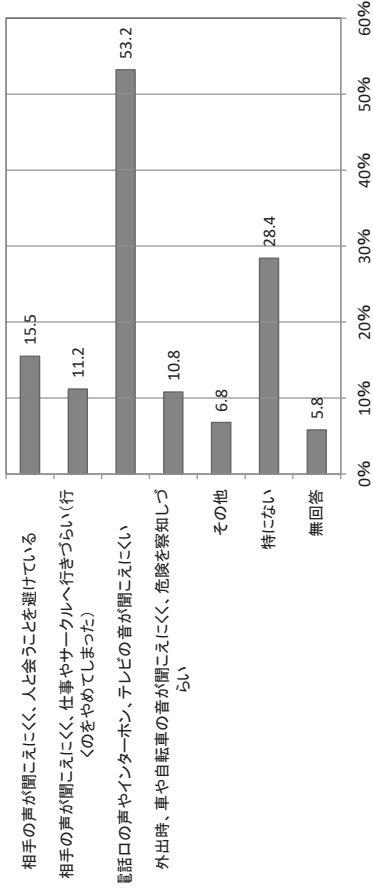
問42 耳が聞こえにくいことがあるか

N=841	ある	ない	無回答
人数	278	521	42
割合	33.1%	62.0%	5.0%

問42-1 生活において耳が聞こえにくいことで生じている支障

N=278	相手の声が聞こえにくく、人と会うことを避けている	人数	43	割合	15.5%
	相手の声が聞こえにくく、仕事やサークルへ行きづらい (行くのをやめてしまった)		31		11.2%
	電話口の声やインターホン、テレビの音が聞こえにくい		148		53.2%
	外出時、車や自転車の音が聞こえにくく、危険を察知しづらい		30		10.8%
	特になし		19		6.8%
	無回答		79		28.4%
			16		5.8%

生活において耳が聞こえにくいことで生じている支障



問42-2 補聴器の使用状況

N=278	はい	いいえ	無回答
人数	59	202	17
割合	21.2%	72.7%	6.1%

問43 オンライン診療・電話診療の利用経験の有無

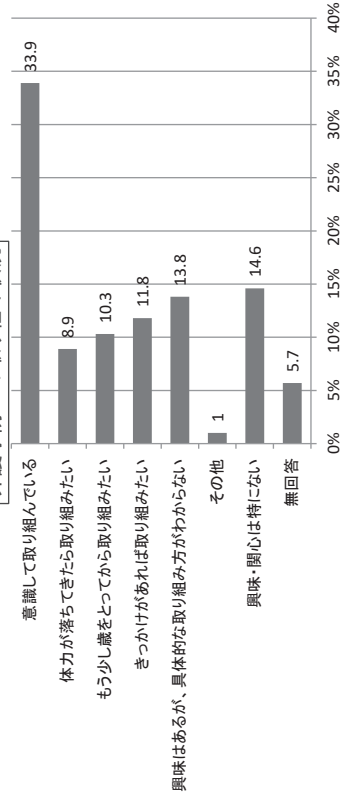
N=841	利用したことがある	知っているが、利用したことはない	オンライン診療・電話診療を知らない	無回答
	人数	7	447	343
割合	0.8%	53.2%	40.8%	5.2%

介護予防について

問44 現在の介護予防への取り組み状況

	人数	割合
N=841		
意識して取り組んでいる	285	33.9%
体力が落ちたら取り組みたい	75	8.9%
もう少し歳をとってから取り組みたい	87	10.3%
きっかけがあれば取り組みたい	99	11.8%
興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない	116	13.8%
その他	8	1.0%
興味・関心は特にならない	123	14.6%
無回答	48	5.7%

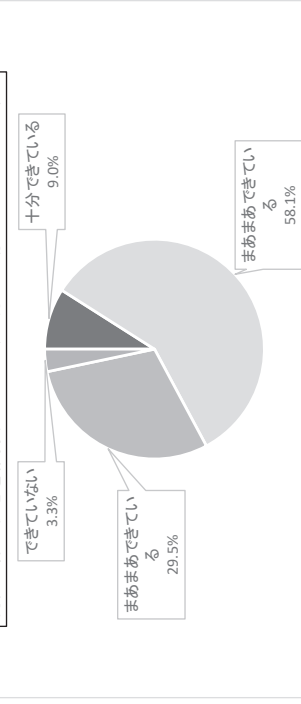
介護予防への取り組み状況



問45 現在の体の状態を維持するために、十分な運動ができていると思うか

	人数	割合
N=272		
十分できている	76	9.0%
まあまあできている	489	58.1%
できていない	248	29.5%
できていない	28	3.3%
無回答	29	3.3%

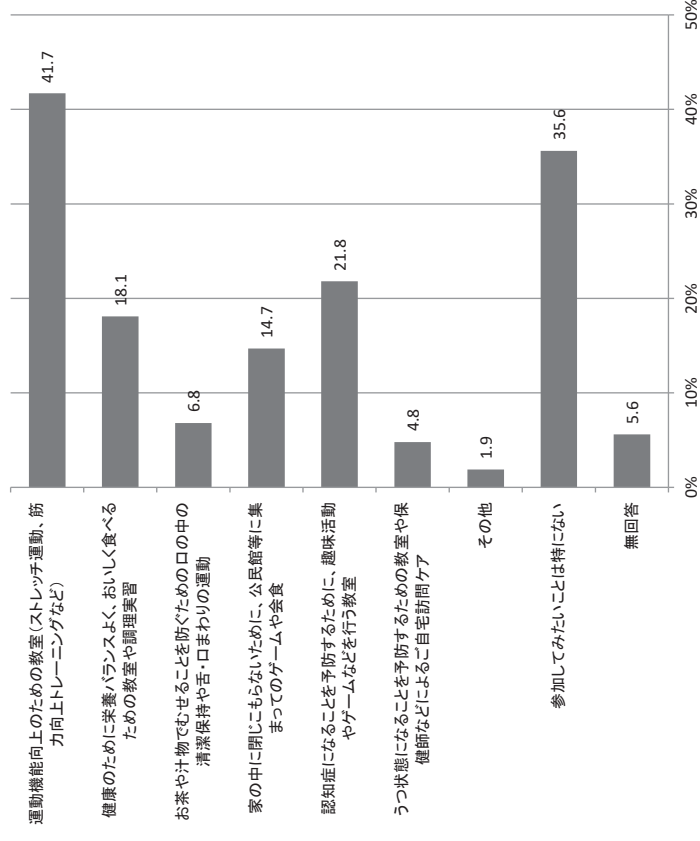
現在の体の状態を維持するために、十分な運動ができていると思うか



問46 今後参加してみたい介護予防事業

	人数	割合
N=841		
運動機能向上のための教室（ストレッチ運動、筋力向上トレーニングなど）	351	41.7%
栄養バランスよく、おいしく食べるための教室や調理実習	152	18.1%
お茶や汁物で水分を摂るための教室や清潔保持や顔・口まわりの運動	57	6.8%
家の中に閉じこもらないために、公民館等に集まるためのゲームや会食	124	14.7%
認知症になることを予防するために、趣味活動やゲームなどを行う教室	183	21.8%
うつ状態になることを予防するための教室や保健師などによるご自宅への訪問ケア	40	4.8%
その他	16	1.9%
参加してみたいことは特にならない	299	35.6%
無回答	47	5.6%

今後参加してみたい介護予防事業（複数回答）

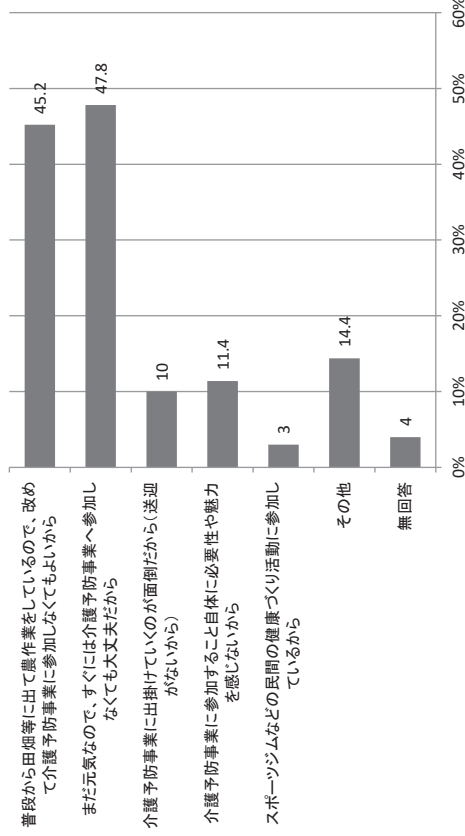




問46-1 参加してみたいことが特にならない理由

N=299		人数	割合
普段から畑等に出て農作業をしているので、改めて介護予防事業に参加しなくてもよいから		135	45.2%
まだ元気なので、すぐには介護予防事業へ参加しなくても大丈夫だから		143	47.8%
介護予防事業に出掛けていくのが面倒だから（送迎がないから）		30	10.0%
介護予防事業に参加すること自体に必要性や魅力を感じないから		34	11.4%
スポーツジムなどの民間の健康づくり活動に参加しているから		9	3.0%
その他		43	14.4%
無回答		12	4.0%

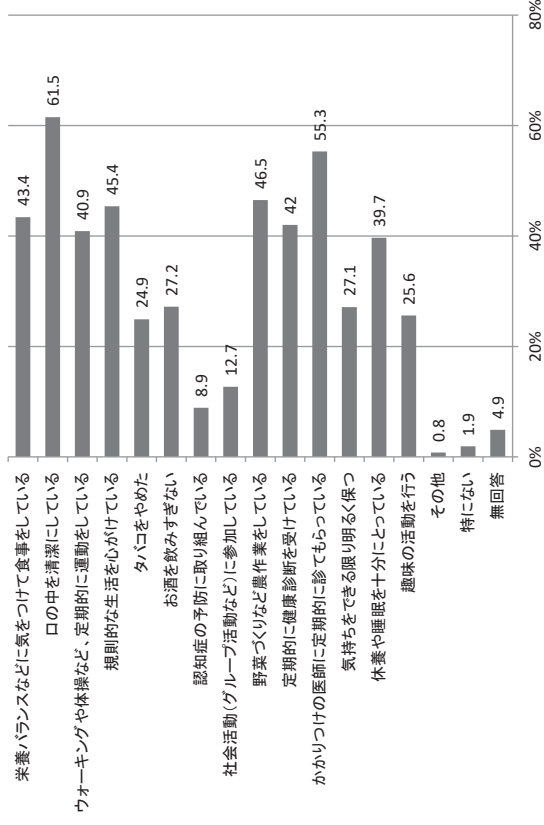
参加してみたいことが特にならない理由(複数回答)



問47 ふだんから健康や介護予防のために気をつけていること (複数回答)

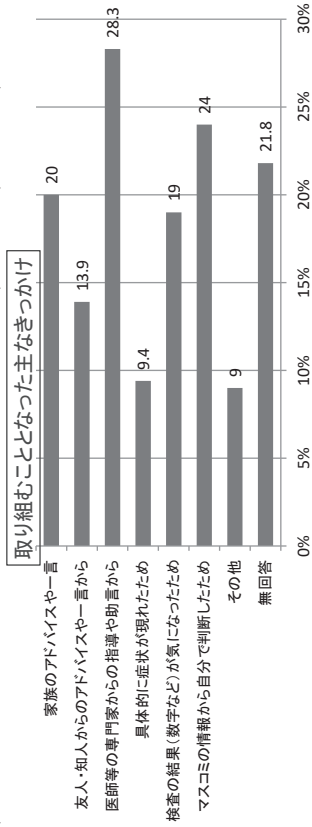
N=841		人数	割合
栄養バランスやかむ回数に気をつけて食事をしている		365	43.4%
口の中を清潔にしている（歯みがき、うがいなど）		517	61.5%
ウォーキングや体操など、定期的に運動をしている		344	40.9%
規則的な生活を心がけている（夜更かしをしないなど）		382	45.4%
たばこをやめた		209	24.9%
お酒を飲みすぎない		229	27.2%
認知症の予防に取り組んでいる		75	8.9%
社会活動（地域の会やグループでの活動）に参加している		107	12.7%
野菜作りなど農作業をしている		391	46.5%
定期的に健康診断を受けている		353	42.0%
かかりつけの医師（主治医）に定期的に診てもらっている		465	55.3%
気持ちよくなる限り明るく保つ		228	27.1%
休業や睡眠を十分にとっている		334	39.7%
趣味の活動を行う		215	25.6%
その他		7	0.8%
特になし		16	1.9%
無回答		41	4.9%

普段から健康や介護予防のために気をつけていること(複数回答)



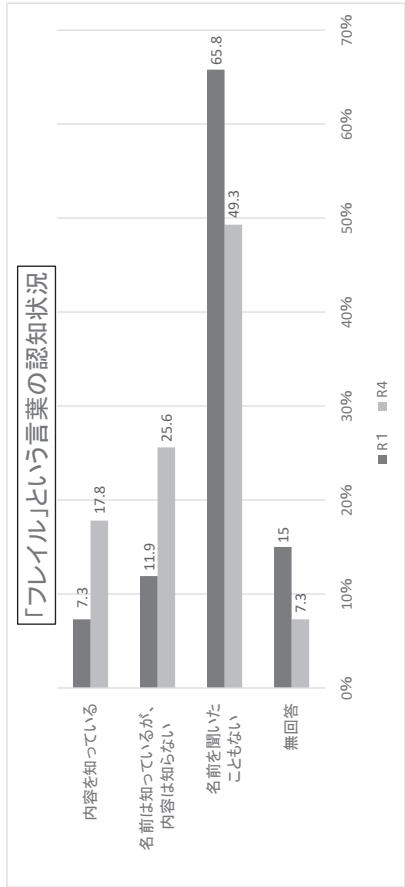
問47-1 (ふざだんから健康や介護予防のために気をつけている方のみ)  
取り組むこととなった主なきっかけ (複数回答)

	人数	割合
家族のアドバイスや一言	149	20.0%
友人・知人からのアドバイスや一言から	104	13.9%
医師等の専門家からの指導や助言	211	28.3%
具体的に症状が現れたので	70	9.4%
検査の結果(数字など)が気になって	142	19.0%
マスコミの情報から自分で判断して	179	24.0%
その他	67	9.0%
無回答	163	21.8%



問48 「フレイル」という言葉の認知状況

	内容を知っている	名前を知っているが、内容は知らない	名前を聞いたこともない	無回答
R1	14	23	127	29
N=193	7.3%	11.9%	65.8%	15.0%
R4	150	215	415	61
N=841	17.8%	25.6%	49.3%	49.3%



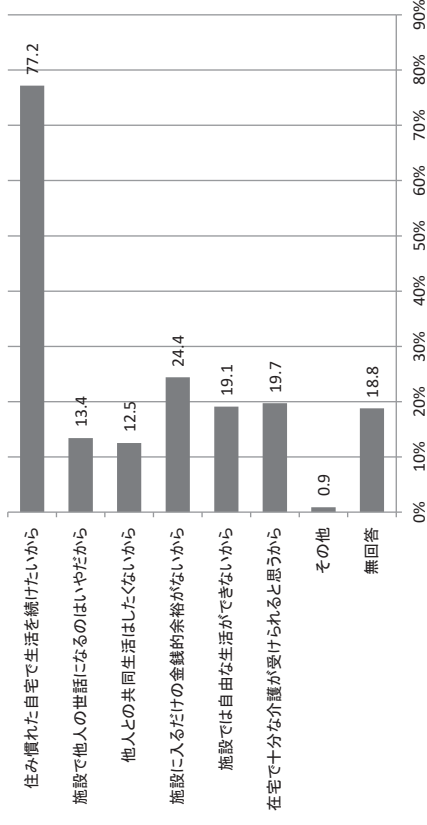
希望する介護サービスについて  
問49 介護が必要となった場合、介護を受けたい場所

N=841	できるかぎり自宅に付きながら介護サービスを受けたい	自宅以外の「介護施設」や「高齢者向けに住まい」に入所(入居)して生活したい	今のところ、よくわからない	無回答
人数	320	116	380	25
割合	38.0%	13.8%	45.2%	3.0%

問49-1 (できるかぎり自宅で介護を受けたいと回答した人のみ)  
自宅で介護サービスを利用したい理由 (複数回答)

	人数	割合
住み慣れた自宅で生活を続けたいから	247	77.2%
施設で他人の世話になるのはいやだから	43	13.4%
他人との共同生活はしたくないから	40	12.5%
施設に入るだけの金銭的余裕がないから	78	24.4%
施設では自由な生活ができないから	61	19.1%
在宅で十分な介護が受けられると思うから	63	19.7%
その他	3	0.9%
無回答	60	18.8%

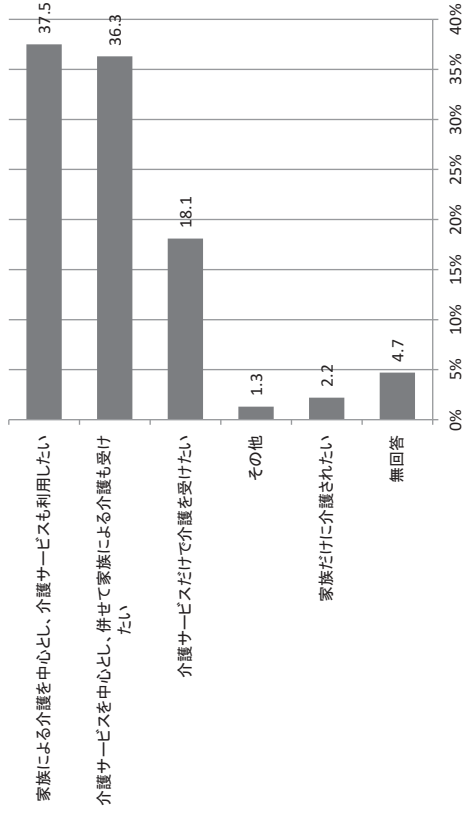
自宅で介護保険サービスを利用したい理由



問49-2 (できるかぎり自宅で介護を受けたいと回答した人のみ)  
自宅での介護サービスの利用

	N=320	人数	割合
家族による介護を中心とし、ホームヘルパー、デイサービスなどの介護保険制度のサービスも利用したい		120	37.5%
ホームヘルパー、デイサービスなどの介護保険制度のサービスを中心とし、併せて家族による介護も受けたい		116	36.3%
ホームヘルパー、デイサービスなど、介護保険制度のサービスだけで介護を受けたい		58	18.1%
その他		4	1.3%
家族だけに介護されたい(介護保険制度のサービスは利用しない)		7	2.2%
無回答		15	4.7%

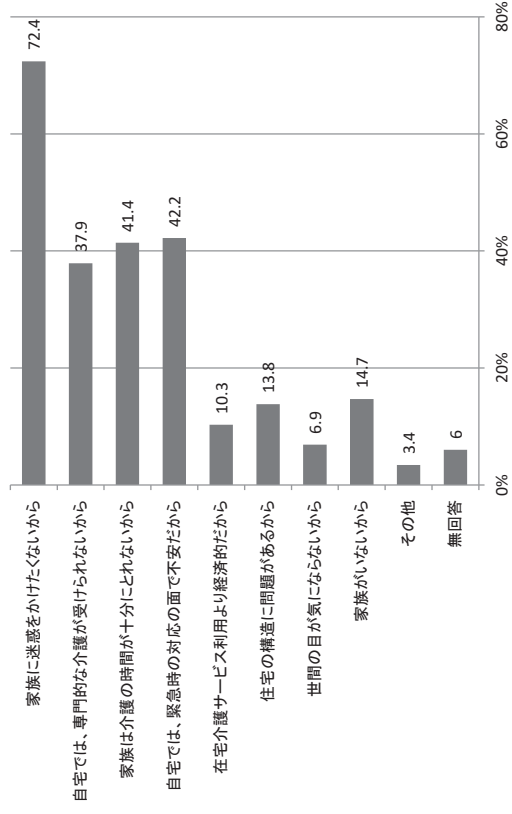
自宅で利用したい介護保険サービス



問49-3 (施設や高齢者向け住まいへの入所(入居)を希望する方のみ)  
施設や高齢者向け住まいへの入所(入居)を希望する理由(複数回答)

	N=116	人数	割合
家族に迷惑をかけたくないから		84	72.4%
自宅では、認知症対応やリハビリなど専門的な介護が受けられないから		44	37.9%
家族は介護の時間が十分にとれないから		48	41.4%
自宅では、急な容態変化や介護者の都合など緊急時の対応の面で不安だから		49	42.2%
在宅で介護サービスを利用するより諸々の費用を総合的にみると経済的だから		12	10.3%
住宅の構造に問題があるから		16	13.8%
自宅でなく離れた場所にある施設なら世間の目が気にならないから		8	6.9%
家族がいないから		17	14.7%
その他		4	3.4%
無回答		7	6.0%

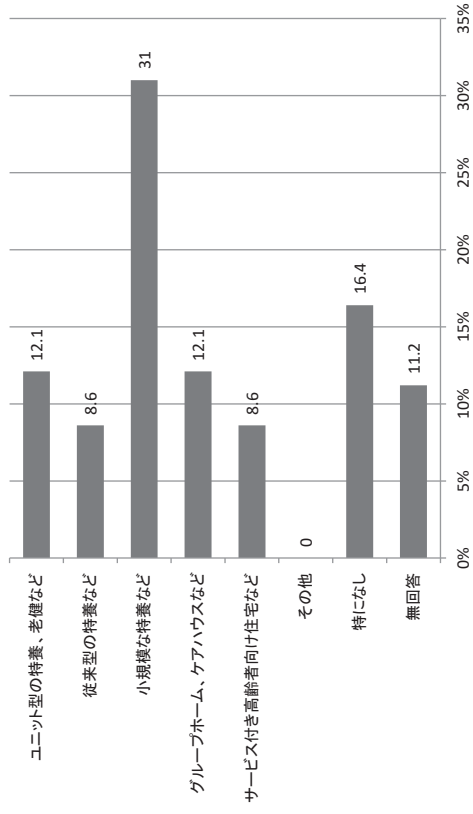
施設等への入所(入居)を希望する理由(複数回答)



問49-4 (施設や高齢者向け住まいへの入居(入居)を希望する方のみ)

入所(入居)を希望する「施設」や「高齢者向けの住まい」の形態	人数	割合
常時介護が受けられる大規模(定員30~100人程度)な施設で、少人数ごとに家庭的な生活を送れる個室の施設	14	12.1%
常時介護が受けられる大規模(定員30~100人程度)な施設で、個室に比べて利用料金が比較的低廉な相部屋(4人1部屋程度)の多い施設	10	8.6%
住み慣れた地域や自宅近くで常時介護が受けられ、小規模(定員5~29人程度)で家庭的な雰囲気のある個室の施設	36	31.0%
一人暮らしの不安や身体・認知機能の低下を補うため、高齢者が必要に応じて介護を受けながら生活する小規模施設	14	12.1%
希望に応じて食事や清掃などのサービスが提供される集合住宅	10	8.6%
その他	-	-
特になし(施設や住まいの形態は問わない方を含む)	19	16.4%
無回答	13	11.2%

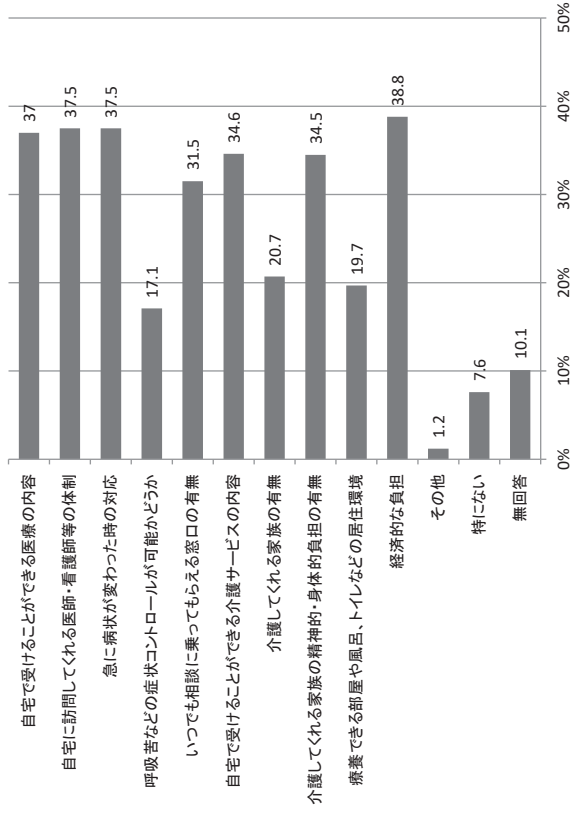
もっとも希望する「施設」や「住まい」の形態



問50 在宅医療や介護を受けることになった場合、特に心配に思うこと(複数回答)

在宅医療や介護を受けることになった場合、特に心配に思うこと(複数回答)	人数	割合
自宅で受けることができる医療の内容	311	37.0%
自宅に訪問してくれる医師・看護師等の体制	315	37.5%
急に病状が変わった時の対応	315	37.5%
自宅で痛みや呼吸苦などの症状コントロールが可能かどうか	144	17.1%
不安を感じた時に、いつでも相談に乗ってもらえる窓口の有無	265	31.5%
自宅で受けることができる介護サービスの内容	291	34.6%
介護してくれる家族の有無	174	20.7%
介護してくれる家族の精神的・身体的負担の有無	290	34.5%
療養できる部屋や風呂、トイレなどの居住環境	166	19.7%
経済的な負担	326	38.8%
その他	10	1.2%
特になし	64	7.6%
無回答	85	10.1%

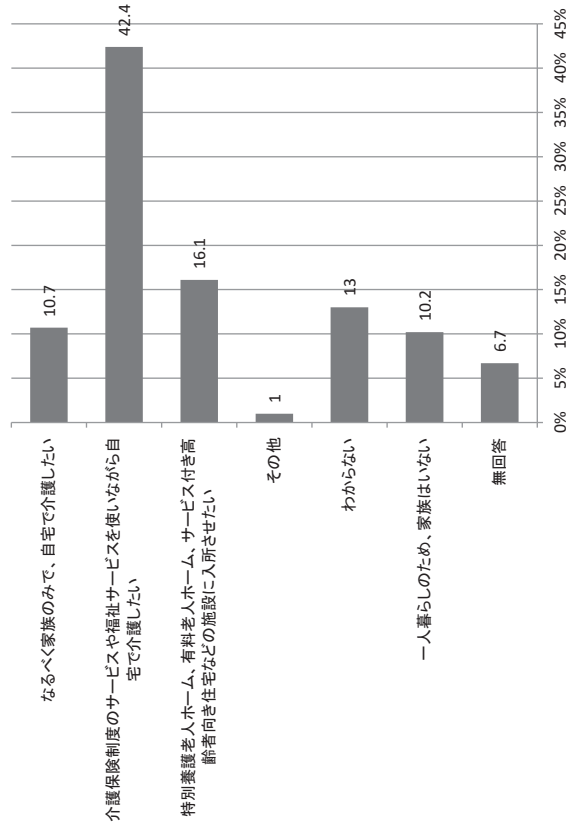
在宅医療や介護を受けることになった場合、特に心配に思うこと(複数回答)



問51 家族に介護が必要になった場合の介護方法

N=841		人数	割合
なるべく家族のみで、自宅で介護したい		90	10.7%
介護保険制度のサービスや福祉サービスを使いながら自宅で介護したい		357	42.4%
特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅などの施設に入所させたい		135	16.1%
その他		8	1.0%
分からない		109	13.0%
ひとり暮らしのため、家族はいない		86	10.2%
無回答		56	6.7%

家族に介護が必要となった場合、介護したい場所



問52 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況

N=841		はい	いいえ	無回答
人数		13	781	47
割合		1.5%	92.9%	5.6%

問52-1 (介護保険サービス以外の支援・サービスを利用している方のみ) 利用している支援・サービス (複数回答)

N=13		人数	割合
配食		3	23.1%
調理		2	15.4%
掃除・洗濯		1	7.7%
買い物		4	30.8%
食料品等の巡回販売や宅配		6	46.2%
外出同行 (通院、買い物など)		2	15.4%
ゴミ出し		3	23.1%
見守り、声かけ		2	15.4%
移送サービス (介護・福祉タクシー等)		4	30.8%
サロンなどの定期的な通いの場		-	-
その他		1	7.7%
無回答		-	-

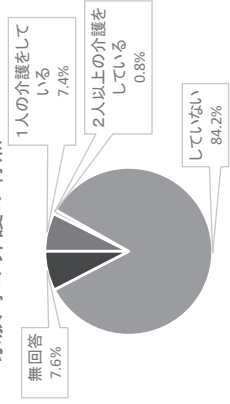
問53 今後の自宅での生活の継続に必要と感じる支援・サービス (複数回答)

N=841		人数	割合
配食		178	21.2%
調理		125	14.9%
掃除・洗濯		156	18.5%
買い物		217	25.8%
食料品等の巡回販売や宅配		217	25.8%
外出同行 (通院、買い物など)		177	21.0%
ゴミ出し		166	19.7%
見守り、声かけ		120	14.3%
移送サービス (介護・福祉タクシー等)		245	29.1%
サロンなどの定期的な通いの場		49	5.8%
その他		15	1.8%
特にない		187	22.2%
無回答		154	18.3%

問54 家族等の介護の有無

N=841		1人の介護をしている	2人以上の介護をしている	していない	無回答
人数	62	7	708	64	
割合	7.4%	0.8%	84.2%	7.6%	

家族等の介護の有無



問55 人生の最期を迎えたい場所

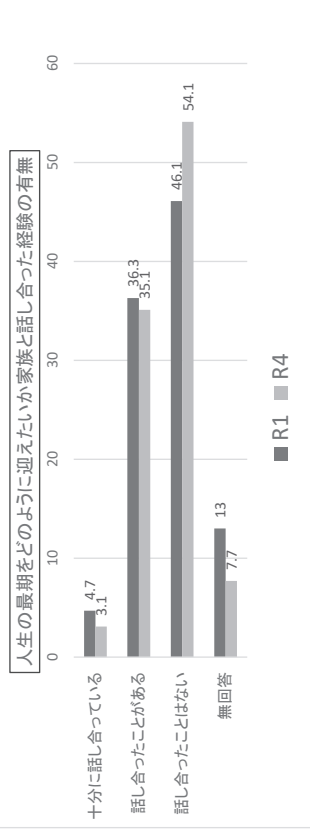
	人数	割合
自宅	467	55.5%
子どもや兄弟などの親族の家	5	0.6%
特別養護老人ホームなどの施設	30	3.6%
ホスピスなどの緩和ケア施設	40	4.8%
医療機関（ホスピスなどの緩和ケア施設除く）	59	7.0%
その他	2	0.2%
わからない	190	22.6%
無回答	48	5.7%

問51 死期が近くなった場合の延命治療の希望の有無

N=841		望む	望まない	わからない	無回答
人数	14	19	113	548	109
割合	1.7%	2.3%	13.4%	65.2%	13.0%

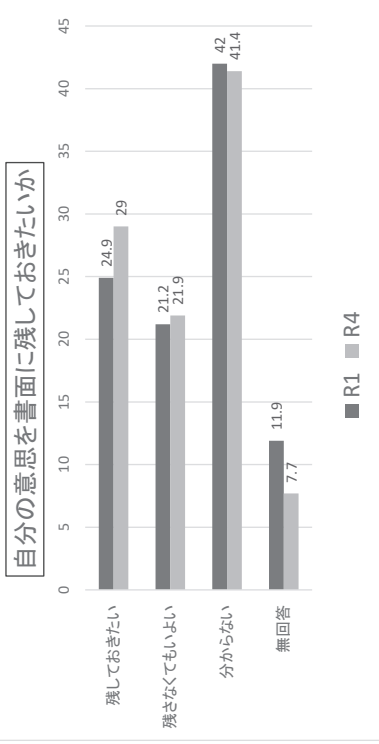
問57 人生の最期をどのように迎えたいか家族と話し合った経験の有無

		十分に話し合っている	話し合ったことがある	話し合ったことはない	無回答
R1	人数	9	70	89	25
N=193	割合	4.7%	36.3%	46.1%	13.0%
R4	人数	26	295	455	65
N=841	割合	3.1%	35.1%	54.1%	7.7%



問58 エンディングノート等により自分の意思を書面に残しておきたいか

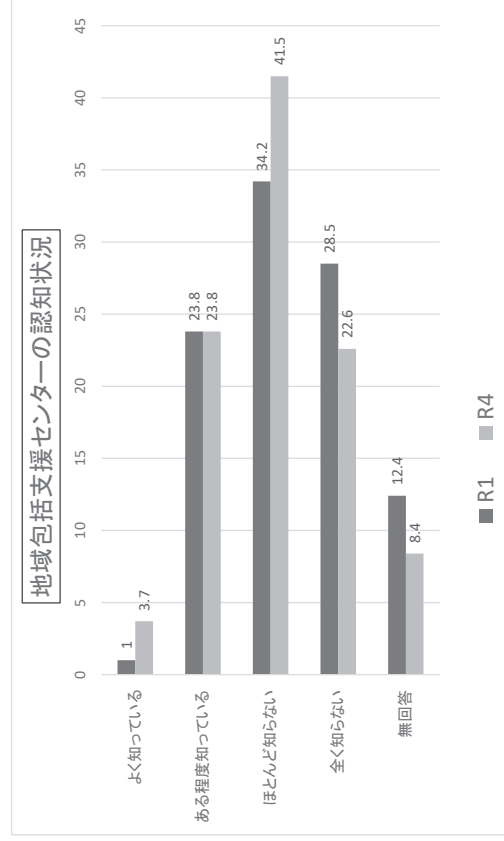
		残しておきたい	残さなくてもよい	わからない	無回答
R1	人数	48	41	81	23
N=193	割合	24.9%	21.2%	42.0%	11.9%
R4	人数	244	184	348	65
N=841	割合	29.0%	21.9%	41.4%	7.7%



地域包括支援センターについて

問59 地域包括支援センターの認知

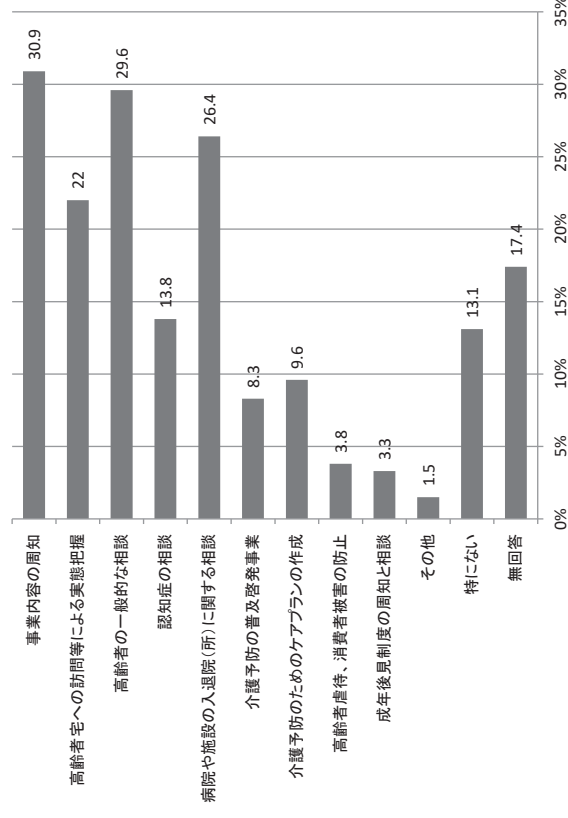
	よく知っている	ある程度知っている	ほとんど知らない	全く知らない	無回答
R1 N=193	2 1.0%	46 23.8%	66 34.2%	55 28.5%	24 12.4%
R4 N=841	31 3.7%	200 23.8%	349 41.5%	190 22.6%	71 8.4%



問60 地域包括支援センターに今後力を入れてほしい事業 (複数回答)

	人数	割合
事業内容の周知	260	30.9%
高齢者宅への訪問等による実態把握	185	22.0%
高齢者の一般的な相談	249	29.6%
認知症の相談	116	13.8%
病院や施設の入退院(所)に関する相談	222	26.4%
介護予防の普及啓発事業(健康教育、健康相談等)	70	8.3%
介護予防のためのケアプランの作成	81	9.6%
高齢者虐待、消費者被害の防止	32	3.8%
成年後見制度の周知と相談	28	3.3%
その他	13	1.5%
特になし	110	13.1%
無回答	146	17.4%

今後、地域包括支援センターに力を入れてほしい事業(複数回答)

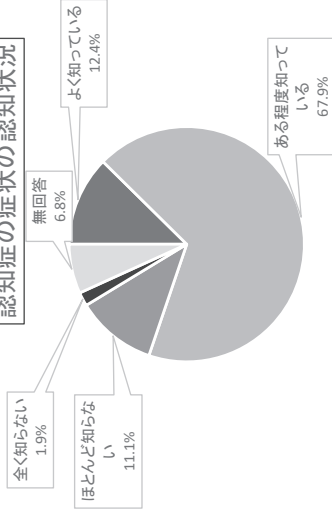


認知症について

問61 認知症という病気の認知

	よく知っている	ある程度知っている	ほとんど知らない	全く知らない	無回答
N=841					
人数	104	571	93	16	57
割合	12.4%	67.9%	11.1%	1.9%	6.8%

認知症の症状の認知状況



問62 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人の有無

	はい	いいえ	無回答
N=841			
人数	63	708	70
割合	7.5%	84.2%	8.3%

問63 身近な方に認知症の疑いがあるときの相談先 (複数回答)

	人数	割合
家族・親戚	449	53.4%
友人・知人	94	11.2%
民生委員	97	11.5%
かかりつけの医師	494	58.7%
ケアマネジャー	108	12.8%
市町村の保健師	133	15.8%
精神科医療機関	90	10.7%
地域包括支援センター	106	12.6%
保健所(県)の保健師	15	1.8%
認知症疾患医療センター	77	9.2%
介護サービス事業所	43	5.1%
認知症の家族会等ボランティア団体	16	1.9%
認知症コールセンター	28	3.3%
その他	8	1.0%
特に相談はしない	25	3.0%
無回答	71	8.4%

問64 認知症に関する相談窓口の認知状況

	はい	いいえ	無回答
N=841			
人数	125	644	72
割合	14.9%	76.6%	8.6%

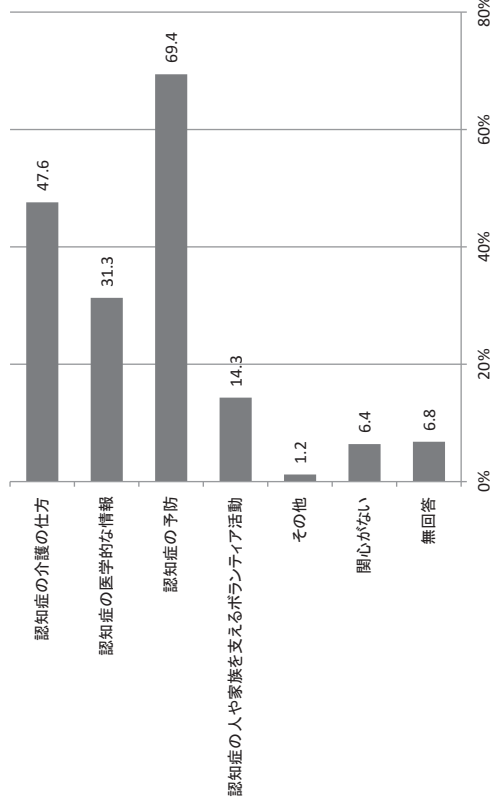
問65 認知症疾患医療センターの認知状況

	はい	いいえ	無回答
N=841			
人数	62	712	67
割合	7.4%	84.7%	8.0%

問66 認知症への関心事項 (複数回答)

	人数	割合
N=841		
認知症の介護の仕方	400	47.6%
認知症の医学的な情報	263	31.3%
認知症の予防	584	69.4%
認知症の人や家族を支えるボランティア活動	120	14.3%
その他	10	1.2%
関心がない	54	6.4%
無回答	57	6.8%

認知症について感心のあること(複数回答)





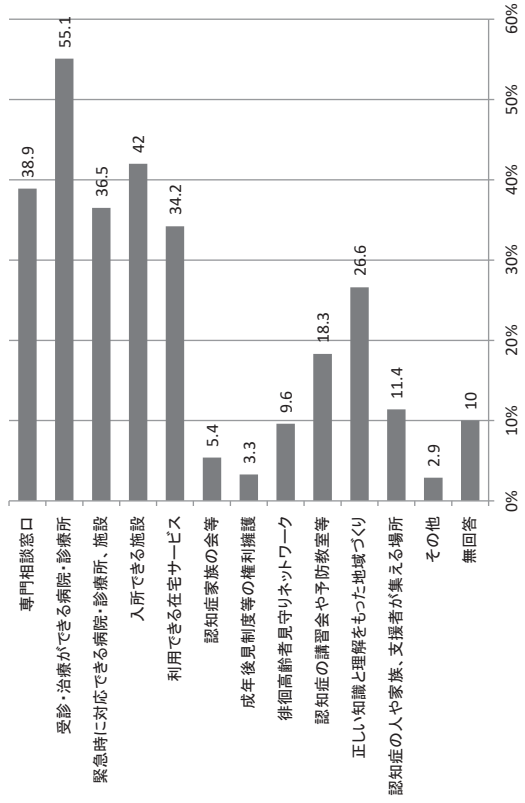
問67 認知症サポーター養成講座への参加意向

N=841	すでに参加したことがある		参加したいとは思わない(できない)		参加したいと思えば参加したい		ぜひ参加したい		近くであれば参加したい		参加したいとは思わない(できない)		すでに参加したことがある		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
	28	3.3%	426	50.7%	276	32.8%	32	3.8%	79	9.4%						

問68 認知症の方が安心して暮らしていくために充実が必要なこと(複数回答)

	人数	割合
専門相談窓口	327	38.9%
認知症の受診・治療ができる病院・診療所	463	55.1%
緊急時に対応できる病院・診療所、施設	307	36.5%
入所できる施設	353	42.0%
認知症の人が利用できる在宅サービス	288	34.2%
認知症家族の会等	45	5.4%
成年後見制度等の権利擁護	28	3.3%
徘徊高齢者見守りネットワーク	81	9.6%
認知症の講習会や予防教室等	154	18.3%
認知症の正しい知識と理解をもった地域づくり	220	26.6%
認知症カフェなどの認知症の人や家族、支援者が集える場所	96	11.4%
その他	24	2.9%
無回答	84	10.0%

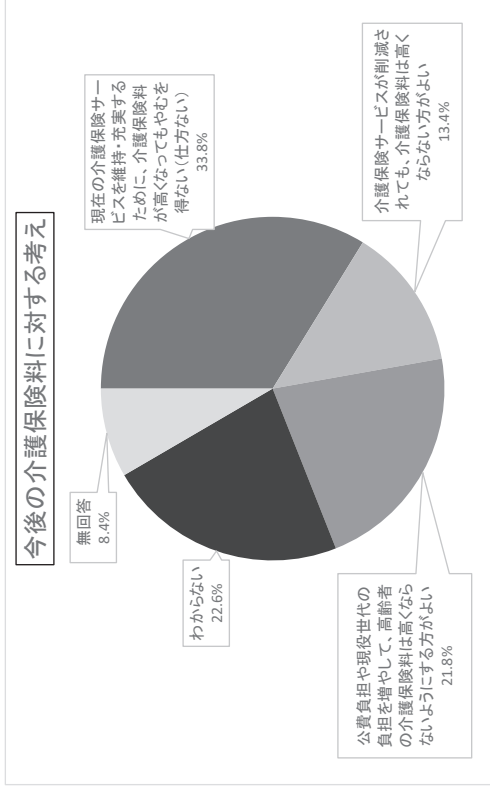
充実すれば、認知症になっても安心して暮らしていくことができると思うこと(複数回答)



高齢者施策について

問69 今後の介護保険料に対する考え

N=841		人数	割合
現在の介護保険サービスを維持・充実するために、介護保険料が高くならないようにする(仕方ない)			
		284	33.8%
介護保険サービスが削減されても、高齢者の介護保険料は高くなりたくない(仕方ない)			
		113	13.4%
公費負担や現役世代の負担を増やして、高齢者の介護保険料は高くなりたくない(仕方ない)			
		183	21.8%
わからない			
		190	22.6%
無回答			
		71	8.4%





居宅要支援・要介護認定者等実態調査

区分	調査対象者、回答者数	回答率
	対象者数 1,560	回答者数 983
		回収率 63.0%

調査票記入者	あて名のご本人が記入		
	ご家族が記入	その他	無回答
N=983	324	611	31
人数	33.0%	62.2%	3.2%
割合			10.5%

■ 属性

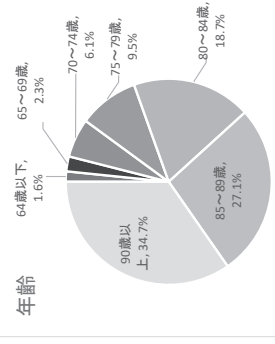
1. 性別	
N=983	無回答
人数	0
割合	0.0%

2. 年齢

N=983	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
人数	16	23	60	93	184	266	341
割合	1.6%	2.3%	6.1%	9.5%	18.7%	27.1%	34.7%

3. 現在の要介護度

N=983	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
人数	92	205	266	197	120	66	37
割合	9.4%	20.9%	27.1%	20.0%	12.2%	6.7%	3.8%



令和4年度  
高齢者生活・介護に関する実態調査等  
調査結果報告書

(Ⅱ 居宅要支援・要介護認定者等実態調査)

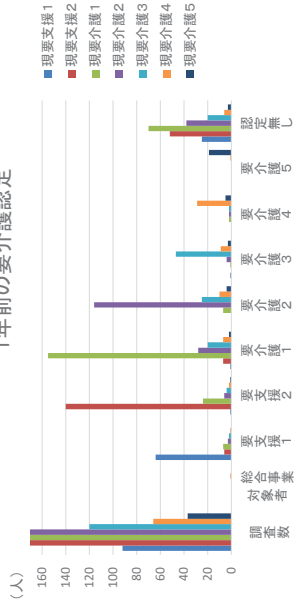
令和5年9月  
伊那市

4. 1年前の要介護度

N=983	認定	無	総合支援	要支援1	要支援2	要支援3	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
現要支援1	25		64	1	1				1		
現要支援2	62		6	140	7						
現要介護1	70		7	24	155	7	1	2			
現要介護2	38		3	6	28	116	4	2			
現要介護3	20		2	4	20	25	47	2			
現要介護4	6	1	1	2	7	10	9	29	1		
現要介護5	3		1	2	4	4	3	5	19		

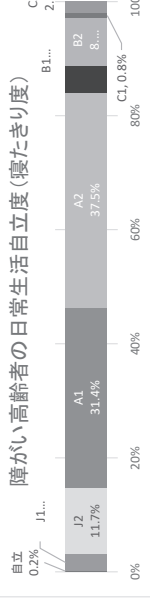
下がった方  
上がった方

1年前の要介護認定



5. 障害高齢者の日常生活自立度

N=983	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2
人数	2	28	115	309	369	48	81	8	20
割合	0.2%	2.8%	11.7%	31.4%	37.5%	4.9%	8.2%	0.8%	2.0%

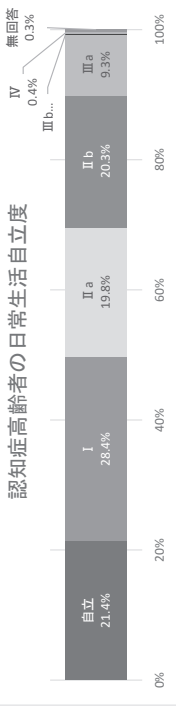


障がい高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)

ランクA 屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない。  
ランクB 屋内生活に何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ。

6. 認知症高齢者の日常生活自立度

N=983	自立	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	無回答
人数	210	279	195	200	91	1	4	0
割合	21.4%	28.4%	19.8%	20.3%	9.3%	0.1%	0.4%	0.0%
								0.3%



認知症高齢者の日常生活自立度

- I 何らかの認知症を有するが、日常生活はほぼ自立している。
- II 日常生活に支障を来たすような症状・行動や、意思疎通の困難さが見られるが、誰かが注意すれば自立できる。(症状・行動: たびたび道に迷う、買物や金銭管理にミスが目立つ。服薬管理や電話や訪問者の対応などの留守番ができない。)
- III 日常生活に支障を来たす症状・行動や、意思疎通の困難さが見られ、介護を要する。(症状・行動: 着替え・食事・排泄が上手にできない、時間がかかる、物を口に入れる・拾い集める、徘徊、失禁、大声・奇声、火の不始末、不潔行為、性的異常行動等)
- IV 日常生活に支障を来たす症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、常に介護を要する。(症状・行動: ランクIII同)

7. 1号保険料の標準所得段階

N=983	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階	第7段階	第8段階	第9段階	第10段階	無回答
人数	140	119	129	119	219	122	82	27	7	3	16
割合	14.2%	12.1%	13.1%	12.1%	22.3%	12.4%	8.3%	2.7%	0.7%	0.3%	1.6%

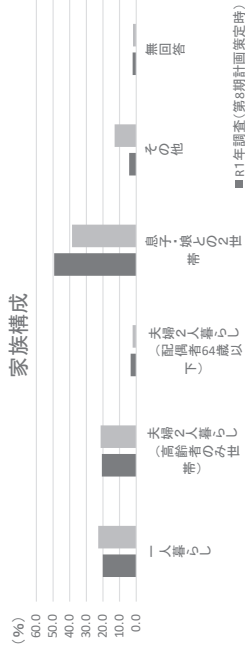
保険料段階	住民税		前年の合計所得金額
	本人	世帯	
第1段階	非課税	非課税	○老齢福祉年金を受けている方 ○生活保護を受けている方
第2段階	非課税	非課税	80万円以下の方
第3段階	非課税	非課税	120万円以下の方
第4段階	非課税	課税	120万円を超えている方
第5段階	非課税	課税	80万円以下の方
第6段階	課税	課税	80万円を超えている方
第7段階	課税	課税	125万円未満の方
第8段階	課税	課税	125万円以上200万円未満の方
第9段階	課税	課税	200万円以上400万円未満の方
第10段階	課税	課税	400万円以上600万円未満の方
			600万円以上の方

本人や家族の生活等の状況について

問1 家族構成

		一人暮らし	夫婦2人暮らし(高齢者のみ世帯)	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	息子・娘との2世帯	その他	無回答
※参考	人数	287	295	49	703	61	32
R1年度	割合	20.1%	20.7%	3.4%	49.3%	4.3%	2.2%
R4年度	人数	224	210	22	379	128	20
	割合	22.8%	21.4%	2.2%	38.6%	13.0%	2.0%

家族構成

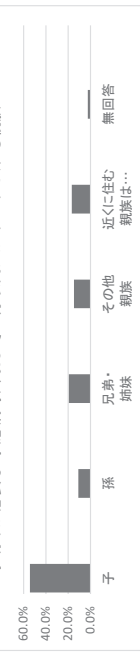


家族構成は『息子・娘との2世帯』の割合が約4割を占め最も多いが、第8期計画策定時（R1年度）に比べると約10%減少している。

問2 手助けが必要な時(急病等)、およそ30分以内につけてくれる親族(複数回答)

		子	孫	兄弟・姉妹	その他親族	近くに住む親族は少ない	無回答
N=983	人数	535	107	191	146	165	23
	割合	54.4%	10.9%	19.4%	14.9%	16.8%	2.3%

手助けが必要な時(急病等)、およそ30分以内につけてくれる親族



約6人に1人（16.8%）が『近くに住む親族は少ない』と回答している。

問3 近所の方との付き合いの程度

		N=983	
		人数	割合
常に自宅の様子を見にきてくれる（電話をくれる）人がいる		137	13.9%
お互いに訪問し合う人がいる		70	7.1%
困ったときに気軽に頼める人がいる		256	26.0%
あいさつ、立ち話をする程度の人がいる		350	35.6%
つき合いはない		149	15.2%
無回答		21	2.1%

付き合いがある方が多く、『困ったときに気軽に頼める人がいる』方が26%いる一方で、約6人に1人（15.2%）は近所の方と『付き合いはない』と回答している。

問4 経済的にみた現在の暮らしの状況

		やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大豊ゆとりがある	無回答
N=983	人数	92	244	578	51	10
	割合	9.4%	24.8%	58.8%	5.2%	1.0%

問5 住まいの所有形態

		持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	公営賃貸住宅	民営賃貸住宅（一戸建て）	民営賃貸住宅（集合住宅）	借家	その他	無回答
N=983	人数	902	7	23	7	10	12	13	0
	割合	91.8%	0.7%	2.3%	0.7%	1.0%	1.2%	1.3%	0.0%

① 昨年と比べて外出の回数が減っているか

N=988		減っている	減っていない	あまり減っていない	減っていない	無回答
人数	203	357	219	153	51	
割合	20.7%	36.3%	22.3%	15.6%	5.2%	

② 外出を控えているか

N=988		はい	いいえ	無回答
人数	675	285	23	
割合	68.7%	29.0%	2.3%	

③ 15分位続けて歩いているか

N=988		できるししている	できるけどしていない	できない	無回答
人数	197	58	692	36	
割合	20.0%	5.9%	70.4%	3.7%	

N=675		足腰などの痛み	交通手段がない	病気	トイレの心配(失禁など)	腰痛(腰痛中の後遺症など)
人数	351	165	163	146	93	
割合	52.0%	24.4%	24.1%	21.6%	13.8%	

※複数回答

④ 過去1年間に転んだ経験があるか

N=988		2度以上ある	1度ある	ない	無回答
人数	354	248	353	28	
割合	36.0%	25.2%	35.9%	2.8%	

⑤ 転倒に対する不安は大きい

N=988		とても不安	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	無回答
人数	601	271	52	21	38	
割合	61.1%	27.6%	5.3%	2.1%	3.9%	

⑥ 週に1回以上は外出しているか

N=988		週5回以上	週2~4回	週1回	ほとんど外出しない	無回答
人数	68	399	207	285	24	
割合	6.9%	40.6%	21.1%	29.0%	2.4%	

⑦ 外出を控えている理由(複数回答)



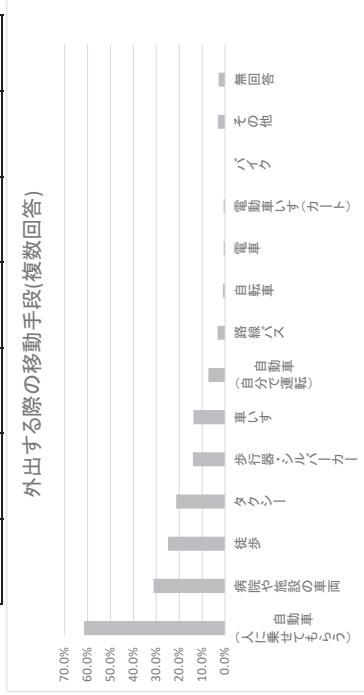
過去1年間に転んだ経験がある方は半数を超え、約9割の方が転倒に対する不安をもっている。外出を控えていると約割の方が回答している。特に足腰などの痛みにより外出を控えている方が多く、実際に1年前に比べて外出の回数も減っている方が半数を超えている。

問7 外出する際の移動手段（複数回答）

	自動車 (人に乗せ てもらふ)	病院や施設 の車庫	徒歩	タクシー	歩行者・シ ルバーカー	車いす	自動車 (自分で 運転)
N=983							
人数	605	307	245	210	138	136	72
割合	61.5%	31.2%	24.9%	21.4%	14.0%	13.8%	7.3%

	路線バス	自転車	電車	電動車いす (カート)	バイク	その他	無回答
N=983							
人数	32	9	6	6	1	31	28
割合	3.3%	0.9%	0.6%	0.6%	0.1%	3.2%	2.8%

※複数回答



外出する際の移動手段(複数回答)

食べることにについて

問8 食べることにについての状況

①BMI

	低体重 (18.5未満)	標準 (18.5以上 25.0未満)	肥満 (25.0以上)	無回答
N=983				
人数	159	525	143	156
割合	16.2%	53.4%	14.5%	15.9%

②6か月間で2〜3kg以上の体重減少があったか

	はい	いいえ	無回答
N=983			
人数	267	1,077	83
割合	18.7%	75.5%	5.8%

③半年前に比べて固いものが食べにくくなったか

	はい	いいえ	無回答
N=983			
人数	454	485	44
割合	46.2%	49.3%	4.5%

④お茶や汁物等でむせることがあるか

	はい	いいえ	無回答
N=983			
人数	428	513	42
割合	43.5%	52.2%	4.3%

⑤口の渇きが気になるか

	はい	いいえ	無回答
N=983			
人数	370	566	47
割合	37.6%	57.6%	4.8%

⑥歯磨き(人によってもらう場合も含む)を毎日しているか

	はい	いいえ	無回答
N=983			
人数	624	319	10
割合	63.5%	32.5%	1.0%

⑦歯の数と入れ歯の利用状況

	自分の歯は20 本以上、かつ 入れ歯を利用 なし	自分の歯は20 本以上、入れ 歯を利用なし 入れ歯を利用	自分の歯は19 本以下、かつ 入れ歯を利用 なし	自分の歯は19 本以下、入れ 歯を利用なし	無回答
N=983					
人数	88	172	444	117	162
割合	9.0%	17.5%	45.2%	11.9%	16.5%

⑧⑦で「入れ歯を利用」と答えた方のみ) 毎日入れ歯の手入れをしているか

	はい	いいえ	無回答
N=532			
人数	410	91	31
割合	77.1%	17.1%	5.8%

⑨噛み合わせは良いですか

	はい	いいえ	無回答
N=983			
人数	561	208	214
割合	57.1%	21.2%	21.8%

問9 誰かと食事をもつる機会の有無

	毎日ある	週に何度 かある	月に何度 かある	年に何度 かある	ほとんど ない	無回答
N=983						
人数	426	109	104	110	216	18
割合	43.3%	11.1%	10.6%	11.2%	22.0%	1.8%

毎日の生活について

問10 物忘れが多いと感じるか		はい	いいえ	無回答
N=983		658	248	77
人数		66.9%	25.2%	7.8%
割合				

問11 毎日の生活についての状況

N=983		できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
①バスや電車で一人で外出しているか（自家用車でも可）					
人数	117	77	740	49	
割合	11.9%	7.8%	75.3%	5.0%	
②自分で食品・日用品の買物をしているか					
人数	176	117	641	49	
割合	17.9%	11.9%	65.2%	5.0%	
③自分で食事の用意をしているか					
人数	272	100	573	38	
割合	27.7%	10.2%	58.3%	3.9%	
⑤自分で請求書の支払いをしているか					
人数	260	129	550	44	
割合	26.4%	13.1%	56.0%	4.5%	
⑥清肝金の出し入れをしているか					
人数	244	161	546	32	
割合	24.8%	16.4%	55.5%	3.3%	

④排泄処理を自分で行えるか

N=983		できる	できない	無回答
人数	694	233	56	
割合	70.6%	23.7%	5.7%	

問12 書類の記入や相談、趣味などについての状況

N=983		はい	いいえ	無回答
①年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けるか				
人数	344	595	44	
割合	35.0%	60.5%	4.5%	
②新聞を読んでいるか				
人数	587	358	38	
割合	59.7%	36.4%	3.9%	

③友人の家を訪ねているか

人数	128	813	42
割合	13.0%	82.7%	4.3%

④家族や友人の相談にのっているか

人数	324	610	49
割合	33.0%	62.1%	5.0%

⑤若い人に自分から話しかけることがあるか

人数	449	486	48
割合	45.7%	49.4%	4.9%

⑥趣味や生きがいはあるか

N=983		ある	ない	無回答
人数	347	541	95	
割合	35.3%	55.0%	9.7%	

問13 スマートフォン使用の有無

N=983		はい	いいえ	無回答
人数	141	802	40	
割合	14.3%	81.6%	4.1%	

問13-1（問13で「はい」の方のみ）LINEなどのメッセージアプリケーション利用の有無

N=141		はい	いいえ	無回答
人数	69	68	4	
割合	48.9%	48.2%	2.8%	



地域での活動について

問14 住んでいる地域は安心して生活できる地域だと思うか

N=983	思う	思わない	無回答
人数	822	120	41
割合	83.6%	12.2%	4.2%

問15 地域の会やグループへの参加状況

N=983	参加している	参加していない	無回答
人数	144	811	28
割合	14.6%	82.5%	2.8%

問15-1 (問15で「参加している」の方のみ) 地域の会やグループの参加頻度

N=144	週4回以上	週2回～3回	週1回	月1回～3回	年に1回	参加していない	無回答
人数	10	4	9	5	49	66	
割合	6.9%	2.8%	6.3%	3.5%	34.0%	45.8%	

①ボランティアのグループ

人数	1	4	8	4	56	64
割合	0.7%	2.8%	5.6%	2.8%	38.9%	44.4%

②運動やスポーツ関係のグループやクラブ

人数	1	4	6	22	13	45	53
割合	0.7%	2.8%	4.2%	15.3%	9.0%	31.3%	36.8%

③趣味関係のグループ

人数	0	4	1	11	6	58	64
割合	0.0%	2.8%	0.7%	7.6%	4.2%	40.3%	44.4%

④学習・教養サークル

人数	3	20	23	16	3	41	38
割合	2.1%	13.9%	16.0%	11.1%	2.1%	28.5%	26.4%

⑤介護予防のための通いの場(脳いきいき教室、筋トレ自主グループ等)

人数	1	2	3	7	16	56	59
割合	0.7%	1.4%	2.1%	4.9%	11.1%	38.9%	41.0%

⑥高齢者クラブ

人数	0	4	1	8	4	56	64
割合	0.0%	2.8%	0.7%	5.6%	2.8%	38.9%	44.4%

⑦町内会・自治会

人数	0	4	1	5	17	59	58
割合	0.0%	2.8%	0.7%	3.5%	11.8%	41.0%	40.3%

⑧収入のある仕事

人数	2	0	1	0	2	77	62
割合	1.4%	0.0%	0.7%	0.0%	1.4%	53.5%	43.1%

問15-2 (問15で「参加している」の方のみ) 参加している地域の会やグループは徒歩圏内か

N=144	徒歩圏内	徒歩圏外	無回答
人数	59	48	37
割合	41.0%	33.3%	25.7%

問16 いきいきいき地域づくりの活動に参加者としての参加意向

N=983	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
人数	32	201	610	20	120
割合	3.3%	20.4%	62.1%	2.0%	12.2%

問17 いきいき地域づくりの活動に企画・運営(お世話役)としての参加意向

N=983	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
人数	14	88	736	9	136
割合	1.4%	9.0%	74.9%	0.9%	13.8%

助けあいについて

問18 まわりの人との「助けあい」の状況(複数回答)

N=983	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・義・孫	近隣の人の人	友人	その他	いない	無回答
人数	310	344	393	263	121	133	32	46	52
割合	31.5%	35.0%	40.0%	26.8%	12.3%	13.5%	3.3%	4.7%	5.3%

①自分の心配事や愚痴を聞いてくれる人

人数	247	180	231	179	103	125	15	238	104
割合	25.1%	18.3%	23.5%	18.2%	10.5%	12.7%	1.5%	24.2%	10.6%

②自分がかん配事や愚痴を聞いてあげる人

人数	322	398	318	143	16	12	24	57	59
割合	32.8%	40.5%	32.3%	14.5%	1.6%	1.2%	2.4%	5.8%	6.0%

③病気で数日間寝込んだ時に、自分の看病や世話をしてくれる人

人数	211	110	73	57	11	10	494	119
割合	21.5%	11.2%	7.4%	5.8%	1.1%	1.0%	50.3%	12.1%

④病気で数日間寝込んだ時に、自分が看病や世話をしてくれる人

人数	26	143	684	331	99	36	121	61
割合	2.6%	14.5%	69.6%	33.7%	10.1%	3.7%	12.3%	6.2%

問19 家族や友人・知人以外で相談する相手(複数回答)

N=983	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・唐科センター・夜間診療所・他場	無回答
人数	26	143	684	331	99
割合	2.6%	14.5%	69.6%	33.7%	10.1%

問20 友人・知人と会う頻度

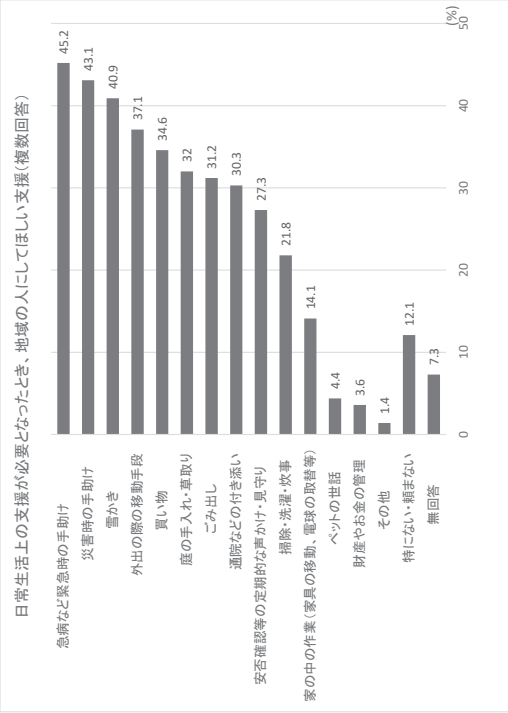
N=983	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
人数	22	155	153	136	456	61
割合	2.2%	15.8%	15.6%	13.8%	46.4%	6.2%

問21 よく会う友人・知人の関係(複数回答)

近所・同じ地域の人	学生時代の友人	仕事で同じ友人	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動で知り合った友人	その他	いない・できない	無回答
人数	307	31	52	61	85	22	77
割合	31.2%	3.2%	5.3%	6.2%	8.6%	2.2%	7.8%

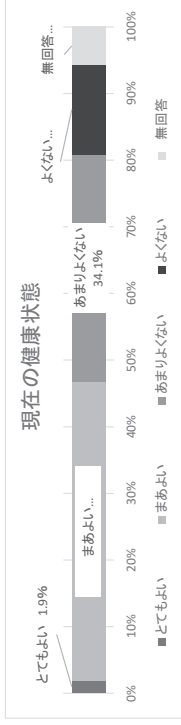
問22 日常生活上の支援が必要になったとき、地域の人にしてほしい支援（複数回答）

支援内容	人数	割合
急病など緊急時の手助け	444	45.2%
災害時の手助け	424	43.1%
雪かき	402	40.9%
外出の際の移動手段	365	37.1%
買い物	340	34.6%
庭の手入れ・草取り	315	32.0%
ごみ出し	307	31.2%
通院などの付き添い	298	30.3%
安否確認等の定期的な声かけ・見守り	268	27.3%
掃除・選択・炊事	214	21.8%
家の中の作業（家具の移動・電球の取り換え等）	139	14.1%
ペットの世話	43	4.4%
財産やお金の管理	35	3.6%
その他	14	1.4%
特にない・頼まない	119	12.1%
無回答	72	7.3%



問23 現在の健康状態

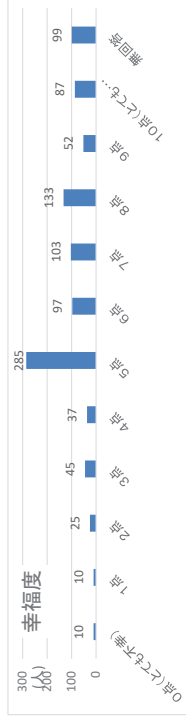
健康状態	人数	割合
とてもよい	19	1.9%
まあよい	441	44.9%
あまりよくない	335	34.1%
よくない	132	13.4%
無回答	56	5.7%



問24 幸福度

幸福度	人数	割合
0点 (とても不幸)	10	1.0%
1点	10	1.0%
2点	25	2.5%
3点	45	4.5%
4点	37	3.7%
5点	285	28.5%
6点	97	9.7%

幸福度	人数	割合
7点	103	10.3%
8点	133	13.3%
9点	52	5.2%
10点 (とても幸福)	87	8.7%
無回答	99	9.9%
平均		6.19



問25 1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりした経験の有無

N=983	ある	ない	無回答
人数	481	405	97
割合	48.9%	41.2%	9.9%

問26 1か月間、物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがかった経験の有無

N=983	ある	ない	無回答
人数	430	456	95
割合	43.7%	46.4%	9.7%

問27 喫煙状況

N=983	ほぼ毎日吸っている	時々吸っている	吸っていたがやめた	もともと吸っていない	無回答
人数	7	7	190	718	61
割合	0.7%	0.7%	19.3%	73.0%	6.2%

問27 40歳以降における健康のための日常生活上の留意点 (複数回答)

N=983	健康診断を定期的に受診	食事の内容(炭水化物、食べすぎないなど)	十分な睡眠	適度な運動等(ウォーキングなど)	歯や歯ぐきの健康
人数	479	375	296	284	220
	たばこを吸わない	お酒を飲まない・飲みすぎない	実行していない	無回答	
	288	245	131	72	

問28 現在抱えている傷病 (複数回答)

N=983	人数	【再掲】 男性	女性	割合
糖尿病	127	59	68	12.9%
眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を伴うもの)	243	79	164	24.7%
脳血管疾患 (脳卒中)	143	74	69	14.5%
心疾患 (心臓病)	189	75	114	19.2%
腎疾患 (透析)	23	11	12	2.3%
認知症 (アルツハイマー病等)	277	89	188	28.2%
筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、脊柱管狭窄症)	237	51	186	24.1%
変形性関節疾患	116	16	100	11.8%
呼吸器疾患	77	28	49	7.8%
悪性新生物 (がん)	51	24	27	5.2%
膠原病 (関節リウマチ含む)	33	11	22	3.4%
パーキンソン病	46	20	26	4.7%
難病 (パーキンソン病を除く)	22	12	10	2.2%
その他	157	50	107	16.0%
なし	31	8	23	3.2%
わからない	22	7	15	2.2%
無回答	69	28	41	7.0%

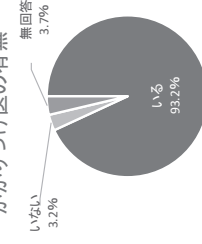
現在抱えている病気(複数回答)



問30 かかりつけ医の有無

N=983	あり	なし	無回答
人数	916	31	36

かかりつけ医の有無



問30-1 (問30で「いる」の方のみ) かかりつけ医の種類

N=916	病院	診療所	無回答
人数	280	618	18
割合	30.6%	67.5%	2.0%

問30-1 (問30で「いる」の方のみ) かかりつけ医の往診(体調の悪い時のみ)の訪問診療の有無

N=916	あり	なし	わからない	その他	無回答
人数	307	218	340	9	42
割合	33.5%	23.8%	37.1%	1.0%	4.6%

問31 現在の通院または訪問診療での受診状況(複数回答) ※訪問看護は除く

N=983	通院している	訪問診療を受けている	通院なし	無回答
人数	836	99	40	41
割合	85.0%	10.1%	4.1%	4.2%

問31-1 (問31で「通院・訪問診療のある方のみ) 通院・訪問診療の頻度

N=902	週1回以上	2か月2~3回	1回程度	2か月に1回程度	3か月に1回程度	無回答
人数	25	83	474	97	48	175
割合	2.8%	9.2%	52.5%	10.8%	5.3%	19.4%

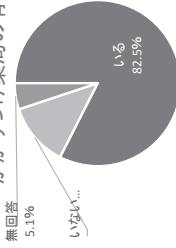
問31-2 (問31で「通院している」の方のみ) 通院時の介助(付き添い)の必要性

N=836	あり	なし	無回答
人数	661	145	30
割合	79.1%	17.3%	3.6%

問32 かかりつけ医の有無

N=983	あり	なし	無回答
人数	811	122	50
割合	82.5%	12.4%	5.1%

かかりつけ薬局の有無



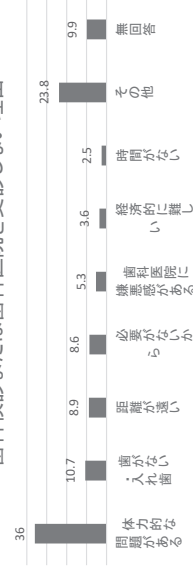
問33 年に1回以上の歯科検診または歯科医院の受診の有無

N=983	あり	なし	無回答
人数	307	608	68
割合	31.2%	61.9%	6.9%

問33-1 (問33「なし」の方のみ) 歯科検診または歯科医院を受診しない理由

N=608		人数	割合
体力的な問題がある		219	36.0%
歯がない・入れ歯		65	10.7%
距離が遠い		54	8.9%
必要がないから		52	8.6%
歯科医院に嫌悪感がある		32	5.3%
経済的に難しい		22	3.6%
時間がない		15	2.5%
その他		145	23.8%
無回答		60	9.9%

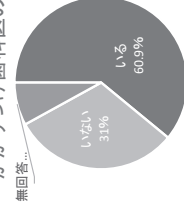
歯科検診または歯科医院を受診しない理由



問34 かかりつけ歯科医の有無

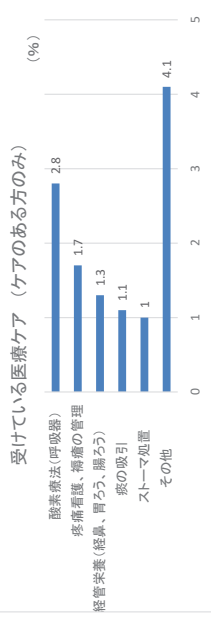
N=983	あり	なし	無回答
人数	599	305	79
割合	60.9%	31.0%	8.0%

かかりつけ歯科医の有無



問37 現在受けている医療的ケア（複数回答）

	人数	割合
N=983		
酸素療法（呼吸器）	28	2.8%
疼痛看護、褥瘡の管理	17	1.7%
経管栄養（経鼻、胃ろう、腸ろう）	13	1.3%
痰の吸引	11	1.1%
ストーマ処置	10	1.0%
その他	40	4.1%
必要ない（受けていない）	733	74.6%
無回答	148	15.1%



問37-1（医療的ケアを受けている方のみ） 医療的ケアを実施している方

	本人 家族	医師	訪問 看護師	訪問介護 事業所のヘルパー	通院の際 に処置	その他	無回答
N=102							
人数	45	30	35	21	10	6	8
割合	44.1%	29.4%	34.3%	20.6%	9.8%	5.9%	7.8%

地域包括支援センターについて

問38 地域包括支援センターの認知状況

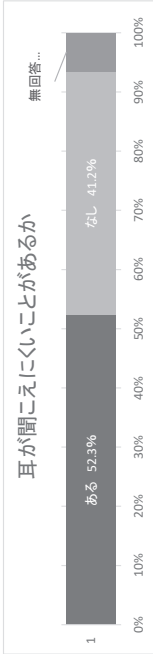
	よく知っている ある程度知っている	ほとんど知らない 全く知らない	無回答
N=983			
人数	61	313	228
割合	6.2%	31.8%	22.8%

地域包括支援センターの認知状況

認知状況	割合 (%)
よく知っている	6.2%
ある程度知っている	31.8%
ほとんど知らない	32.6%
全く知らない	23.9%
無回答	6.7%

問35 耳が聞こえにくくことがあるか

	あり	なし	無回答
N=983			
人数	514	405	64
割合	52.3%	41.2%	6.5%



問35-1（問35「あり」の方のみ）生活において耳が聞こえにくくことで生じている支障

	人数	割合
N=514		
電話口の声やインターホン、テレビの音が聞こえにくい	219	42.6%
相手の声が聞こえにくく、人と会うことを避けている	65	12.6%
外出時、車や自転車の音が聞こえにくく、危険を察知しづらい	54	10.5%
相手の声が聞こえにくく、仕事やサークルへ行きづらい (行くのをやめてしまった)	52	10.1%
その他	32	6.2%
特になし	22	4.3%
無回答	15	2.9%

問35-2（問35「あり」の方のみ）補聴器の使用の有無

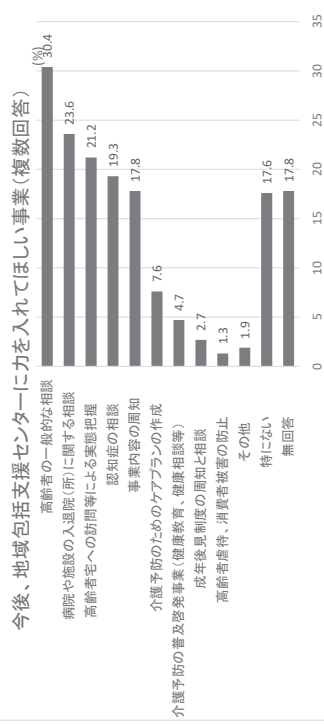
	あり	なし	無回答
N=514			
人数	117	384	13
割合	22.8%	74.7%	2.5%

問36 オンライン診療・電話診療の利用経験の有無

	利用したことが ある	知っているが、 利用したことはない	知らない	無回答
N=983				
人数	23	325	528	107
割合	2.3%	33.1%	53.7%	10.9%

問33 地域包括支援センターに今後力を入れてほしい事業（複数回答、3つまで）

	人数	割合
N=983		
高齢者の一般的な相談	299	30.4%
病院や施設の入退院（所）に関する相談	232	23.6%
高齢者宅への訪問による実態把握	208	21.2%
認知症の相談	190	19.3%
事業内容の周知	175	17.8%
介護予防のためのケアプランの作成	75	7.6%
介護予防の普及啓発事業（健康教育、健康相談等）	46	4.7%
成年後見制度の周知と相談	27	2.7%
高齢者虐待、消費者被害の防止	13	1.3%
その他	19	1.9%
特になし	173	17.6%
無回答	175	17.8%



認知症について

問40 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人の有無

	いる	いない	無回答
N=983			
人数	374	530	79
割合	38.0%	53.9%	8.0%

問41 認知症に関する相談窓口の認知状況

	知っている	知らない	無回答
N=983			
人数	273	634	76
割合	27.8%	64.5%	7.7%

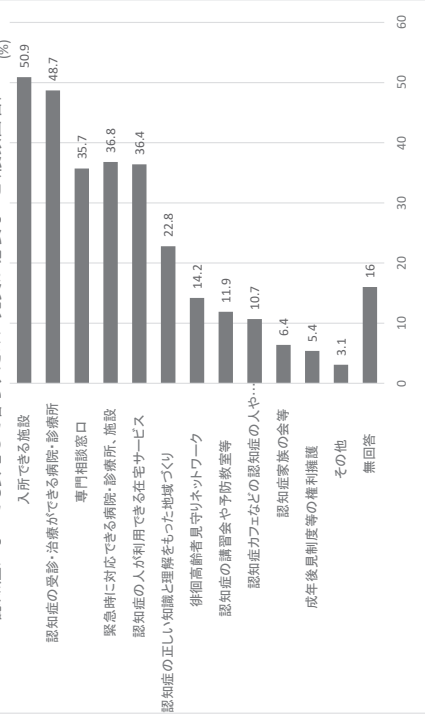
問42 認知症疾患医療センターの認知状況

	知っている	知らない	無回答
N=983			
人数	92	780	111
割合	9.4%	79.3%	11.3%

問43 認知症になっても安心して暮らすために充実が必要なこと（複数回答）

	人数	割合
入所できる施設	500	50.9%
認知症の受診・治療ができる病院・診療所	479	48.7%
専門相談窓口	351	35.7%
緊急時に対応できる病院・診療所、施設	362	36.8%
認知症の人が利用できる在宅サービス	358	36.4%
認知症の正しい知識と理解をもった地域づくり	224	22.8%
徘徊高齢者見守りネットワーク	140	14.2%
認知症の講習会や予防教室等	117	11.9%
認知症カフェなどの認知症の人や家族、支援者が集える場所	105	10.7%
認知症家族の会等	63	6.4%
成年後見制度等の権利擁護	53	5.4%
その他	30	3.1%
無回答	157	16.0%

認知症になっても安心して暮らすために充実が必要なこと（複数回答）



介護の状況について

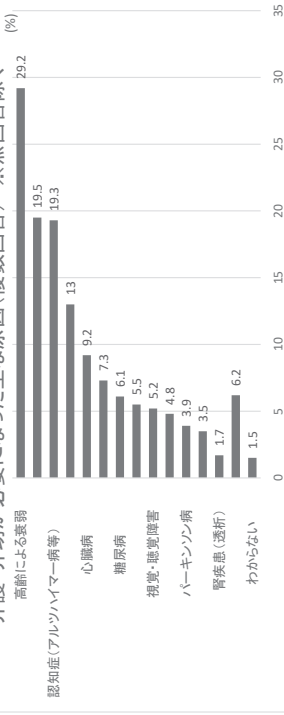
問44 普段の生活での介護・介助の有無

N=983	現在、何らかの介護・介助を受けている		何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない		介護・介助は必要ない		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
	757	77.0%	83	8.4%	90	9.2%	53	5.4%

問44-1 (問44で「介護が必要」「受けている」方) 介護・介助が必要になった主な理由 (複数回答)

理由	人数		割合		
	64歳未満	65歳～74歳	75歳以上	再掲	
高齢による衰弱	245	0	5	240	29.2%
骨折・転倒	164	0	9	155	19.5%
認知症 (アルツハイマー病等)	162	1	2	159	19.3%
脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	109	4	13	92	13.0%
心臓病	77	0	3	74	9.2%
脊椎・骨髄損傷	61	0	8	53	7.3%
糖尿病	51	0	8	43	6.1%
関節の病気 (リウマチ等)	46	1	5	450	5.5%
視覚・聴覚障害	44	1	3	40	5.2%
がん (悪性腫瘍)	40	1	7	32	4.8%
パーキンソン病	33	0	8	25	3.9%
呼吸器の病気 (肺炎腫・肺炎等)	29	0	2	27	3.5%
腎疾患 (透析)	14	0	2	12	1.7%
その他	52	1	14	37	6.2%
わからない	13	1	0	12	1.5%
無回答	162	6	11	145	19.3%

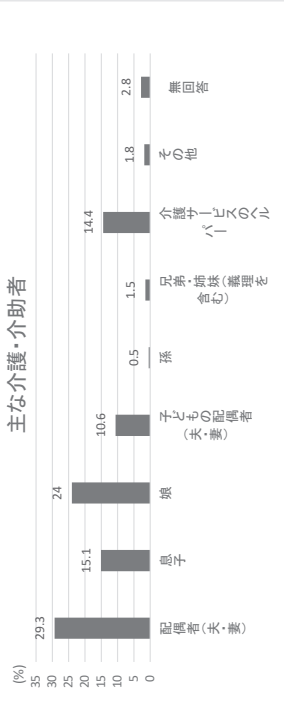
介護・介助が必要になった主な原因 (複数回答) ※無回答除く



問44-2 (問44「受けている」方のみ) 主な介護・介助者

N=757	配偶者(夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫
人数	222	114	182	80	4
割合	29.3%	15.1%	24.0%	10.6%	0.5%

兄弟・姉妹	介護サービスヘルパー	その他	無回答
人数	11	109	14
割合	1.5%	14.4%	1.8%
			2.8%



問44-3 (問44「受けている」方のみ) 主な介護・介助者の性別 ※介護ヘルパーは除く

N=627	男性	女性	無回答
人数	187	432	8
割合	29.8%	68.9%	1.3%

問44-4 (問44「受けている」方のみ) 主な介護・介助者の年齢 ※介護ヘルパーは除く

N=627	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	わからない	無回答
人数	0	1	2	30	126	211	113	109	2	33
割合	0.0%	0.2%	0.3%	4.8%	20.1%	33.7%	18.0%	17.4%	0.3%	5.3%

【再掲】 ↓ 要介護者

64歳未満	0	0	0	0	2	7	2	1	0	0
65～69歳	0	0	0	0	1	8	4	0	0	2
70～74歳	0	0	1	0	0	7	23	1	0	1
75～79歳	0	0	0	6	5	2	30	8	0	3
80～84歳	0	1	0	11	39	2	24	29	2	2
85～89歳	0	0	0	7	49	47	3	45	0	11
90歳以上	0	0	1	6	30	138	27	25	0	14

(色付き) 同年代同士の介護

問44-5 (問44「受けている」方のみ) 主な介護・介助者の同居・別居の状況

N=627	別居している	同居している	無回答
人数	144	475	8
割合	23.0%	75.8%	1.3%

N=144	同一市町村内	県内	県外	無回答
人数	88	31	4	21
割合	61.1%	21.5%	2.8%	14.6%

問44-6 (問44「受けている」方のみ) 家族・親族が介護する頻度 (週当たり)

N=627	ない	週1日より少ない	週に1日～2日	週に3日～4日	ほぼ毎日	無回答
人数	12	26	47	40	443	59
割合	1.9%	4.1%	7.5%	6.4%	70.7%	9.4%

問44-7 (問44「受けている」方のみ) 主な介護・介助者が行っている介護 (複数回答)

N=842	外出の付き添い、送迎等	人数	割合
	食事の準備(調理等)	463	73.8%
	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	457	72.9%
	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	454	72.4%
	服薬の管理	429	68.4%
	服薬	377	60.1%
	衣服の着脱	277	44.2%
	入浴・洗身	261	41.6%
	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	212	33.8%
	日中の排せ	189	30.1%
	屋内の移乗・移動	171	27.3%
	認知症状への対応	171	27.3%
	食事の介助(食べる時)	165	26.3%
	夜間の排せ	151	24.1%
	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	148	23.6%
	その他	62	9.9%
	無回答	17	2.7%
		31	4.9%

主な介護・介助者が行っている介護





問45 介護・介助を理由として、過去1年間に仕事を辞めたり、転職した家族や親族の有無（複数回答）

N=983		人数	割合
主な介護・介助者が仕事を辞めた（転職除く）		66	6.7%
主な介護・介助者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）		9	0.9%
主な介護・介助者が転職した		10	1.0%
主な介護・介助者以外の家族・親族が転職した		2	0.2%
介護・介助のために仕事を辞めた家族・親族はいない		108	11.0%
わからない		42	4.3%
無回答		292	29.7%

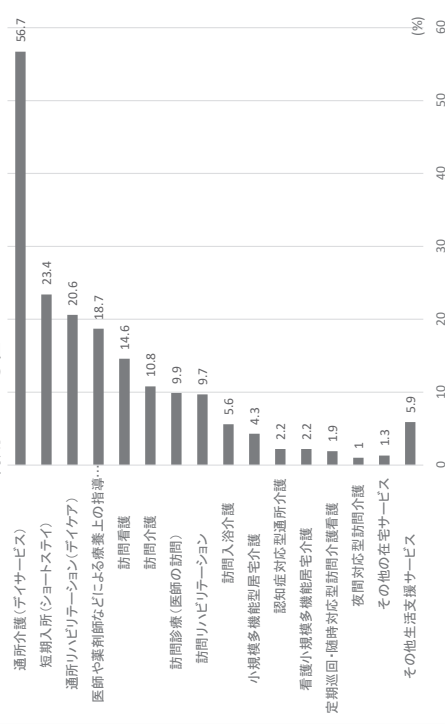
問46 介護居除サービスの利用状況（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外）

N=679		人数	割合
利用している		679	69.1%
利用していない		229	23.3%
無回答		75	7.6%

問46-1（問46「利用している」方のみ）利用している在宅サービス（複数回答）

N=679		人数	割合
通所介護（デイサービス）		385	56.7%
短期入所（ショートステイ）		159	23.4%
通所リハビリテーション（デイケア）		140	20.6%
医師や薬剤師などによる療養上の指導（居宅療養管理指導）		127	18.7%
訪問看護		99	14.6%
訪問介護		73	10.8%
訪問診療（医師の訪問）		67	9.9%
訪問リハビリテーション		66	9.7%
訪問入浴看護		38	5.6%
小規模多機能型居宅介護		29	4.3%
認知症対応型通所介護		15	2.2%
看護小規模多機能型居宅介護		15	2.2%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護		13	1.9%
夜間対応型訪問介護		7	1.0%
その他の在宅サービス		9	1.3%
その他生活支援サービス		40	5.9%
無回答		42	6.2%

利用している在宅サービス



問46-1-1 (問46「居宅療養管理指導」を利用している方のみ) 管理指導をしている職種 (複数回答)

	医師	歯科医師	薬剤師	看護師・保健師	歯科衛生士	管理栄養士	無回答
N=127	97	16	38	44	7	4	0
人数	76.4%	12.6%	29.9%	34.6%	5.5%	3.1%	0.0%
割合							

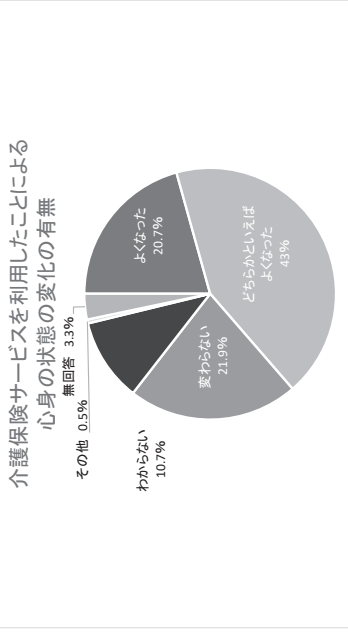
問46-2 (問46「利用している」方のみ) 利用している介護保険サービスの満足状況

	満足している	どちらかと言えば満足している	どちらかと言えば満足していない	満足していない	無回答
N=679	297	284	44	18	36
人数	43.7%	41.8%	6.5%	2.7%	5.3%
割合					

問46-2-1 (問46-2「満足」「どちらかと言えば満足」の方のみ)

介護保険サービスを利用したことによる心身の状態の変化の有無

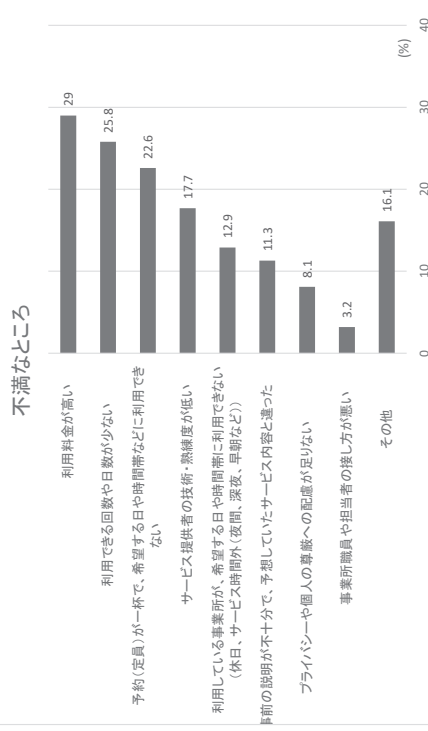
	よくなった	どちらかと言えばよくなった	変わらない	わからぬ	よくなった	無回答
N=681	120	250	127	62	3	19
人数	20.7%	43.0%	21.9%	10.7%	0.5%	3.3%
割合						



問46-2-2 (問46-2「どちらかと言えば満足していない」「満足していない」の方のみ)

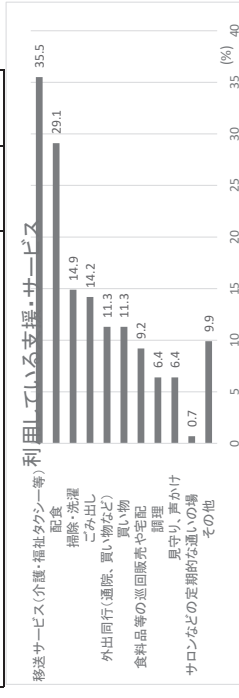
不満なところ

	N=62	人数	割合
利用料金が高い		18	29.0%
利用できる回数や日数が少ない		16	25.8%
予約(定員)が一杯で、希望する日や時間帯などに利用できない		14	22.6%
サービス提供者の技術・熟練度が低い		11	17.7%
利用している事業所が、希望する日や時間帯に利用できない(休日、サービス時間外(夜間、深夜、早朝など))		8	12.9%
事前の説明が不十分で、予想していたサービス内容と違った		7	11.3%
事業所職員や担当者の接し方が悪い		5	8.1%
プライバシーや個人の尊厳への配慮が足りない		2	3.2%
その他		10	16.1%
無回答		8	12.9%



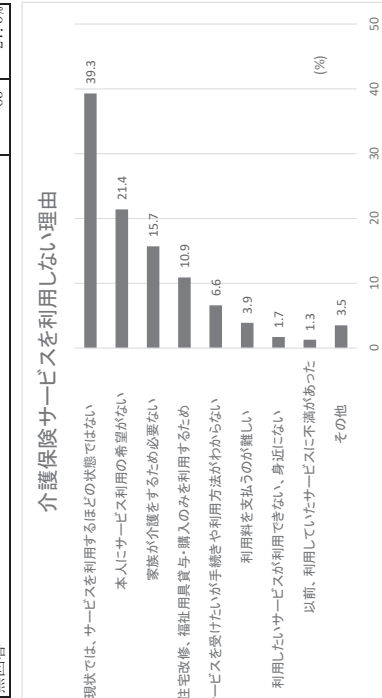
問47-1 (問47「利用している」方のみ) 利用している支援・サービス (複数回答)

支援・サービス (介護・福祉タクシー等)	人数	割合
移送サービス (介護・福祉タクシー等)	50	35.5%
配食	41	29.1%
掃除・洗濯	21	14.9%
ごみ出し	20	14.2%
外出同行 (通院、買い物など)	16	11.3%
買い物	16	11.3%
食料品等の巡回販売や宅配	13	9.2%
調理	9	6.4%
見守り、声かけ	9	6.4%
サロンなどの定期的な通いの場	1	0.7%
その他	14	9.9%
無回答	7	5.0%



問46-3 (問46「利用していない」方のみ) 介護保険サービスを利用しない理由 (複数回答)

理由	人数	割合
現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	90	39.3%
本人にサービス利用の希望がない	49	21.4%
家族が介護をするため必要ない	36	15.7%
住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	25	10.9%
サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない	15	6.6%
利用料を支払うのが難しい	9	3.9%
利用したいサービスが利用できない、身近にない	4	1.7%
以前、利用していたサービスに不満があった	3	1.3%
その他	8	3.5%
無回答	63	27.5%



問47 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況

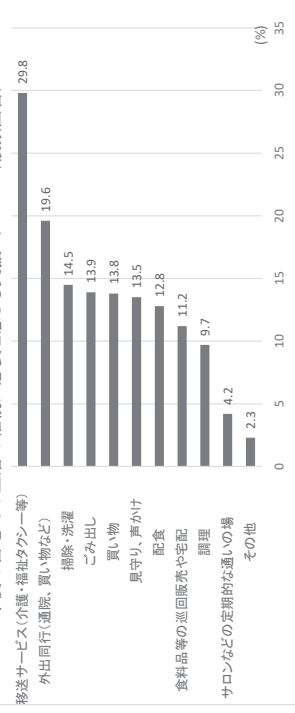
利用している	人数	割合
利用している	141	14.3%
利用していない	676	68.8%
無回答	166	16.9%



問48 今後の自宅での生活の継続に必要と感じる支援・サービス（複数回答）

	人数	割合
N=983		
移送サービス（介護・福祉タクシー等）	293	29.8%
外出同行（通院、買い物など）	193	19.6%
掃除・洗濯	143	14.5%
ごみ出し	137	13.9%
買い物	136	13.8%
見守り、声かけ	133	13.5%
配食	126	12.8%
食料品等の巡回販売や宅配	110	11.2%
調理	95	9.7%
サロンなどの定期的な通いの場	41	4.2%
特になし	23	2.3%
無回答	216	22.0%
	255	25.9%

今後の自宅での生活の継続に必要と感じる支援・サービス（複数回答）



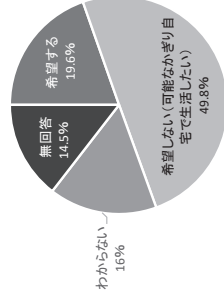
問49 「施設」や「高齢者向けの住まい」への入所（入居）の検討状況

	検討していない、検討している	すでに申し込みをしている	無回答
N=983			
人数	585	196	66
割合	59.5%	19.9%	6.7%
			13.8%

問50 施設等への入所（入居）希望

	希望する	希望しない（可能なかぎり自宅で生活したい）	わからない	無回答
N=983				
人数	193	490	157	143
割合	19.6%	49.8%	16.0%	14.5%

施設等への入所（入居）希望の有無

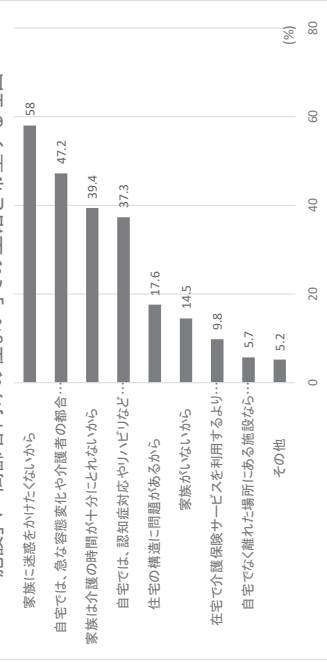


問50-1 (問50「希望する」方のみ)

「施設」や「高齢者向けの住まい」での生活を希望する理由(複数回答)

N=193	
	割合
家族に迷惑をかけたくないから	58.0%
自宅では、急な容態変化や介護者の都合など緊急時の対応の面で不安だから	47.2%
家族は介護の時間が十分にとれないから	39.4%
自宅では、認知症対応やリハビリなど専門的な介護が受けられないから	37.3%
住宅の構造に問題があるから	17.6%
家族がいないから	14.5%
在宅で介護保険サービスを利用するより諸々の費用を考えた総合的にみると経済的だから	9.8%
自宅ではなく離れた場所にある施設なら世間の目が気にならないから	5.7%
その他	5.2%
無回答	1.0%

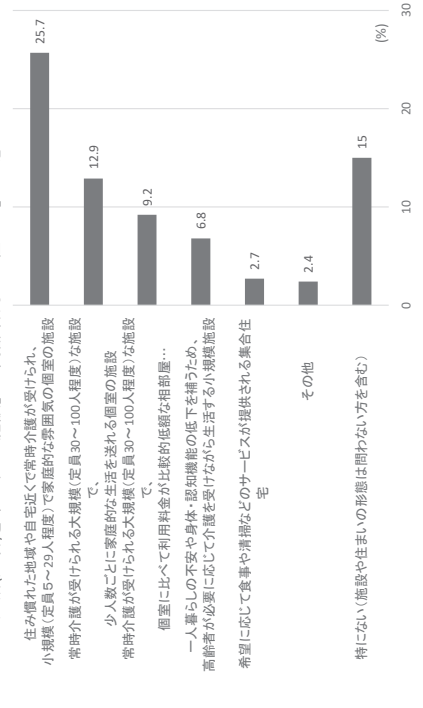
「施設」や「高齢者向けの住まい」での生活を希望する理由



問51 最も希望する「施設」や「住まい」の形態、入所(入居)を希望する「施設」や「高齢者向けの住まい」の形態

N=983	
	割合
住み慣れた地域や自宅近くで常時介護が受けられ、小規模(定員5~29人程度)で家庭的な雰囲気のある施設の施設(小規模な特養など)	25.7%
常時介護が受けられる大規模(定員30~100人程度)な施設で、少人数ごとに家庭的な生活を送れる個室の施設(ユニット型の特養、老健など)	12.9%
常時介護が受けられる大規模(定員30~100人程度)な施設で、個室に比べて利用料金が比較的低廉な相部屋(4人部屋程度)の多い施設(介護型の特養など)	9.2%
一人暮らしの不安や身体・認知機能の低下を補うため、高齢者が必要に応じて介護を受けながら生活する小規模施設(グループホーム、ケアハウスなど)	6.8%
希望に応じて食事や清掃などのサービスが提供される集合住宅(有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など)	2.7%
その他(病院など)	2.4%
特になし(施設や住まいの形態は問わない方を含む)	15.0%
無回答	25.2%

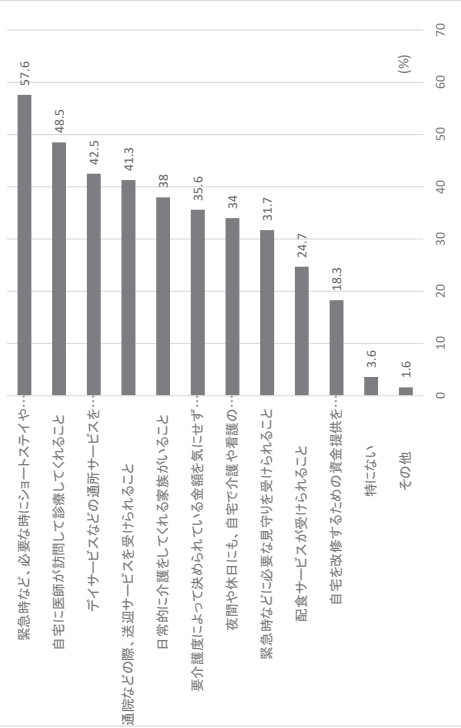
最も希望する「施設」や「住まい」の形態、入所(入居)を希望する「施設」や「高齢者向けの住まい」の形態



問52 ずっと自宅で暮らし続けるためにあれば良いと思う支援（複数回答）

	人数	割合
N=983		
緊急時など、必要に応じてショートステイや宿泊サービスが利用できること	566	57.6%
自宅に医師が訪問して診療してくれること	477	48.5%
デイサービスなどの通所サービスを必要に応じて利用できること	418	42.5%
通院などの際、送迎サービスを受けられること	406	41.3%
日常的に介護をしてくれる家族がいること	374	38.0%
要介護度によって決められている金額を気にせずに、必要なだけ介護保険サービスを受けられること	350	35.6%
夜間や休日にも、自宅で介護や看護のサービスを受けられること	334	34.0%
緊急時などに必要な見守りを受けられること	312	31.7%
配食サービスが受けられること	243	24.7%
自宅を改修するための資金提供を受けられること	180	18.3%
特になし	35	3.6%
その他	16	1.6%
無回答	134	13.6%

ずっと自宅で暮らし続けるためにあれば良いと思う支援（複数回答）



問53 「24時間対応型サービス」の認知状況

	知っている	知らない	無回答
N=983			
人数	131	728	124
割合	13.3%	74.1%	12.6%

問54（問53「知っている」方のみ）「24時間対応型サービス」の利用意向

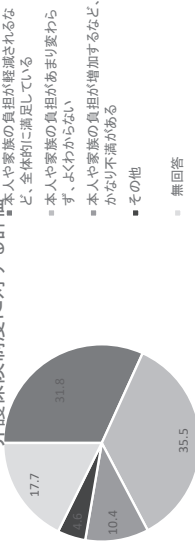
	すでに利用している	利用してみたい	利用したくない	わからない	その他	無回答
N=131						
人数	25	21	15	61	5	4
割合	19.1%	16.0%	11.5%	46.6%	3.8%	3.1%

高齢者施策について

問55 介護保険制度に対する評価

	本人や家族の負担が軽減されるなど、全体的に満足している	本人や家族の負担があまり変わらないが、よく分かっていない	本人や家族の負担が増加するなど、かなり不満がある	その他	無回答
N=983	313	349	102	45	174
割合	31.8%	35.5%	10.4%	4.6%	17.7%

介護保険制度に対する評価

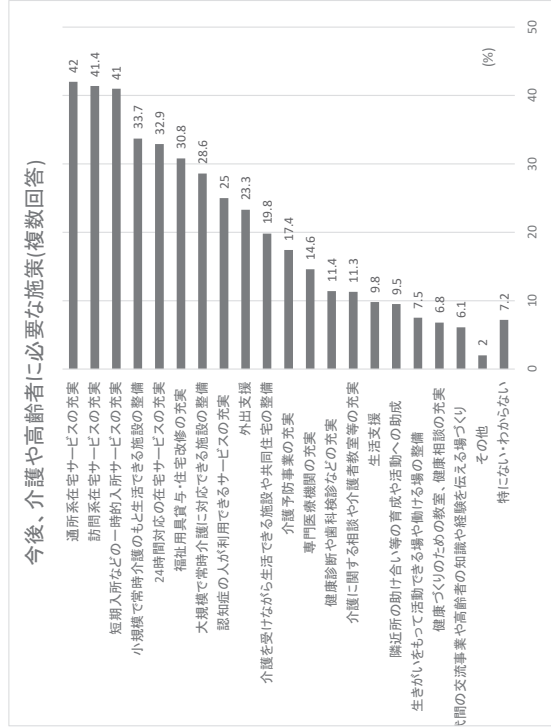


問56 今後の介護保険料に対する考え

	人数	割合
N=983		
現在の介護保険サービスを維持・充実するために、介護保険料が高くなってもやむを得ない(仕方ない)	296	30.1%
介護保険サービスが削減されても、介護保険料は高くない方がいい	147	15.0%
公費負担や現役世代の負担を増やして、高齢者の介護保険料は高くないようにする方がいい	199	20.2%
わからない	226	23.0%
無回答	115	11.7%

問57 今後、介護や高齢者に必要な施策(複数回答)

	人数	割合
N=983		
自宅での生活が継続できるよう、通所介護(デイサービス)・通所リハビリ(デイケア)など通所系在宅サービスの充実	413	42.0%
自宅での生活が継続できるよう、訪問介護・訪問看護・訪問リハビリなど訪問系在宅サービスの充実	407	41.4%
自宅での生活が継続できるよう、短期入所(ショートステイ)などの時的入所サービスの充実	403	41.0%
29人以下の特別養護老人ホームや認知症グループホームなど、小規模で家庭的な雰囲気の中で常時介護のもと生活できる施設の整備	331	33.7%
自宅での生活が継続できるよう、24時間対応の在宅サービス(訪問介護・看護)の充実	323	32.9%
自宅での生活が継続できるよう、福祉用具貸与・住宅改修の充実	303	30.8%
特別養護老人ホーム・介護老人保健施設など、大規模で常時介護に対応できる施設の整備	281	28.6%
認知症の人が利用できるサービスの充実	246	25.0%
外出支援(公共交通機関を利用する際の助成、移送サービスなど)	229	23.3%
介護予防(寝たきり予防、認知症予防など)事業の充実	195	19.8%
認知症疾患医療センター等の専門医療機関の充実	171	17.4%
健康診断や歯科検診などの充実	144	14.6%
介護に関する相談(土日を含む)や介護者教室、介護者の集いの場の充実	112	11.4%
生活支援	96	9.8%
隣近所の助け合いやボランティア活動の育成や活動への助成	93	9.5%
生きがいをもって活動できる場や働ける場の整備	74	7.5%
健康づくりのための教室、健康相談の充実	67	6.8%
世代間の交流事業や高齢者の知識や経験を伝える場づくり	60	6.1%
その他	20	2.0%
特になし・わからない	71	7.2%
無回答	126	12.8%



#### 問58 介護保険サービスの利用意向

N=983		利用したい	利用したくない	わからない	無回答
人数	246	39	519	179	
割合	25.0%	4.0%	52.8%	18.2%	
①在宅系介護高齢者の生活を支えるため、ヘルパーや看護士が日中、夜間を通じて定期的に巡回訪問したり、利用者、家族からの通報により即時対応するサービス(サービス名:定期巡回・随時対応型訪問介護看護)					
人数	191	33	560	199	
割合	19.4%	3.4%	57.0%	20.2%	
②医療ニーズのたかい高齢者に対応するため、1つの事業所で小規模多機能型居宅介護のサービスに加え、必要に応じて訪問看護が一体的に提供されるサービス(サービス名:看護小規模多機能型居宅介護)					

#### 介護者の状況について

##### 問59 介護をしている人の人数

N=627	1人(この調査票のあて名ご本人のみ)	2人以上の介護をしている	無回答
人数	493	68	66
割合	78.6%	10.8%	10.5%

##### 問60 主な介護者の現在の勤務形態

N=627	フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	働いていない	無回答
人数	158	126	273	70
割合	25.2%	20.1%	43.5%	11.2%

##### 問60-1(問61「フルタイム」「パートタイム」の方のみ)主な介護・介助者の現在の勤務形態

N=284		人数	割合
会社員		123	43.3%
公務員、団体職員		44	15.5%
農林漁業		13	4.6%
自営業、フリーランス、自由業		50	17.6%
内職		0	0.0%
その他		30	10.6%
無回答		18	6.3%

##### 問60-2(問60「フルタイム」「パートタイム」の方のみ)

N=284		人数	割合
介護・介助をするにあたっての働き方についての調整等(複数回答)			
介護・介助のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている		110	38.7%
介護・介助のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている		80	28.2%
介護・介助のために、上記以外の調整をしながら、働いている		60	21.1%
介護・介助のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている		10	3.5%
特に行っていない		61	21.5%
無回答		15	5.3%

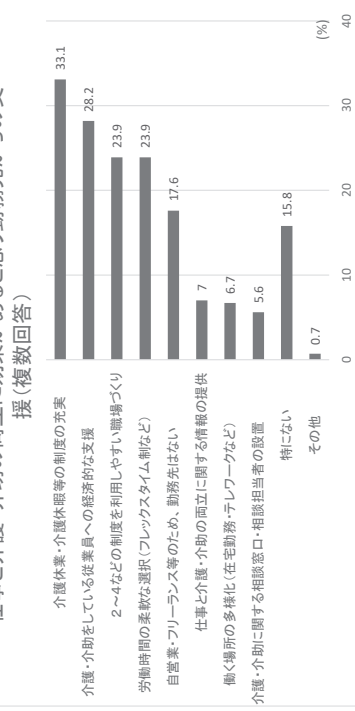


問60-3(問60「フルタイム」「パートタイム」「パートタイム」の方のみ)

仕事と介護・介助の両立に効果があると思う勤務先からの支援(複数回答)

	人数	割合
N=284		
介護休業・介護休暇等の制度の充実	94	33.1%
介護・介助をしている従業員への経済的な支援	80	28.2%
制度を利用しやすい職場づくり	68	23.9%
労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)	68	23.9%
自営業・フリーランス等のため、勤務先はない	50	17.6%
仕事と介護・介助の両立に関する情報の提供	19	6.7%
働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)	16	5.6%
介護・介助に関する相談窓口・相談担当者の設置	45	15.8%
その他	2	0.7%
特になし	14	4.9%
無回答		

仕事と介護・介助の両立に効果があると思う勤務先からの支援(複数回答)



問60-4 今後も働きながら介護・介助を続けていけそうか

	人数	割合
N=284		
問題なく、続けていける	46	16.2%
問題はあるが、何とか続けていける	160	56.3%
続けていくのは、やや難しい	37	13.0%
続けていくのは、かなり難しい	22	7.7%
退職を予定している	4	1.4%
無回答	15	5.3%

問60-5(問60「働いていない」方のみ) 介護を始めた時に就労していたか

	人数	割合
N=273		
していた	100	36.6%
していなかった	153	56.0%
無回答	20	7.3%

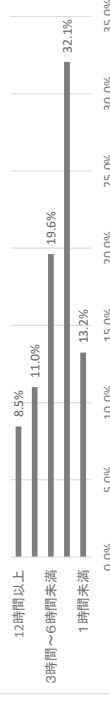
問60-5-1(問60-5「していった」方のみ)働いていないのは、介護のために退職したからか

	人数	割合
N=100		
はい	54	54.0%
いいえ	43	43.0%
無回答	3	3.0%

問61 主な介護・介助者が介護・介助にかけている時間(1日あたり)

	人数	割合
N=627		
1時間未満	83	13.2%
1時間～3時間未満	201	32.1%
3時間～6時間未満	123	19.6%
6時間～12時間未満	69	11.0%
12時間以上	53	8.5%
無回答	98	15.6%

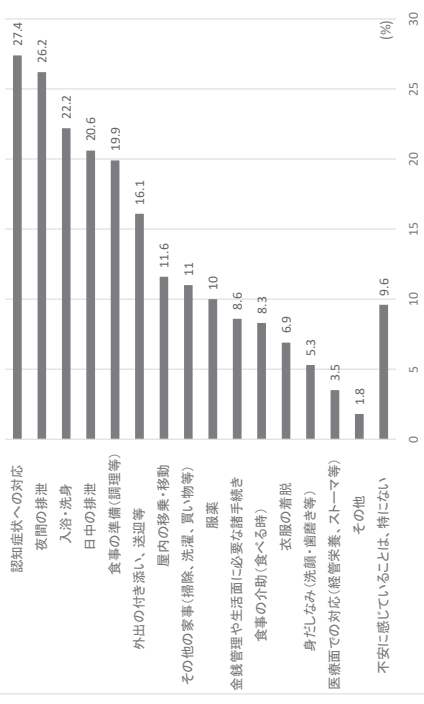
主な介護・介助者が介護・介助にかけている時間(1日あたり)



問62 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護・介助者の方が不安に感じる介護等（複数回答）

	人数	割合
認知症への対応	172	27.4%
夜間の排泄	164	26.2%
入浴・洗身	139	22.2%
日中の排泄	129	20.6%
食事の準備（調理等）	125	19.9%
屋内の移送・移動	101	16.1%
屋外の移送・移動	73	11.6%
その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	69	11.0%
服薬	63	10.0%
金銭管理や生活面に必要な諸手続き	54	8.6%
食事の介助（食べる時）	52	8.3%
衣服の着脱	43	6.9%
身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	33	5.3%
医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	22	3.5%
その他	11	1.8%
不安に感じていることは、特にない	60	9.6%
無回答	61	9.7%

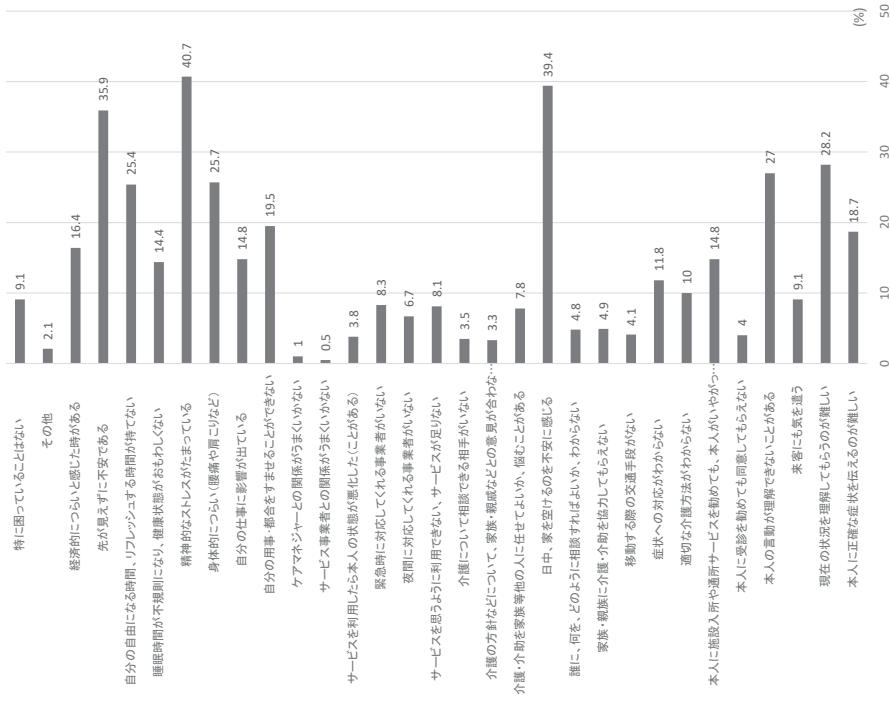
現在の生活を継続していくにあたって、主な介護・介助者が不安に感じる介護等（複数回答、3つまで）



問63 主な介護者の方が介護する上で困っていること（複数回答）

	人数	割合
【意思疎通について】		
本人に正確な症状を伝えるのが難しい	117	18.7%
現在の状況を理解してもらえない	177	28.2%
来客にも気を遣う	57	9.1%
本人の言動が理解できないことがある	169	27.0%
本人に受診を勧めても同意してもらえない	25	4.0%
本人に施設入所や通所サービスを利用しない	93	14.8%
【介護の仕方について】		
適切な介護方法がわからない	63	10.0%
症状への対応がわからない	74	11.8%
移動する際の交通手段がない	26	4.1%
家族・親族に介護・介助を協力してもらえない	31	4.9%
誰に、何を、どのように相談すればよいか、わからない	30	4.8%
日中、家を空けるのを不安に感じる	247	39.4%
介護・介助を家族等他の人に任せてよいか、悩むことがある	49	7.8%
介護の方針などについて、家族・親戚などの意見が合わない・理解が得られない	21	3.3%
介護について相談できる相手がいない	22	3.5%
【サービス利用について】		
サービスを思うように利用できない、サービスが足りない	51	8.1%
夜間に預かってくれる事業者がない	42	6.7%
緊急時に対応してくれる事業者がない	52	8.3%
サービスを利用したら本人の状態が悪化した（ことがある）	24	3.8%
サービス事業者との関係がうまくいかない	3	0.5%
ケアマネジャーとの関係がうまくいかない	6	1.0%
【介護・介助者ご自身のことについて】		
自分の用事・都合をうまくできない	122	19.5%
自分の仕事に影響が出ている	93	14.8%
身体的につらい（腰痛や肩こりなど）	161	25.7%
精神的なストレスがたまっている	255	40.7%
睡眠時間が不規則になり、健康状態がよわくない	90	14.4%
自分の自由になる時間、リフレッシュする時間が持てない	159	25.4%
先々のことを考える余裕がない	225	35.9%
経済的につらいと感じたときがある	103	16.4%
その他	13	2.1%
特に困っていることはない	57	9.1%
無回答	73	11.6%

主な介護・介助の方が介護・介助するうえで困っていること(複数回答)



※高齢者実態調査は、介護保険事業（支援）計画策定の基礎資料とするために3年ごとに行っている調査で、県統一の調査項目。そこに伊那市独自の調査項目を追加して実施した。（割合でのまとめ、単位は％）

今回(R4.11月実施)

対象者 元気高齢者：対象者数 1, 152 回収 836 回収率72.6％  
 居宅要介護・要支援認定者：対象者数1, 568 回収1, 032 回収率65.8％  
 前回 (R元.11月実施)  
 対象者 元気高齢者：対象者数 264 回収 193 回収率73.1％  
 居宅要介護・要支援認定者：対象者数2, 168 回収1, 427 回収率65.8％

1 人生の最後を迎えたい場所はどこですか。

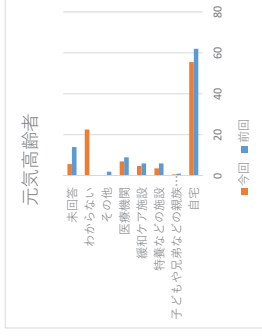
元気高齢者

	前回	今回
自宅	62	55.5
子どもや兄弟などの親族の家	1	0.6
特養などの施設	6	3.6
緩和ケア施設	6	4.8
医療機関	9	7
その他	2	0.2
わからない	—	22.6
未回答	14	5.7

居宅要介護・要支援認定者

	前回	今回
自宅	60	58.8
子どもや兄弟などの親族の家	1	0.8
特養などの施設	6	4.7
緩和ケア施設	3	1.3
医療機関	9	4.5
その他	3	0.5
わからない	—	15.3
未回答	18	4.2

1 人生の最後を迎えたい場所はどこですか。



2 あなたの病気が治る見込みがなく、死期が近くなってきた場合、延命治療を望みますか。

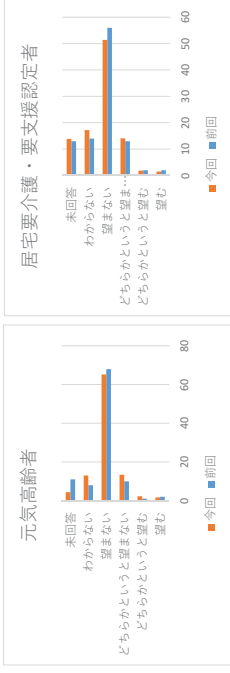
元気高齢者

	前回	今回
望む	2	1.7
どちらかという望む	1	2.3
どちらかという望まない	10	13.4
望まない	68	65.2
わからない	8	13
未回答	11	4.4

居宅要介護・要支援認定者

	前回	今回
望む	2	1.5
どちらかという望む	2	1.9
どちらかという望まない	13	14.1
望まない	56	51.4
わからない	14	17.2
未回答	13	13.9

2 あなたの病気が治る見込みがなく、死期が近くなってきた場合、延命治療を望みますか。



3 人生の最期をどのように迎えたいか家族と話し合ったことがありますか。

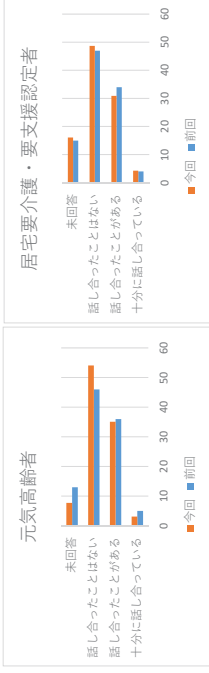
元気高齢者

	前回	今回
十分に話し合っている	5	3.1
話し合ったことがある	36	35.1
話し合ったことはない	46	54.1
未回答	13	7.7

居宅要介護・要支援認定者

	前回	今回
十分に話し合っている	4	4.3
話し合ったことがある	34	30.9
話し合ったことはない	47	48.7
未回答	15	16.1

3 人生の最期をどのように迎えたいか家族と話し合ったことがありますか。



4 エンディングノート等により自分の意思を書面に残しておきたいですか

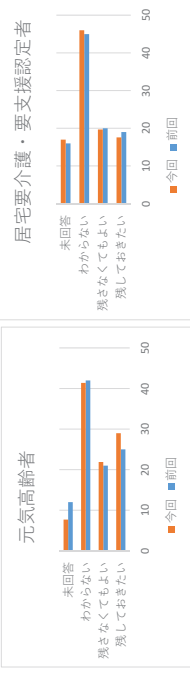
元気高齢者

	前回	今回
残しておきたい	25	29
残さなくてもよい	21	21.9
わからない	42	41.4
未回答	12	7.7

居宅要介護・要支援認定者

	前回	今回
残しておきたい	19	17.6
残さなくてもよい	20	19.7
わからない	45	46
未回答	16	17

4 エンディングノート等により自分の意思を書面に残しておきたいですか



5 今の医療体制への安心感

元気高齢者

10点：とても安心 0点：とても不安

	前回	今回
10点	4.7	2.3
9点	1	0.6
8点	6.7	6.4
7点	6.2	8.3
6点	6.2	10
5点	33.2	31.9
4点	6.7	9.4
3点	10.9	12.6
2点	2.1	3.9
1点	3.1	3
0点	4.7	5
未回答	14.5	6.6

居宅要介護・要支援認定者

10点：とても安心 0点：とても不安

	前回	今回
10点	3.7	2.9
9点	1.9	1.6
8点	7.4	7.1
7点	7.9	5.7
6点	28.5	33.9
5点	5.9	7.2
4点	8.3	8.9
3点	2.9	3.3
2点	3.3	3.8
1点	5.6	3.9
0点	16.7	1.6
未回答		

6 自分ノートについて

	元気高齢者	居宅要介護・要支援認定者
自分ノートを知らない	43.3	37.3
知っているが持っていない	19	10.8
持っているが記入していない	6	7
持っていて記入してある	0.4	1
記入し内容について家族や支援者へ話をした	0.2	0.4
他のエンディングノートを使用している	2.8	1.5
今後欲しいと思っている	10.2	7.9
興味はない	9.9	16.2
未回答	8.3	18.1

7 在宅医療や介護を受けることになった場合、特に心配に思うことは何ですか。(複数回答可)

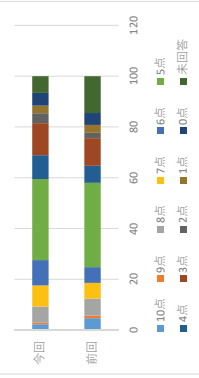
元気高齢者のみに調査

	前回	今回
自宅で見送ることができる医療の内容	38.3	37
自宅に訪問してくれる医師・看護師等の体制	40.9	37.5
急に病状が変わった時の対応	34.2	37.5
自宅で痛みや呼吸器などの症状コントロールが可能かどうか	21.2	17.1
在宅で暮らす場合は、1つでも相談のつてもらえる窓口の確保	30.1	31.5
自宅で受けることができる介護サービスの内容	36.8	34.6
介護してくれる家族の有無	21.8	20.7
介護してくれる家族の精神的・身体的負担の有無	33.7	34.5
介護できる距離や、トイレなどの居住環境	16.6	19.7
経済的な負担	34.7	38.8
その他	1.6	1.2
特になし	—	7.6
無回答	18.7	—

5 今の医療体制への安心感

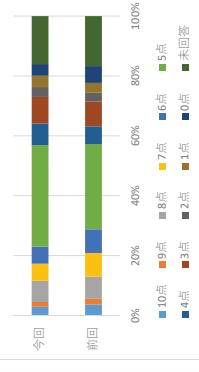
元気高齢者

10点：とても安心 0点：とても不安

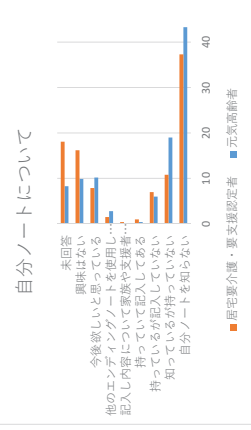


居宅要介護・要支援認定者

10点：とても安心 0点：とても不安



6 自分ノートについて



配布数

R2年度800、R3年度500、R4年度650

合計1,950冊配布

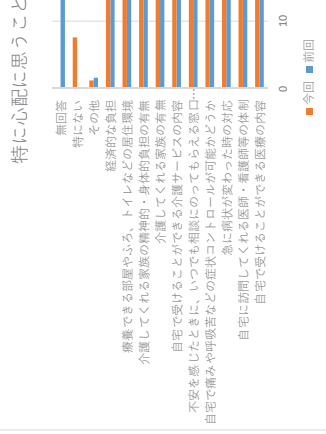
伊那市の高齢者人口

21,078人 (R5.4.1現在)

配布率 1,950/21,078 = 9.3%

概ね配布率と知名度は一致している。

7 在宅医療や介護を受けることになった場合、特に心配に思うことは何ですか。(複数回答可)



### 3 認知症と寝たきり高齢者

#### (1) 認知症高齢者の日常生活自立度判定基準

ランク	判断基準		見られる症状・行動の例
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。		
II a	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難	家庭外で上記IIの状態がみられる。	たびたび道に迷うとか、買物や事務、金銭管理などそれまでできたことにミスが目立つ等
II b	さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。	家庭内でも上記IIの状態が見られる。	服薬管理ができない、電話の応対や訪問者との対応など一人で留守番ができない等
III a	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。	日中を中心として上記IIIの状態が見られる。	着替え、食事、排便、排尿が上手にできない、時間がかかる。 やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声・奇声をあげる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等
III b		夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。	ランクIII aに同じ
IV	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。		ランクIIIに同じ
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。		せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態等

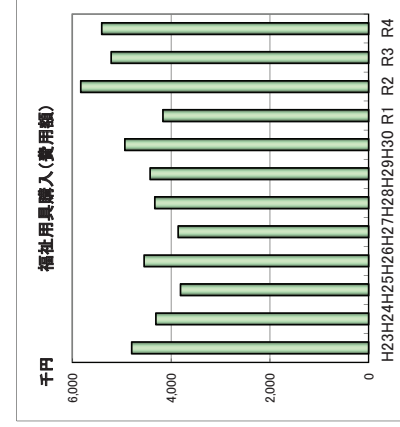
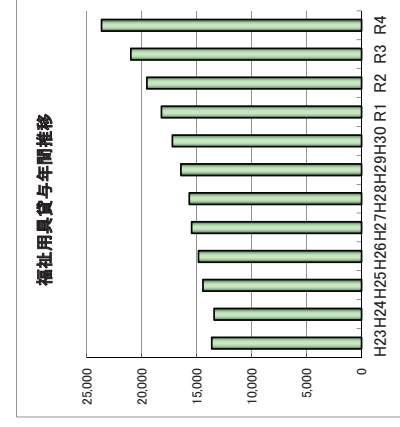
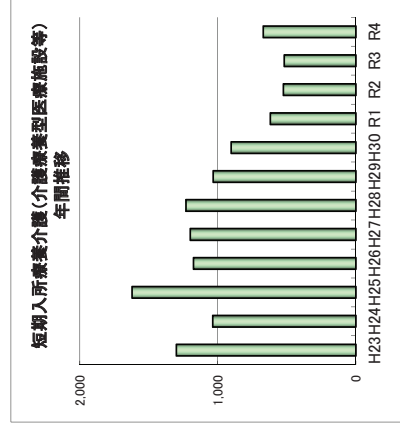
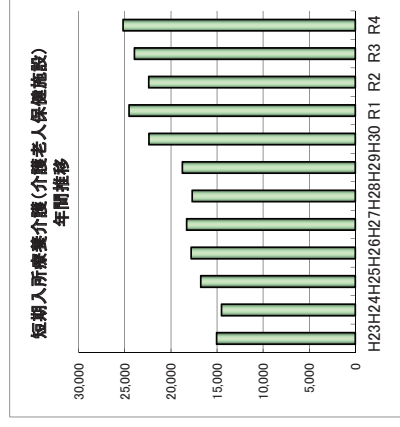
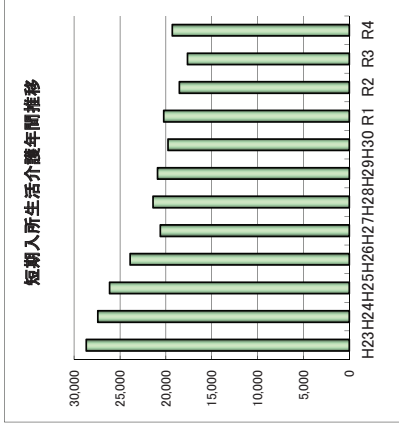
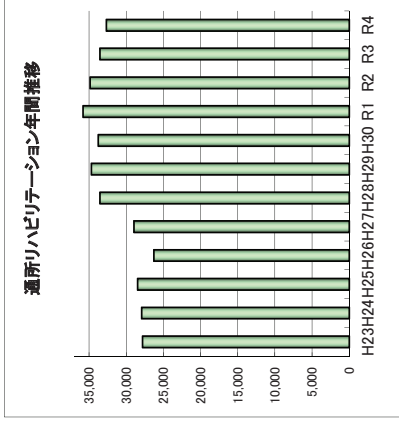
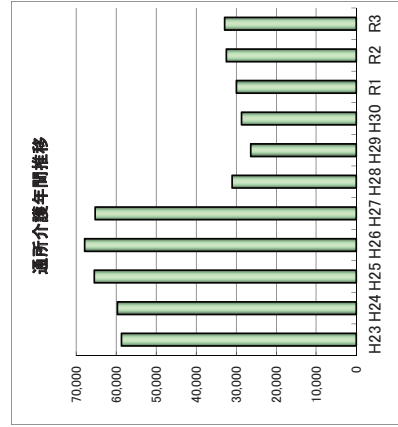
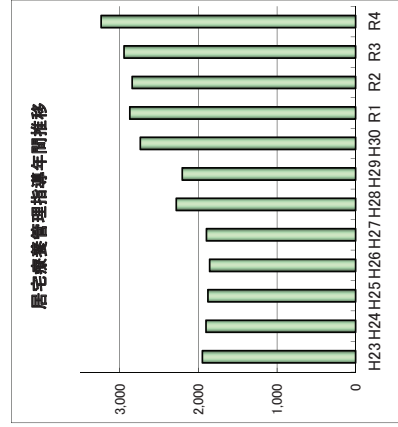
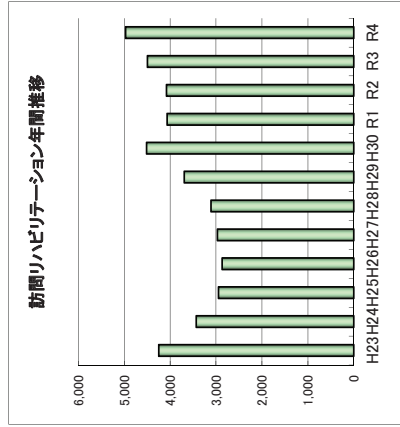
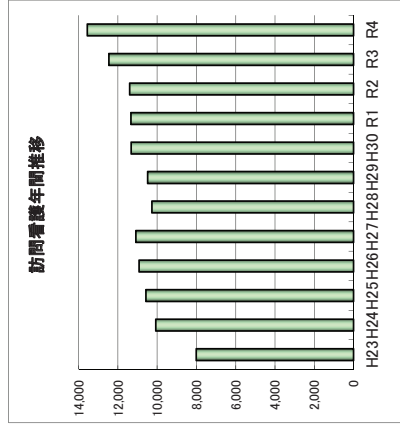
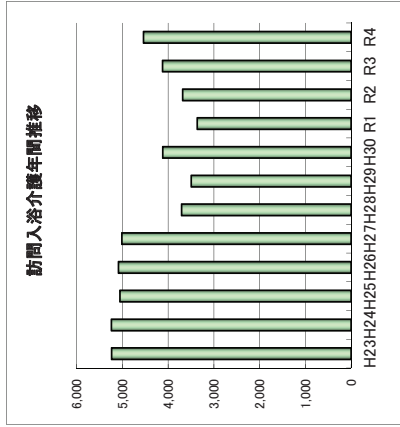
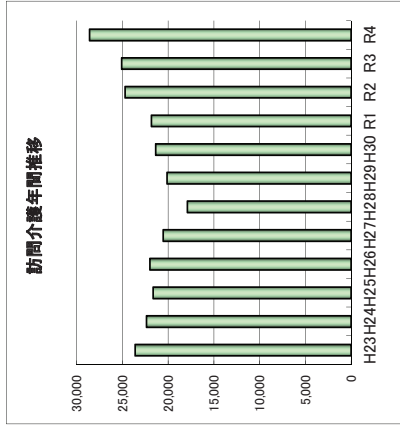
#### (2) 障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）判定基準

生活自立	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する	J 1	交通機関等を利用して外出する
		J 2	隣近所へなら外出する
準寝たきり	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない	A 1	介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する
		A 2	外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている
寝たきり	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ	B 1	車いすに移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う
		B 2	介助により車いすに移乗する
	1日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えにおいて介助を要する	C 1	自力で寝返りをうつ
		C 2	自力では寝返りもうてない

各種サービスの利用実績の推移 (単位数)

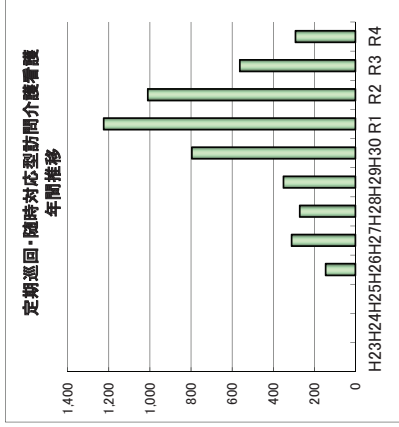
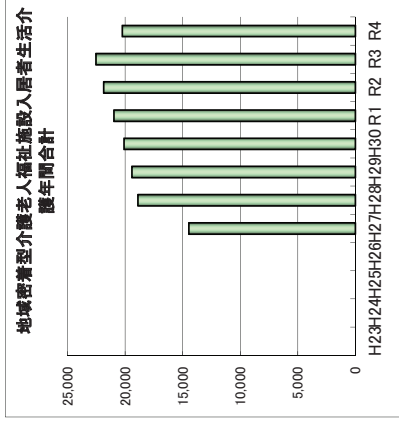
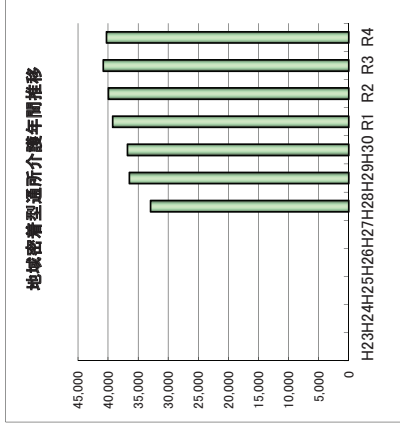
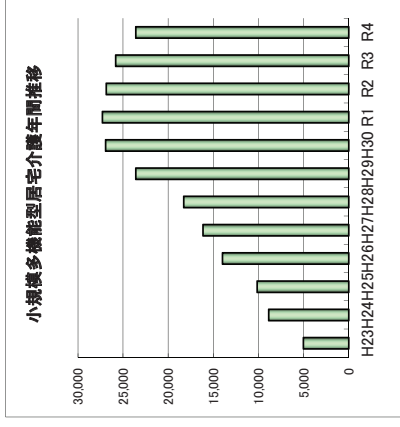
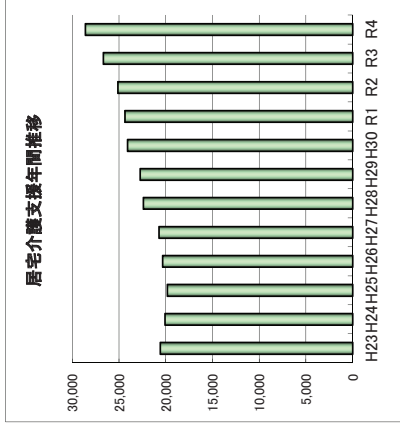
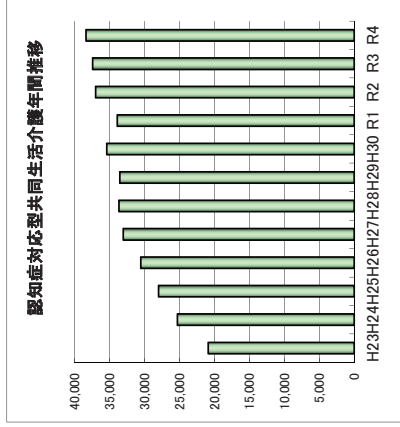
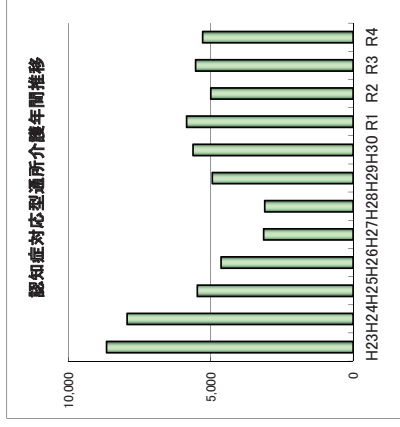
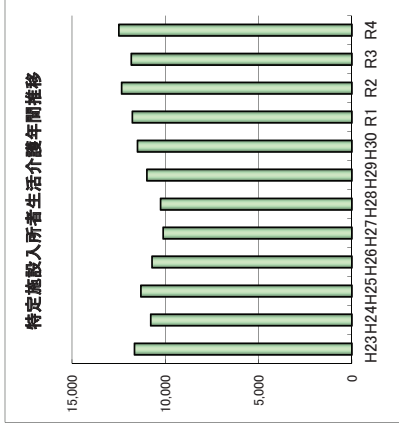
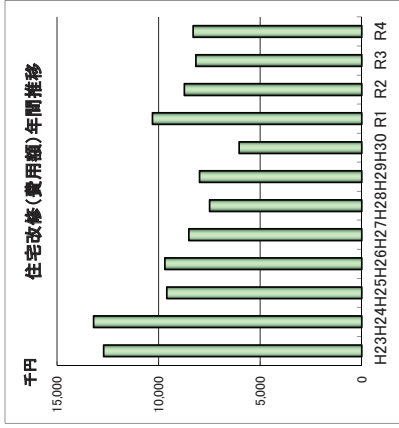
【居宅サービス】

単位:千点(1点=10円)



【地域密着型サービス】

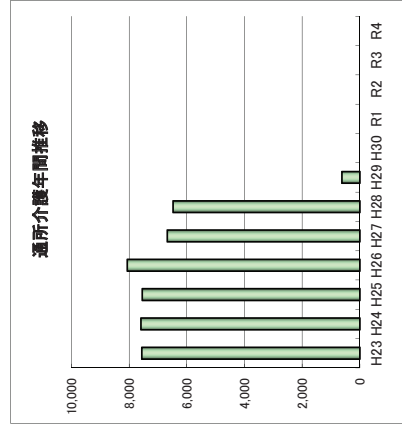
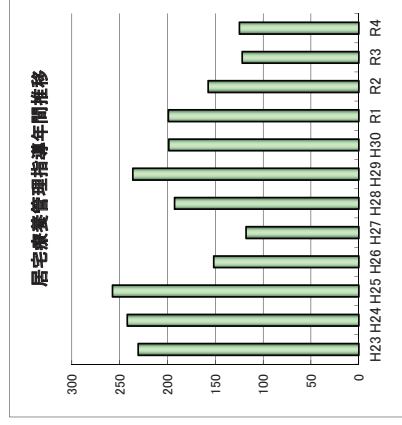
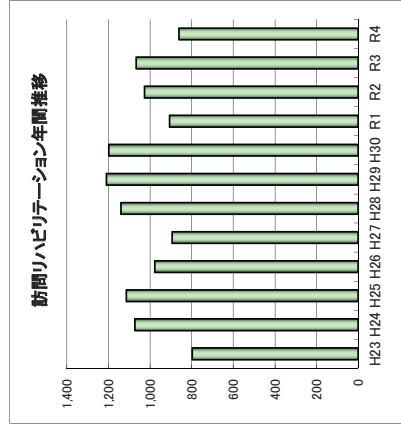
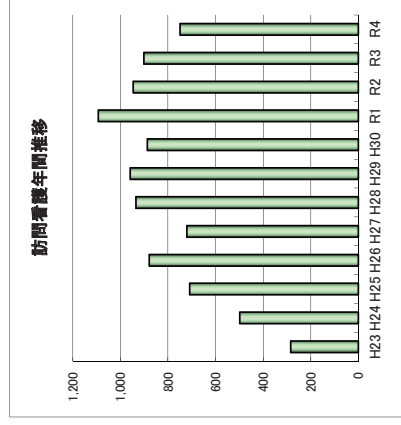
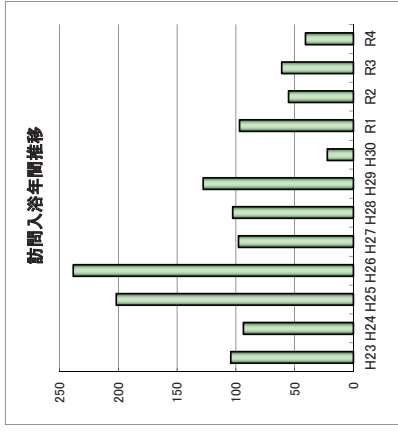
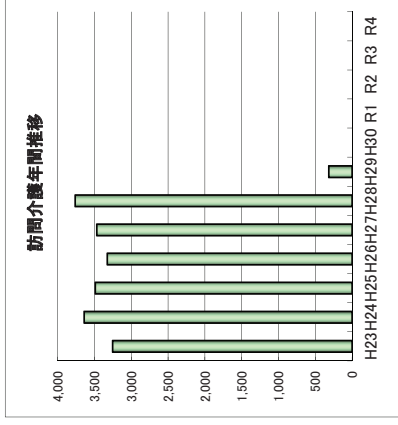
単位：千点（1点＝10円）



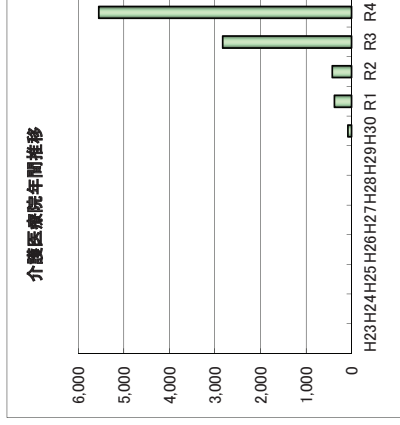
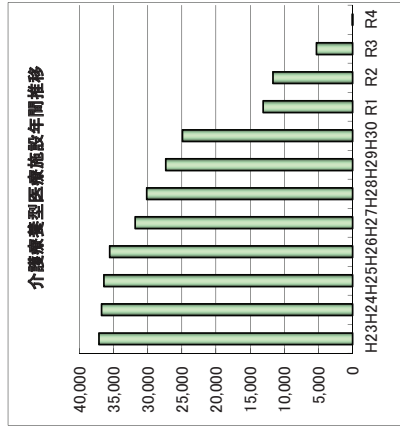
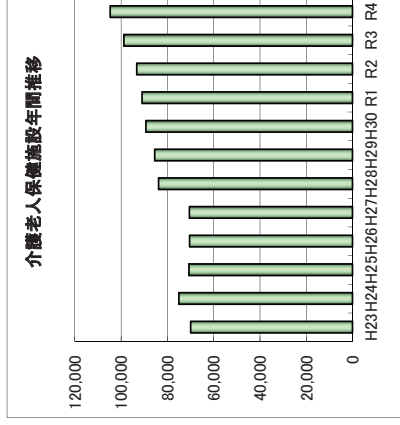
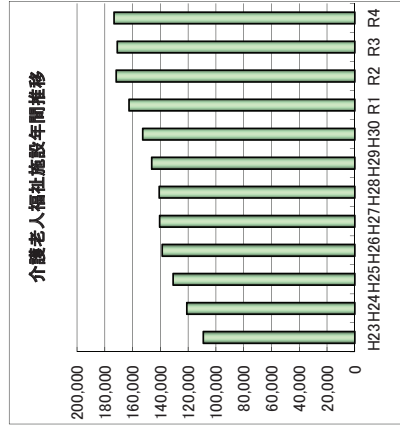


【介護予防サービス】

単位：千点（1点＝10円）

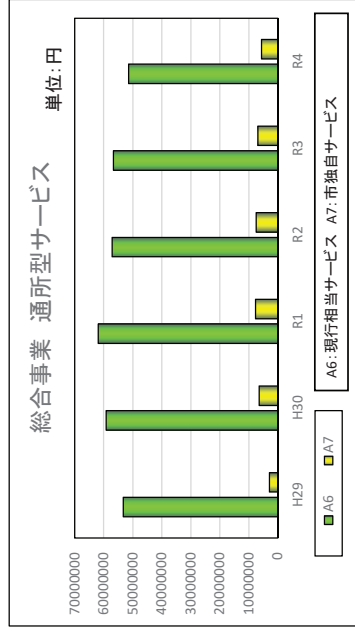
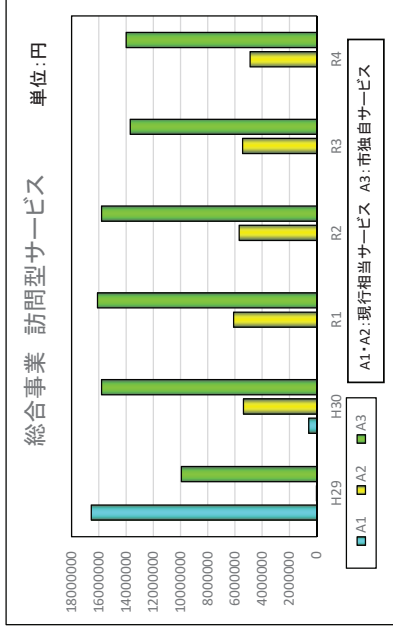
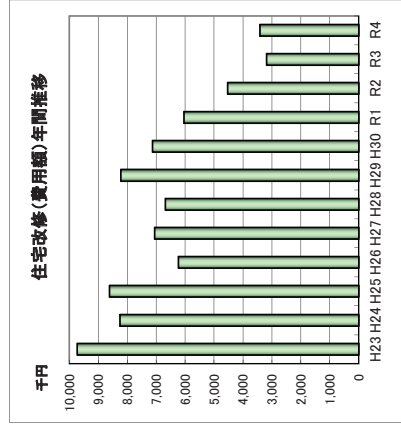
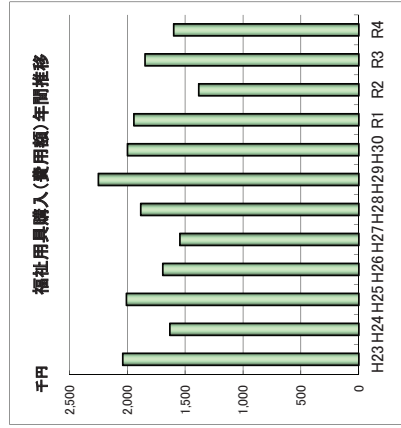
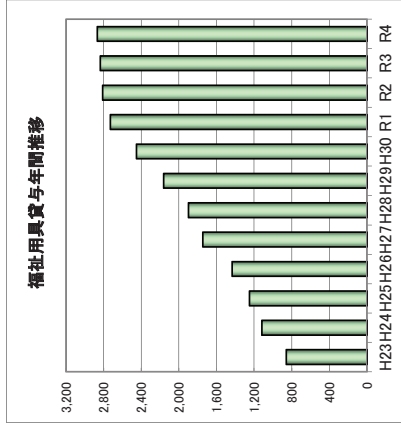
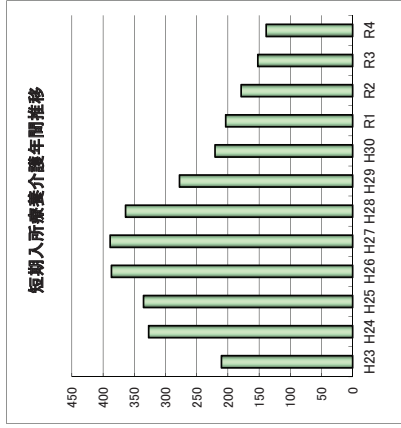
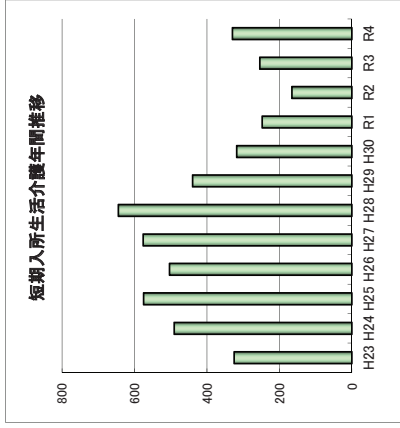
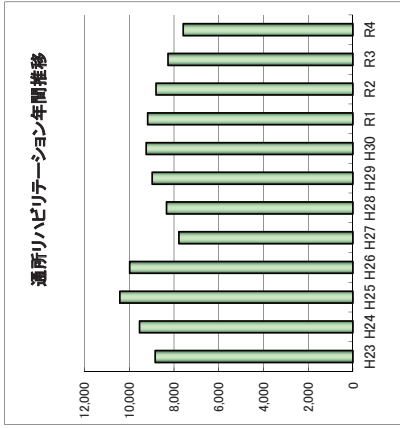


単位：千点（1点＝10円）



【施設サービス】

【介護予防・日常生活支援サービス事業】



介護保険特別会計経理決算書

(2020年(令和2年)度)

介護保険特別会計

保険者名 : 伊那市

(1) 保険事業及び地域支援事業

(単位 : 円)

歳 入		歳 出		
科 目	決算額	科 目	決算額	
保険料	介護保険料 1,366,767,430	総務費	104,351,360	
分担金及び負担金	認定審査会負担金 0	保険給付費	介護サービス等諸費 3,150,058,716	
	その他 0		合計	施設サービス費 2,484,252,032
手数料	督促手数料 168,378	6,205,749,954	介護予防サービス等諸費 165,310,978	
国庫支出金	介護給付費負担金(20%.15%) 1,122,462,227		高額介護サービス等費 131,189,748	
合計	調整交付金 388,633,000		高額医療合算介護サービス等費 17,374,218	
	地域支援事業交付金(25%) (介護予防・日常生活支援総合事業) 46,726,000		特定入所者介護サービス等費 252,394,722	
	地域支援事業交付金(39%) (包括的支援事業・任意事業) 58,572,098		審査支払手数料 5,169,540	
	保険者機能強化推進交付金 8,458,000		市町村特別給付費 0	
	介護保険者努力支援交付金 7,091,000		その他 0	
	その他 2,983,000			
支払基金交付金合計	介護給付費交付金(28%) 1,680,568,000		地域支援事業	介護予防・生活支援サービス事業費 98,074,895
	介護給付費交付金(過年度) 7,825,622		合計	一般介護予防事業費 71,389,214
	地域支援事業支援交付金(予防28%) 47,602,000	包括的支援事業・任意事業 173,901,034		
	地域支援事業支援交付金(過年度) 0	その他 0		
都道府県支出金合計	都道府県負担金(12.5%.17.5%) 926,902,833	財政安定化基金拠出金 0		
991,195,292	財政安定基金支出金 0	保健福祉事業費 0		
	地域支援事業交付金(12.5%) (介護予防・日常生活支援総合事業) 22,675,625	基金積立金 13,372,000		
	地域支援事業交付金(19.5%) (包括的支援事業・任意事業) 29,684,269	公債費	財政安定化基金償還金 0	
	その他(給付費負担金過年度分) 11,932,565	その他 0		
相互財政安定化事業交付金 0	予備費 0			
財産収入(基金利息) 391,000	諸支出金	介護サービス事業勘定繰出金 0		
寄付金 0		他会計繰出金 0		
繰入金	一般会計繰入金(12.5%) 775,372,087	その他 31,013,868		
	合計	総務費に係る一般会計繰入金 103,132,852		
988,226,598	介護給付費準備基金繰入 0			
	介護サービス事業勘定繰入金 0			
	地域支援事業繰入金(12.5%) (介護予防・日常生活支援総合事業) 20,414,801			
	地域支援事業繰入金(19.5%) (包括的支援事業・任意事業) 27,397,898			
	低所得者保険料軽減繰入金 61,908,960			
	その他			
繰越金	前年度繰越金 73,731,860			
市町村債	財政安定化基金貸付金 0			
	その他 0			
諸収入	雑入(コピー代・延滞金・第三者) 3,194,772			
	40,852,232 雑入(地域支援事業参加費等) 37,657,460			
合 計 6,832,253,737		合 計 6,697,852,325		

歳入歳出差引残額 134,401,412

R1年度末介護給付費準備基金保有額	241,336,029
R2年度介護給付費準備基金取崩額	0
R2年度介護給付費準備基金積立額	13,372,000
R2年度末介護給付費準備基金保有額	254,708,029
差引増減	13,372,000

介護保険特別会計経理決算書

(2021年(令和3年)度)

介護保険特別会計

保険者名 : 伊那市

(1) 保険事業及び地域支援事業

(単位 : 円)

歳 入		歳 出	
科 目	決算額	科 目	決算額
保険料	介護保険料 1,370,532,280	総務費	99,728,899
分担金及び負担金	認定審査会負担金 0	保険給付費	介護サービス等諸費 3,249,921,137
	その他 0		合計
手数料	督促手数料 138,900	6,269,751,449	介護予防サービス等諸費 162,244,624
国庫支出金	介護給付費負担金(20%.15%) 1,144,931,434		高額介護サービス等費 134,009,329
合計	調整交付金 439,670,000		高額医療合算介護サービス等費 16,585,404
	地域支援事業交付金(25%) (介護予防・日常生活支援総合事業) 49,516,264		特定入所者介護サービス等費 209,359,481
	地域支援事業交付金(39%) (包括的支援事業・任意事業) 73,720,185		審査支払手数料 5,220,406
	保険者機能強化推進交付金 8,585,000		市町村特別給付費 0
	介護保険者努力支援交付金 7,387,000		その他 0
	その他 1,188,000		
支払基金交付金合計	介護給付費交付金(28%) 1,697,871,000		地域支援事業
1,747,390,000	介護給付費交付金(過年度) 0	合計	一般介護予防事業費 73,425,856
	地域支援事業支援交付金(予防28%) 49,519,000		包括的支援事業・任意事業 159,786,141
	地域支援事業支援交付金(過年度) 0		その他 0
都道府県支出金合計	都道府県負担金(12.5%.17.5%) 881,662,000	財政安定化基金拠出金	0
	財政安定基金支出金 0	保健福祉事業費	0
	地域支援事業交付金(12.5%) (介護予防・日常生活支援総合事業) 22,463,915	基金積立金	81,330,616
	地域支援事業交付金(19.5%) (包括的支援事業・任意事業) 36,860,092	公債費	財政安定化基金償還金 0
940,986,007	その他(給付費負担金過年度分) 0	その他	0
	相互財政安定化事業交付金 0	予備費	0
財産収入(基金利息)	392,000	諸支出金	介護サービス事業勘定繰出金 0
寄付金	0		他会計繰出金 0
繰入金	一般会計繰入金(12.5%) 783,639,501		その他 57,072,236
	合計	総務費に係る一般会計繰入金 98,302,929	
988,896,626	介護給付費準備基金繰入 0		
	介護サービス事業勘定繰入金 0		
	地域支援事業繰入金(12.5%) (介護予防・日常生活支援総合事業) 20,835,397		
	地域支援事業繰入金(19.5%) (包括的支援事業・任意事業) 23,686,969		
	低所得者保険料軽減繰入金 62,431,830		
	その他		
繰越金	前年度繰越金 134,401,412		
市町村債	財政安定化基金貸付金 0		
	その他 0		
諸収入	雑入(コピー代・延滞金・第三者) 884,265		
	雑入(地域支援事業参加費等) 38,136,460		
39,020,725			
合 計	6,946,755,833	合 計	6,835,774,521

歳入歳出差引残額 110,981,312

R2年度末介護給付費準備基金保有額	254,708,029
R3年度介護給付費準備基金取崩額	0
R3年度介護給付費準備基金積立額	81,330,616
R3年度末介護給付費準備基金保有額	336,038,645
差引増減	81,330,616

介護保険特別会計経理決算書  
(2022年(令和4年)度)

介護保険特別会計

保険者名 : 伊那市

(1) 保険事業及び地域支援事業

(単位 : 円)

歳入		歳出	
科目	決算額	科目	決算額
保険料	介護保険料 1,371,732,758	総務費	105,747,982
分担金及び負担金	認定審査会負担金 0	保険給付費	介護サービス等諸費 3,376,316,274
	その他 0		合計
手数料	督促手数料 114,750	6,402,857,792	介護予防サービス等諸費 151,843,356
国庫支出金	介護給付費負担金(20%.15%) 1,183,030,421		給付費
合計	調整交付金 440,914,000	6,245,782,443	高額医療合算介護サービス等費 16,124,417
	地域支援事業交付金(25%) (介護予防・日常生活支援総合事業) 44,253,694		その他
	地域支援事業交付金(39%) (包括的支援事業・任意事業) 15,590,960	審査支払手数料 5,779,120	
	保険者機能強化推進交付金 12,500,000	市町村特別給付費 0	
	介護保険者努力支援交付金 13,071,000	その他 0	
	その他		
	支払基金交付金合計	介護給付費交付金(28%) 1,727,805,000	地域支援事業
1,774,919,000	介護給付費交付金(過年度) 0	合計	一般介護予防事業費 66,757,419
	地域支援事業支援交付金(予防28%) 47,114,000		包括的支援事業・任意事業 47,474,170
	地域支援事業支援交付金(過年度) 0		201,951,290
都道府県支出金合計	都道府県負担金(12.5%.17.5%) 928,761,472	財政安定化基金拠出金	0
	財政安定基金支出金 0	保健福祉事業費	0
	地域支援事業交付金(12.5%) (介護予防・日常生活支援総合事業) 20,779,809	基金積立金	23,859,000
	地域支援事業交付金(19.5%) (包括的支援事業・任意事業) 7,795,480	公債費	財政安定化基金償還金 0
998,482,530	その他(給付費負担金過年度分) 41,145,769	その他	0
	相互財政安定化事業交付金 0	予備費	0
財産収入(基金利息)	524,000	諸支出金	介護サービス事業勘定繰出金 0
寄付金	0		他会計繰出金 24,034,181
繰入金	一般会計繰入金(12.5%) 799,376,279		その他 85,752,162
	合計	総務費に係る一般会計繰入金 105,468,962	
991,702,919	介護給付費準備基金繰入 0		
	介護サービス事業勘定繰入金 0		
	地域支援事業繰入金(12.5%) (介護予防・日常生活支援総合事業) 18,551,396		
	地域支援事業繰入金(19.5%) (包括的支援事業・任意事業) 4,894,322		
	低所得者保険料軽減繰入金 63,411,960		
	その他		
繰越金	前年度繰越金 110,981,312		
市町村債	財政安定化基金貸付金 0		
	その他 0		
諸収入	雑入(コピー代・延滞金・第三者) 7,790,385		
	23,094,485 雑入(地域支援事業参加費等) 14,665,350		
合計	6,980,273,079	合計	6,844,202,407

歳入歳出差引残額 136,070,672

R3年度末介護給付費準備基金保有額	336,038,645
R4年度介護給付費準備基金取崩額	0
R4年度介護給付費準備基金積立額	23,859,000
R4年度末介護給付費準備基金保有額	359,897,645
差引増減	23,859,000

重層的支援体制整備事業交付金	20,520,000
重層的支援体制整備事業交付金(過年度分)	

※一般会計

## 6 介護保険料算定資料

### ① 国が基本的に定める13段階の賦課基準

【所得段階別加入者数・基準額に対する割合】

		所得段階別加入者数										基準額に対する割合
		2024年(令和6年)度		2025年(令和7年)度		2026年(令和8年)度		2030年(令和12年)度		2040年(令和22年)度		
第1段階	生保・老齢福祉年金受給者 世帯非課税・80万以下	1,964人	(9.3%)	1,963人	(9.3%)	1,965人	(9.3%)	1,976人	(9.3%)	2,049人	(9.3%)	0.455
第2段階	世帯非課税・120万以下	1,910人	(9.0%)	1,909人	(9.0%)	1,911人	(9.0%)	1,921人	(9.0%)	1,993人	(9.0%)	0.685
第3段階	世帯非課税・120万超	1,909人	(9.0%)	1,908人	(9.0%)	1,910人	(9.0%)	1,920人	(9.0%)	1,992人	(9.0%)	0.69
第4段階	本人非課税・80万以下	1,518人	(7.2%)	1,517人	(7.2%)	1,519人	(7.2%)	1,527人	(7.2%)	1,583人	(7.2%)	0.90
第5段階	本人非課税・80万超	4,306人	(20.3%)	4,302人	(20.3%)	4,310人	(20.3%)	4,331人	(20.3%)	4,493人	(20.3%)	1.00
第6段階	本人課税・125万未満	4,177人	(19.7%)	4,174人	(19.7%)	4,180人	(19.7%)	4,202人	(19.7%)	4,358人	(19.7%)	1.20
第7段階	本人課税・210万未満	2,885人	(13.6%)	2,884人	(13.6%)	2,888人	(13.6%)	2,903人	(13.6%)	3,010人	(13.6%)	1.30
第8段階	本人課税・320万未満	1,327人	(6.3%)	1,326人	(6.3%)	1,328人	(6.3%)	1,334人	(6.3%)	1,384人	(6.3%)	1.50
第9段階	本人課税・420万未満	486人	(2.3%)	486人	(2.3%)	487人	(2.3%)	489人	(2.3%)	507人	(2.3%)	1.70
第10段階	本人課税・520万未満	212人	(1.0%)	212人	(1.0%)	212人	(1.0%)	213人	(1.0%)	221人	(1.0%)	1.90
第11段階	本人課税・620万未満	101人	(0.5%)	101人	(0.5%)	101人	(0.5%)	102人	(0.5%)	105人	(0.5%)	2.10
第12段階	本人課税・720万未満	87人	(0.4%)	87人	(0.4%)	87人	(0.4%)	88人	(0.4%)	91人	(0.4%)	2.30
第13段階	本人課税・720万以上	282人	(1.3%)	282人	(1.3%)	283人	(1.3%)	284人	(1.3%)	295人	(1.3%)	2.40
計		21,164人	(100.0%)	21,151人	(100.0%)	21,181人	(100.0%)	21,290人	(100.0%)	22,081人	(100.0%)	

### ② 低所得者の負担軽減を図るため伊那市が行う13段階の賦課

【保険料基準額に対する割合の弾力化】

		所得段階別加入者数										基準額に対する割合
		2024年(令和6年)度		2025年(令和7年)度		2026年(令和8年)度		2030年(令和12年)度		2040年(令和22年)度		
第1段階	生保・老齢福祉年金受給者 世帯非課税・80万以下	1,964人	(9.3%)	1,963人	(9.3%)	1,965人	(9.3%)	1,976人	(9.3%)	2,049人	(9.3%)	0.42
第2段階	世帯非課税・120万以下	1,910人	(9.0%)	1,909人	(9.0%)	1,911人	(9.0%)	1,921人	(9.0%)	1,993人	(9.0%)	0.55
第3段階	世帯非課税・120万超	1,909人	(9.0%)	1,908人	(9.0%)	1,910人	(9.0%)	1,920人	(9.0%)	1,992人	(9.0%)	0.655
第4段階	本人非課税・80万以下	1,518人	(7.2%)	1,517人	(7.2%)	1,519人	(7.2%)	1,527人	(7.2%)	1,583人	(7.2%)	0.90
第5段階	本人非課税・80万超	4,306人	(20.3%)	4,302人	(20.3%)	4,310人	(20.3%)	4,331人	(20.3%)	4,493人	(20.3%)	1.00
第6段階	本人課税・125万未満	4,177人	(19.7%)	4,174人	(19.7%)	4,180人	(19.7%)	4,202人	(19.7%)	4,358人	(19.7%)	1.20
第7段階	本人課税・210万未満	2,885人	(13.6%)	2,884人	(13.6%)	2,888人	(13.6%)	2,903人	(13.6%)	3,010人	(13.6%)	1.35
第8段階	本人課税・320万未満	1,327人	(6.3%)	1,326人	(6.3%)	1,328人	(6.3%)	1,334人	(6.3%)	1,384人	(6.3%)	1.50
第9段階	本人課税・420万未満	486人	(2.3%)	486人	(2.3%)	487人	(2.3%)	489人	(2.3%)	507人	(2.3%)	1.70
第10段階	本人課税・520万未満	212人	(1.0%)	212人	(1.0%)	212人	(1.0%)	213人	(1.0%)	221人	(1.0%)	1.90
第11段階	本人課税・620万未満	101人	(0.5%)	101人	(0.5%)	101人	(0.5%)	102人	(0.5%)	105人	(0.5%)	2.10
第12段階	本人課税・720万未満	87人	(0.4%)	87人	(0.4%)	87人	(0.4%)	88人	(0.4%)	91人	(0.4%)	2.30
第13段階	本人課税・720万以上	282人	(1.3%)	282人	(1.3%)	283人	(1.3%)	284人	(1.3%)	295人	(1.3%)	2.40
計		21,164人	(100.0%)	21,151人	(100.0%)	21,181人	(100.0%)	21,290人	(100.0%)	22,081人	(100.0%)	

①標準給付費

	2024年(令和6年)度	2025年(令和7年)度	2026年(令和8年)度	小計	2040年(令和22年)度	合計
総給付費	6,442,161,000円	6,551,018,000円	6,627,699,000円	19,620,878,000円	7,765,371,000円	27,386,249,000円
特定入所者介護サービス費等給付額	216,419,411円	218,522,396円	220,398,695円	655,340,502円	255,354,222円	910,694,724円
高額介護サービス費等給付額	138,775,016円	140,147,550円	141,351,710円	420,274,276円	163,454,312円	583,728,588円
高額医療合算介護サービス費等給付額	17,227,298円	17,505,766円	17,708,718円	52,441,782円	20,229,095円	72,670,877円
算定対象審査支払手数料	5,515,910円	5,605,118円	5,670,077円	16,791,105円	6,367,298円	23,158,403円
審査支払手数料支払件数	93,490件	95,002件	96,103件	284,595件	109,781件	394,376件
標準給付費見込額 (A)	6,820,098,635円	6,932,798,830円	7,012,828,200円	20,765,725,665円	8,210,775,927円	28,976,501,592円

②地域支援事業費

地域支援事業費 (B)	335,939,005円	336,552,629円	336,552,629円	1,009,044,263円	333,315,777円	1,342,360,040円
(参考) 保険給付費見込額に対する割合	4.9%	4.9%	4.8%	4.9%	4.1%	4.6%

③第1号被保険者の保険料

	2024年(令和6年)度	2025年(令和7年)度	2026年(令和8年)度	小計	2040年(令和22年)度	合計
第1号被保険者数	21,164人	21,151人	21,181人	63,496人	22,081人	85,577人
前期(65～74歳)	8,809人	8,599人	8,562人	25,970人	9,160人	35,130人
後期(75歳～)	12,355人	12,552人	12,619人	37,526人	12,921人	50,447人
所得段階別加入割合						
第1段階	9.3%	9.3%	9.3%	9.3%	9.3%	9.3%
第2段階	9.0%	9.0%	9.0%	9.0%	9.0%	9.0%
第3段階	9.0%	9.0%	9.0%	9.0%	9.0%	9.0%
第4段階	7.2%	7.2%	7.2%	7.2%	7.2%	7.2%
第5段階	20.3%	20.3%	20.3%	20.3%	20.3%	20.3%
第6段階	19.7%	19.7%	19.7%	19.7%	19.7%	19.7%
第7段階	13.6%	13.6%	13.6%	13.6%	13.6%	13.6%
第8段階	6.3%	6.3%	6.3%	6.3%	6.3%	6.3%
第9段階	2.3%	2.3%	2.3%	2.3%	2.3%	2.3%
第10段階	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%
第11段階	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%
第12段階	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%
第13段階	1.3%	1.3%	1.3%	1.3%	1.3%	1.3%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
所得段階別被保険者数						
第1段階	1,964人	1,963人	1,965人	5,892人	2,049人	7,941人
第2段階	1,910人	1,909人	1,911人	5,730人	1,993人	7,723人
第3段階	1,909人	1,908人	1,910人	5,727人	1,992人	7,719人
第4段階	1,518人	1,517人	1,519人	4,554人	1,583人	6,137人
第5段階	4,306人	4,302人	4,310人	12,918人	4,493人	17,411人
第6段階	4,177人	4,174人	4,180人	12,531人	4,358人	16,889人
第7段階	2,885人	2,884人	2,888人	8,657人	3,010人	11,667人
第8段階	1,327人	1,326人	1,328人	3,981人	1,384人	5,365人
第9段階	486人	486人	487人	1,459人	507人	1,966人
第10段階	212人	212人	212人	636人	221人	857人
第11段階	101人	101人	101人	303人	105人	408人
第12段階	87人	87人	87人	261人	91人	352人
第13段階	282人	282人	283人	847人	295人	1,142人
合計	21,105人	21,141人	21,175人	63,421人	21,520人	84,941人
所得段階別加入割合補正後被保険者数 (C)	22,263人	22,250人	22,283人	66,795人	22,474人	89,269人
第1号被保険者負担分相当額 (D)	1,650,179,640円	1,671,424,157円	1,687,310,483円	5,008,914,279円	2,221,463,843円	7,230,378,122円
調整交付金相当額 (E)	350,666,136円	356,331,827円	360,333,295円	1,067,331,258円	419,870,379円	1,487,201,637円
調整交付金見込交付割合 (H)	6.13%	5.83%	5.59%		5.51%	
後期高齢者加入割合補正係数 (F)	0.9036	0.9158	0.9258		0.9316	
所得段階別加入割合補正係数 (G)	1.0525	1.0525	1.0525		1.0525	
調整交付金見込額 (I)	431,060,000円	415,349,000円	402,112,000円	1,248,521,000円	460,017,000円	1,708,538,000円
財政安定化基金拠出金見込額 (J)				0円	0円	0円
財政安定化基金拠出率				0.000%	0.000%	0.000%
財政安定化基金償還金				0円	0円	0円
準備基金の残高(令和5年度末の見込額)				400,000,000円		
準備基金取崩額				155,000,000円		
財政安定化基金取崩による交付額				0円	0円	0円
保険料収納必要額 (L)				4,416,633,487円	2,081,237,892円	
予定保険料収納率						
保険料の基準額(弾力化を行わない)						
保険料(年額)				66,445円	90,415円	
保険料(月額)				5,537円	7,535円	
保険料基準額に対する弾力化をした場合の保険料額						
所得段階別加入割合補正後被保険者数 (C)				66,048人	22,968人	
保険料(年額)				67,200円	95,785円	
保険料(月額)				5,600円	7,982円	

## 7 伊那市高齢者施策推進協議会

2023年（令和5年）度委員名簿

役職	氏名	選出団体等	備考
会長	武内 聖	伊那市医師会	田中病院
副会長	樋代 義男	伊那市高齢者クラブ連合会	
	保科 学	伊那市歯科医師会	保科歯科医院
	宮原 勝	伊那市民生児童委員協議会	
	小池 浩史	伊那市社会福祉協議会	
	小林 和博	施設介護サービス事業者	サンハート美和
	岸 千栄	居宅介護サービス事業者	すすたけ
	江口 義子	歯科衛生士会上伊那支部	
	清水 昭子	長野県栄養士会伊那支部	
	竹内 洋子	伊那市女性団体連絡協議会	
	塩原 敬治	伊那市身体障害者福祉協会	
	立澤 奈央子	理学療法士会	
	原 安司	伊那市区長会	
	宮崎 野々実	伊那中央病院	



## 伊那市高齢者施策推進協議会協議事項経緯

- 第1回** 2023年(令和5年)11月15日 午後6時30分～  
於：伊那市役所 501会議室
- 1 令和4年度介護保険事業、高齢者福祉事業及び地域包括支援センターの事業実績について
    - (1) 各事業の実績
    - (2) 第8期介護保険事業計画・高齢者福祉計画の評価
  - 2 第9期伊那市介護保険事業計画・高齢者福祉計画（伊那市高齢者イーナプラン）について
    - ・計画書策定スケジュール
- 第2回** 2023年(令和5年)12月20日 午後6時30分～  
於：福祉まちづくりセンター 大会議室
- 1 第9期伊那市介護保険事業計画・高齢者福祉計画（伊那市高齢者イーナプラン）概要について
  - 2 第9期における主要施策・事業についての意見交換
    - ① 介護予防事業における通いの場の取り組みについて
    - ② 高齢者等暮らしいきいき応援券他について
- 第3回** 2024(令和6年)1月17日 午後6時30分～  
於：福祉まちづくりセンター 大会議室
- 1 第9期伊那市介護保険事業計画・高齢者福祉計画（伊那市高齢者イーナプラン）（案）について
  - 2 第9期伊那市高齢者イーナプラン概要版（案）について
    - ・これまでの協議による計画案の修正・変更点
  - 3 今後のスケジュール
    - ・パブリックコメントの募集 1月下旬～2月上旬
- 第4回** 2024年(令和6年)2月19日 午後6時30分～  
於：市役所 303会議室
- 第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画（案）について
    - ・パブリックコメントを受けて
    - ・委員からの総括的意見と提案

8. 市内事業所一覧

令和5年4月1日現在

	事業所名	居宅介護支援	訪問介護	訪問入浴	訪問看護	訪問リハビリ	通所介護	通所リハビリ	短期入所生活介護	短期入所療養介護	特定施設入所者生活介護	福祉用具貸与	福祉用具販売	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護医療院	地域密着型通所介護	認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	地域密着型特別養護老人ホーム	認知症対応型共同生活介護			
竜西・西箕輪区域	ふれ愛センターつどい	○							◎								◎									
	伊那市社協 訪問介護センター伊那	○	◎	◎																						
	伊那中央病院訪問看護ステーション				◎																					
	ふれ愛センター伊那北								◎									◎								
	老人保健施設 辛夷園								◎	◎						○										
	グループホーム合歓の家																						◎			
	ベストプランこぶし	○																								
	宅老所ひなたぼこ								○										◎							
	十字屋リース(株)南信事業所												◎	◎												
	介護医療院じんあい																		○							
	老人保健施設 はびろの里					◎		◎	◎							○										
	小規模多機能 はびろの里																			◎						
	ゆりかご		◎																						○	
	宅幼老所やよい																		◎							
	愛の家グループホーム伊那山寺																							◎		
	特別養護老人ホーム みさやま									◎						○										
	宅幼老所 あがついで																		◎							
富士見高原医療福祉センター西箕輪診療所								◎																		
竜東・美篤・手良区域	ツクイ伊那中央							◎																		
	富士見高原医療福祉センター介護サービスステーション伊那	○	◎																							
	介護支援センターひまわり	○																								
	複合型施設 みぶの里	○			◎		◎	◎	◎						○			◎					○			
	ニチケアセンター柏木																		◎				◎			
	ニチケアセンター境																			○						
	ニチケアセンター伊那	○	◎	◎			◎																			
	(株)介護センター花岡 伊那店												◎	◎												
	居宅介護支援事業所 フラワー伊那	○																								
	特別養護老人ホーム みすず四恩の家									◎						○										
	老人保健施設 すずたけ	○			◎	◎		◎	◎							○										
	宅幼老所たんぼぼみすず																		◎							
	富士見高原医療福祉センター みすず診療所								◎																	
	生協総合ケアセンターいな あおば	○						◎															◎	◎		
	看護小規模多機能 わかみや																						◎			
	訪問看護ステーションみどり					◎																				
	生協ヘルパーステーションみどり		◎																							
	小規模多機能 たんぼぼの家																						○			
	グループホーム たんぼぼの家																							◎		
	デイサービスセンターぬくもり								◎																	
	介護支援センターわたげ	○																								
元気リハ デイサービス																		◎								
訪問介護ステーションほほえみ					◎																					
訪問介護あつたか伊那					◎																					
あつたか伊那 広場								◎																		
デイサービスこころ								◎																		
富良野・東春近・西春近区域	宅幼老所おらほ																						◎			
	愛光苑いな													◎												
	伊那市デイサービスセンター春富ふくじゅ園							◎																		
	宅老所たんぼぼ																						◎			
	(株)BISO													◎	◎											
	生協ケアセンター春近ないろの家																			◎			◎			
	地域密着特別養護老人ホーム みのりの杜									◎															○	
	宅幼老所きらきら福地																						◎			
	(株)サン・アイ福祉部 伊那営業所														◎	◎										
	宅老所 花うた																						◎			
	グループホーム ま花																							◎		
ここ花 訪問看護ステーション					◎																					
訪問看護ステーション よつば					◎																					
高遠町・長谷区域	伊那市デイサービスセンターくつろぎの家																						◎			
	伊那市社協 訪問介護センター高遠					◎																				
	宅幼老所SALA																						◎			
	特別養護老人ホーム さくらの里									◎						○										
	グループホーム 桜																							◎		
	宅老所ふじさわ										◎															
	特別養護老人ホーム サンハート美和	○								◎						○										
	伊那市国保 美和診療所									◎																
	長谷デイサービスセンターやすらぎ																						◎			
宅幼老所みなみ																						◎				
地域密着特別養護老人ホーム オアシス高遠(仮)※整備中									◎															○		

注：◎介護サービス・介護予防サービスの提供有り、○介護サービスの提供のみ

## 伊那市高齢者イーナプラン

令和6年3月 発行

編集・発行：伊那市保健福祉部 社会福祉課・福祉相談課

〒396-8617 長野県伊那市新田3050番地

電話：0265-78-4111 Fax：0265-78-5778

E-mail：社会福祉課…fuk@inacity.jp 福祉相談課…fsk@inacity.jp